

第74回日本公衆衛生学会総会

演題集

2015年11月4日(水)・5日(木)・6日(金)

長崎県 長崎ブリックホール
長崎新聞文化ホール
ホテルニュー長崎

(自由集会会場)

「えきまえ」いきいきひろば
長崎県医師会館
長崎県総合福祉センター
長崎県歯科医師会館

学会総会事務局

●開催期間中（11月4日(水)・5日(木)・6日(金)）

長崎ブリックホール

〒852-8104 長崎市茂里町2-38

TEL：095-842-2002

●上記期間以外

第74回日本公衆衛生学会総会 実行委員会事務局

長崎県福祉保健部

〒850-8570 長崎県長崎市江戸町2-13

第74回日本公衆衛生学会総会 学術部会事務局

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学

〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4

TEL：095-819-7067

第74回日本公衆衛生学会総会 運営事務局

（一般演題・抄録集・紹介ブース・企業展示・自由集会）

株式会社コンベンションリンクージ内

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6

第三博多偕成ビル

TEL：092-437-4188

FAX：092-437-4182

E-mail：jsph74@c-linkage.co.jp

●宿泊の申込、お問い合わせ

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-1-35

新 KBC ビル6階

株式会社 JTB ビジネスサポート九州

コンベンションサポートセンター

『第74回日本公衆衛生学会総会』係

TEL：092-751-2102

FAX：092-751-4098

E-mail：travel_jsph74@kys.jtb.jp

目 次

概 要	4
関連・付随行事	5
運営組織体制	6
参加される方へのお知らせ	8
会場への交通案内図	12
会場案内図	14
日程表	16
特別プログラム	22
自由集会の日程	42
一般演題一覧	47

※プログラム内容など、余儀なく変更される場合がございます。

最新情報は総会ホームページにてご確認ください。

概 要

①開催日

2015年11月4日(水)

午前 開会式、学会長講演、招待講演、紹介ブース・企業展示

午後 特別講演、メインシンポジウム、シンポジウム、地方衛生研究所研修フォーラム、
奨励賞受賞講演、一般演題(示説)、ランチョンセミナー、
自由集会、紹介ブース・企業展示

2015年11月5日(木)

午前 教育講演、メインシンポジウム、シンポジウム、一般演題(示説)、
紹介ブース・企業展示

午後 特別講演、教育講演、シンポジウム、一般演題(示説)、ランチョンセミナー、
自由集会、紹介ブース・企業展示

2015年11月6日(金)

午前 特別講演、教育講演、メインシンポジウム、シンポジウム、
一般演題(示説)、紹介ブース・企業展示

午後 ランチョンセミナー

②会場

長崎ブリックホール

〒852-8104 長崎市茂里町2-38

TEL: 095-842-2002

長崎新聞文化ホール

〒852-8104 長崎市茂里町3-1

TEL: 095-844-2412

(自由集会会場)

「えきまえ」いきいきひろば

〒850-0057 長崎市大黒町3-1交通会館3階

TEL: 095-822-4101

長崎県医師会館

〒852-8532 長崎市茂里町3-27

TEL: 095-844-1111

長崎県総合福祉センター

〒852-8555 長崎市茂里町3-24

TEL: 095-846-8603

長崎県歯科医師会館

〒852-8104 長崎市茂里町3-19

TEL: 095-848-5311

③総会メインテーマ

ライフステージに合わせた健康づくりを目指して

④総会ホームページ

<http://www.c-linkage.co.jp/jsph74/>

⑤事務局

第74回日本公衆衛生学会総会 実行委員会事務局

長崎県福祉保健部

〒850-8570 長崎県長崎市江戸町2-13

第74回日本公衆衛生学会総会 学術部会事務局

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学

〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4

TEL: 095-819-7067

第74回日本公衆衛生学会総会 運営事務局

(一般演題・抄録集・紹介ブース・企業展示・自由集会)

株式会社コンベンションリンクージ内

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多偕成ビル

TEL: 092-437-4188 FAX: 092-437-4182

E-mail: jsph74@c-linkage.co.jp

関連・付随行事

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
関連行事			
日本公衆衛生学会理事会	11月3日（火）	11:00～12:30	長崎ブリックホール 3階 会議室4-5
日本公衆衛生学会評議員会	11月3日（火）	13:30～15:00	長崎ブリックホール 3階 会議室1-3
日本公衆衛生雑誌拡大編集会議	11月4日（水）	12:20～13:20	長崎ブリックホール 2階 練習室1
平成27年度 感染症疫学分析のための研修会	11月6日（金）	13:00～17:00	長崎ブリックホール 2階 練習室1 リハーサル室
自由集会	11月4日（水） 11月5日（木）	※詳しい時間、会場は自由集会開催案内ページをご参照ください。	
付随行事			
衛生学公衆衛生学教育協議会総会	11月3日（火）	15:30～18:30	長崎ブリックホール 3階 会議室1-3
全国衛生部長会議			
役員会	11月3日（火）	10:30～12:30	ホテルニュー長崎 真鶴の間
総会	11月3日（火）	12:30～16:30	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 西
情報交換会	11月3日（火）	17:30～19:30	ホテルニュー長崎 丹頂の間
平成27年度 政令都市保健所長会連絡協議会・全国保健所長会政令市部会総会			
平成27年度全国政令市衛生部局長会議			
総会	11月2日（月）		サンプリエール
会長表彰式	11月2日（月）		サンプリエール
情報交換会	11月2日（月）		サンプリエール
全国保健所長会			
第72回総会	11月3日（火）	10:00～17:00	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 東中
研究事業報告	11月3日（火）	10:00～17:00	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 東中
会員協議	11月3日（火）	10:00～17:00	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 東中
意見交換会	11月3日（火）	17:30～19:30	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 西
【控え室】	11月3日（火）		ホテルニュー長崎 菊・梅・真珠・真鶴の間
地方衛生研究所全国協議会			
第66回総会	11月3日（火）	13:30～16:30	ベストウエスタンプレミアムホテル プレミアホール1/3
情報交換会			ベストウエスタンプレミアムホテル 衛生部長会合同開催予定
全国精神保健福祉センター長会同研究協議会			
理事会	11月3日（火）	11:00～12:00	ホテルセントヒル長崎 絹笠
センター長会議	11月3日（火）	13:00～14:45	ホテルセントヒル長崎 妙見
研究協議会	11月3日（火）	15:00～17:00	ホテルセントヒル長崎 妙見
	11月4日（水）	9:00～16:00	ホテルセントヒル長崎 妙見
意見交換会	11月3日（火）	17:30～19:00	ホテルセントヒル長崎 紫陽花
全国保健統計協議会			
役員会	11月3日（火）	11:30～12:00	ホテルニュー長崎 海鳳の間
総会	11月3日（火）	13:30～14:00	ホテルニュー長崎 海鳳の間
講演会・事例発表	11月3日（火）	14:10～16:00	ホテルニュー長崎 海鳳の間
全国保健師教育機関協議会			
理事会	11月3日（火）		総合福祉センター
秋期教員研修会	11月3日（火）		総合福祉センター
懇親会	11月3日（火）		総合福祉センター

運営組織体制

名 誉 学 会 長	中 村 法 道	長崎県知事
名 誉 顧 問	田 上 富 久	長崎市長
学 会 長	青 柳 潔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学教授
副 学 会 長	蒔 本 恭	長崎県医師会長
	伊 東 博 隆	長崎県福祉保健部長
	安 田 静 馬	長崎市市民局市民健康部長
顧 問	片 峰 茂	長崎大学学長
監 事	遠 藤 一 郎	長崎県福祉保健部福祉保健課参事
	高 木 規久子	長崎市市民局市民健康部地域保健課長

●実行委員会

	氏 名	所 属
委 員 長	青 柳 潔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学教授
副 委 員 長	高 原 晶	長崎県医師会副会長
	堀 部 芳 夫	長崎県福祉保健部次長
	早 田 篤	長崎市市民局市民健康部理事
	前 田 隆 浩	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学教授
	本 田 純 久	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 地域リハビリテーション学分野教授
委 員	奥 保 彦	長崎市医師会会長
	丸 太 秀 夫	長崎県臨床検査技師会会長
	山 下 三 郎	長崎県環境部環境政策課長
	浦 田 実	長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター所長
	副 島 都志子	長崎県看護協会会長
	大 塚 俊 弘	長崎県保健所長会会長
	許 斐 義 彦	長崎県歯科医師会会長
	早 田 篤	長崎市保健所長
	小 嶺 和 伸	長崎県環境保健研究センター所長
	福 島 健 一	長崎県産業保健総合支援センター所長
	宮 崎 長一郎	長崎県薬剤師会会長
	塩 塚 順	長崎県理学療法士協会会長
	田 中 浩 二	長崎県作業療法士会事務局長
	篠 崎 彰 子	長崎県栄養士会会長
	関 山 美津子	長崎県食生活改善推進連絡協議会会長
	野間田 真紀子	長崎県助産師会会長
	平 野 かよ子	長崎県立大学副学長

●学術部会

	氏 名	所 属
部 会 長	本 田 純 久	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 地域リハビリテーション学分野教授
副 部 会 長	安 部 恵 代	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学准教授
委 員	大 西 真由美	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻教授
	大 石 和 代	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻教授
	齋 藤 俊 行	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻教授
	中 尾 理恵子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻准教授
	大 町 いづみ	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻准教授
	久佐賀 眞 理	長崎県立大学看護学科公衆衛生看護学教授
	中 尾 八重子	長崎県立大学看護学科公衆衛生看護学准教授
	木 下 博 史	長崎県西彼保健所長
	大 塚 俊 弘	長崎県県央保健所長
	長谷川 麻衣子	長崎県県南保健所長
	麻 生 重 仁	長崎県県北保健所長
	後 藤 尚	長崎県五島保健所長
	藤 田 利 枝	長崎県上五島保健所長
	宗 陽 子	長崎県壱岐保健所長
	西 畑 伸 二	長崎県対馬保健所長
	早 田 篤	長崎市保健所長
	濱 崎 直 孝	佐世保市保健所長
	浦 田 実	長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター所長
	福 田 英 輝	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔保健学准教授
	高 村 昇	長崎大学原爆後障害医療研究所教授
	永 田 耕 司	活水女子大学看護学部教授
	草 野 洋 介	長崎女子短期大学教授
	和 泉 喬	長崎女子短期大学教授
	堀 口 逸 子	長崎大学広報戦略本部准教授
	清 水 悠 路	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野講師
	永 吉 真 子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野助教
	小 屋 松 淳	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島医療研究所助教
	山 梨 啓 友	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島医療研究所助教

●事務局

	氏 名	所 属
事 務 局 長	南 部 正 照	長崎県福祉保健部福祉保健課長
事 務 局 次 長	有 馬 和 彦	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学講師
事 務 局 員	西 村 貴 孝	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学助教
	荒 木 ひとみ	長崎県福祉保健部福祉保健課課長補佐
	松 尾 将	長崎市市民局市民健康部地域保健課総務計画係長
	川 崎 涼 子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻助教
	西 原 三 佳	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻助教
	山 本 直 子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻助教

参加される方へのお知らせ

1. 第74回学会総会にご参加の皆様へ

(1) 参加証（ネームカード）の着用について

会場へ入場する際には、必ず参加証（ネームカード）をご着用ください。

ネームカードは参加領収書を兼ねており、次の方法で交付いたします。

- ・抄録集の事前入手を希望された方には、「抄録集」と一緒に送付いたします。
- ・抄録集の当日受け取りを予約された方には、「抄録集引換券」と一緒に送付いたします。
- ・抄録集を予約していない方は、総会当日、受付にて抄録集代金8,000円を納め、抄録集と一緒に受け取りください。

(2) 当日受付・抄録集引き換え

場 所：長崎ブリックホール 2階 ホワイエ

日 時：11月4日（水）8:15～17:00

11月5日（木）8:30～17:30

11月6日（金）8:30～11:30

(3) 意見交換会

本総会では、参加者の皆様にプログラム以外でも学术交流の場を提供させていただきたく、以下の通り意見交換会を開催いたします。

日 時：11月5日（木）19:30～21:00（予定）

会 場：ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣 西

参加費：8000円

(4) ランチョンセミナー整理券配布

配布場所：長崎ブリックホール 1階 エントランスホール

配布日時：11月4日（水）8:15～11:30

11月5日（木）8:30～11:30

11月6日（金）8:30～11:30

※各日とも、セミナー当日分の整理券のみ配布いたします。

※整理券は、該当セミナー開始10分後に無効となりますのでご注意ください。

2. 特別プログラムの座長の方へ

ご担当のプログラム開始30分前までに1階エントランスホールの「座長受付」で受付を済ませた後、10分前までに会場内右手前方の「次座長席」へご着席ください。

担当時間内の運営は座長に一任いたしますが、終了が予定時間より遅れないようご協力をお願いいたします。

3. 一般演題（示説）の座長の方へ

ご担当のセッション開始30分前までに各ポスター会場付近の「座長受付」で座長用リボンをお受け取りいただき、10分前までにご担当セッションのポスター付近にて待機してください。開始時刻となりましたら、セッションを開始してください（開始のアナウンスはありません）。

1演題の発表時間は5分（発表3分、討論2分）です。セッション開始時刻と終了時刻は厳守してください。

4. 特別プログラムの演者の方へ

プログラム開始30分前までに、1階エントランスホールの「データ受付」で発表データの受付を行ってください。

発表は事務局で用意したPC（Windows 版 PowerPoint2007/2010/2013）をご使用いただき、液晶プロジェクターを利用したプレゼンテーションを行っていただきます。発表中の画像操作はご自身でキーボードとマウスを操作して画面を進めていただきます。

進行は座長に一任しておりますが、持ち時間は厳守してください。

(1) 発表方法

すべての口演は、PC（PowerPoint）での発表となります。35mm スライド、ビデオ、DVD での発表はできませんのでご注意ください。

(2) データの持ち込み方法

- ・Windows で作成した発表データは、PC 本体あるいはメディア（CD-R、USB メモリ）でご持参ください。その他のメディア（CD-RW、MO、FD、ZIP 等）は対応できませんのでご注意ください。

- ・ Macintosh で作成したデータは、PC 本体お持ち込みのみ（OS 10以上）の対応とさせていただきます。
- ・ 文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントをご使用ください。

推奨フォント

（日本語）MS ゴシック、MS P ゴシック、MS 明朝、MS P 明朝
（英 語）Century、Century Gothic 等

- ・ 動画ファイルを使用される方は、ご自身のパソコンをお持ち込みください。パソコンをお持ち込みの場合でもバックアップデータを CD-R/USB メモリでご持参ください（容量：CD-R 1枚以内、DVD は不可）。また、動画ファイルは Windows Media Player で再生できる標準のフォーマットのものに限定します（音声には対応しておりません）。

（3）PC のスペックおよび使用ソフト

- ・ 会場内に設置する PC は Windows（OS Windows7）、使用ソフトは Microsoft PowerPoint2007、2010、2013をご用意いたします。
- ・ プロジェクター解像度は XGA（1024×768ドット）です。なお、発表は一面投射とします。

※Microsoft PowerPoint の「発表者ツール」は使用しないでください。発表原稿は印刷するなどしてお持ち込みください。

（4）PC 本体をお持ち込みになる場合

- ・ OS は Windows、Macintosh のどちらも使用可能です。ただし、映像出力端子は MiniD-sub15 pin が備わったものをご用意ください。また、省電力機能、スクリーンセーバーはオフに設定してください。
- ・ Macintosh など変換コネクタが必要な場合は、ご自身でご持参ください。
- ・ AC アダプターは必ずご持参ください。
- ・ CD-R または USB メモリに保存したバックアップデータをご持参ください。
- ・ お預かりしたパソコンは発表終了後、PC オペレーターより返却いたしますので、ご自身でお引き取りください。

（5）発表データの削除

- ・ 事務局用意の PC にコピーした全発表データは、発表終了後、事務局で完全消去します。

5. 一般演題（示説）で発表する方へ

（1）事務局準備品

事務局では以下のものをご用意いたします。

ボ ー ド：1題ごとに縦2,100mm×横900mm の縦長のパネルをご用意いたします。

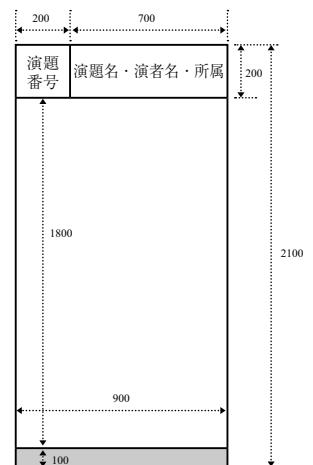
演 題 番 号：掲示板左上部に、演題番号（200mm×200mm）を取り付け表示します。

ピン・画鋏：ポスター貼付用のピン・画鋏は事務局でご用意いたします。テープ・糊は使用できません。

（2）ポスターの作成要領

図にある通り、縦1,800mm×横900mm が本文の貼付有効範囲です。

本文とは別に、縦200mm×横700mm の大きさに演題名・演者名・所属を記入したものを準備ください。用紙の形式は特に決まりがありません。文字の大きさは見やすく作成してください。



(3) 示説の討論時間

示説発表は座長制で行います。発表時間5分（発表3分、討論2分）を厳守し、円滑な運営にご協力ください。発表の方の専用受付デスクはありません。ポスターの掲示をもって受付といたします。

※上記撤去時間を過ぎても掲示されているポスターは、事務局にて処分させていただきます。

	11/4 (水) 貼付時間 8:30～9:15 13:00～13:50 掲示時間 13:50～17:45 セッション時間 14:45～17:45 撤去時間 17:45～18:10	11/5 (木) 貼付時間 8:30～9:00 掲示時間 9:10～12:10 セッション時間 9:10～12:10 撤去時間 12:10～13:20	11/5 (木) 貼付時間 13:20～13:40 掲示時間 13:40～17:00 セッション時間 14:00～17:00 撤去時間 17:00～17:20	11/6 (金) 貼付時間 8:30～9:00 掲示時間 9:00～12:10 セッション時間 9:10～12:10 撤去時間 12:10～13:30
第1分科会	P-0101	P-0102～P-0103	P-0104～P-0105	P-0106～P-0107
第2分科会	P-0201～P-0202	P-0203～P-0205	P-0206～P-0207	P-0208～P-0210
第3分科会	P-0301～P-0304	P-0305～P-0307	P-0308～P-0310	P-0311～P-0313
第4分科会	P-0401	P-0402	P-0403	P-0404～P-0405
第5分科会	P-0501～P-0504	P-0505～P-0508	P-0509～P-0511	P-0512～P-0515
第6分科会	P-0601～P-0604	P-0605～P-0608	P-0609～P-0612	P-0613～P-0615
第7分科会	P-0701～P-0702	P-0703	P-0704～P-0705	P-0706～P-0707
第8分科会	P-0801～P-0802	P-0803～P-0804	P-0805～P-0806	P-0807～P-0808
第9分科会	P-0901	P-0902	P-0903	—
第10分科会	P-1001	P-1002	P-1003	P-1004
第11分科会	P-1101	P-1102	P-1103	—
第12分科会	P-1201	P-1202	P-1203～P-1204	P-1205～P-1206
第13分科会	P-1301～P-1302	P-1303～P-1304	P-1305	P-1306
第14分科会	P-1401～P-1402	P-1403	P-1404	P-1405
第15分科会	P-1501～P-1502	P-1503	P-1504～P-1505	P-1506～P-1507
第16分科会	P-1601	P-1602	P-1603～P-1604	P-1605～P-1606
第17分科会	P-1701～P-1702	P-1703～P-1704	P-1705	P-1706
第18分科会	P-1801	P-1802	P-1803	P-1804
第19分科会	—	P-1901	P-1902	—
第20分科会	P-2001	P-2002	P-2003	P-2004
第21分科会	P-2101	P-2102	P-2103	P-2104
第22分科会	—	P-2201	P-2202	—

※上記撤去時間を過ぎても掲示されているポスターは、事務局にて処分させていただきます。

6. クロークについて

下記の通り、仮設でクロークをご用意いたします。

スペースに限りがありますので、荷物がいっぱいになった場合には、別の場所のご案内や、お預かりをお断りすることがございます。予めご了承ください。

場 所：長崎ブリックホール 1階 交流スペース

日 時：11月4日（水）8:15～19:00

11月5日（木）8:30～19:15

11月6日（金）8:30～13:30

7. 喫煙について

会場内は禁煙です。喫煙は所定の喫煙スペースをご利用ください。

8. 会場での呼び出しについて

会場内での呼び出しは、原則として行いません。総合受付付近の連絡板をご利用ください。

会場内では携帯電話は電源を切るか、マナーモードに設定をお願いいたします。

会場への交通案内図



〔学会会場〕

長崎ブリックホール：第1～6会場、ポスター会場、総合受付

長崎新聞文化ホール：ポスター会場

〔意見交換会〕

ホテルニュー長崎

会場へのアクセス



飛行機でお越しの方

【長崎空港より】

バスご利用の場合

〈長崎県営バス〉（長崎駅行き 長崎バイパス・浦上経由：浦上駅前下車 乗車時間約60分）

※長崎駅方面のバスは出島道路経由・長崎バイパス経由がありますので、ご注意ください。

長崎空港 - 浦上駅前

片道 (大人)

800 円

2枚綴り回数券(大人) 1,200円

1,200 円

※時刻表など詳細は長崎県営バスホームページの空港バス（空港-長崎）よりご確認ください。

〈長崎バス〉

(長崎空港発 ココウォーク茂里町下車 乗車時間約50分)

長崎空港 - ココウォーク茂里町 片道 (大人)

800 円

2枚綴り回数券(大人) 1,200円

1,200 円

※時刻表など詳細は長崎バスホームページの長崎空港線エアポートライナーよりご確認ください。

タクシーご利用の場合

長崎自動車道利用時約50分

JR・電車でお越しの方

【福岡（博多）より】

博多駅よりJR特急かもめにて浦上駅下車(乗車時間 約1時間50分) 徒歩5分

博多駅 - 浦上駅：特急かもめ

通常大人料金 (片道)

4,700 円

九州ネットきっぷ (片道)

3,090 円

4枚きっぷ(指定席)

10,280 円

※詳細は、JRみどりの窓口にてご確認ください。

【長崎駅より】

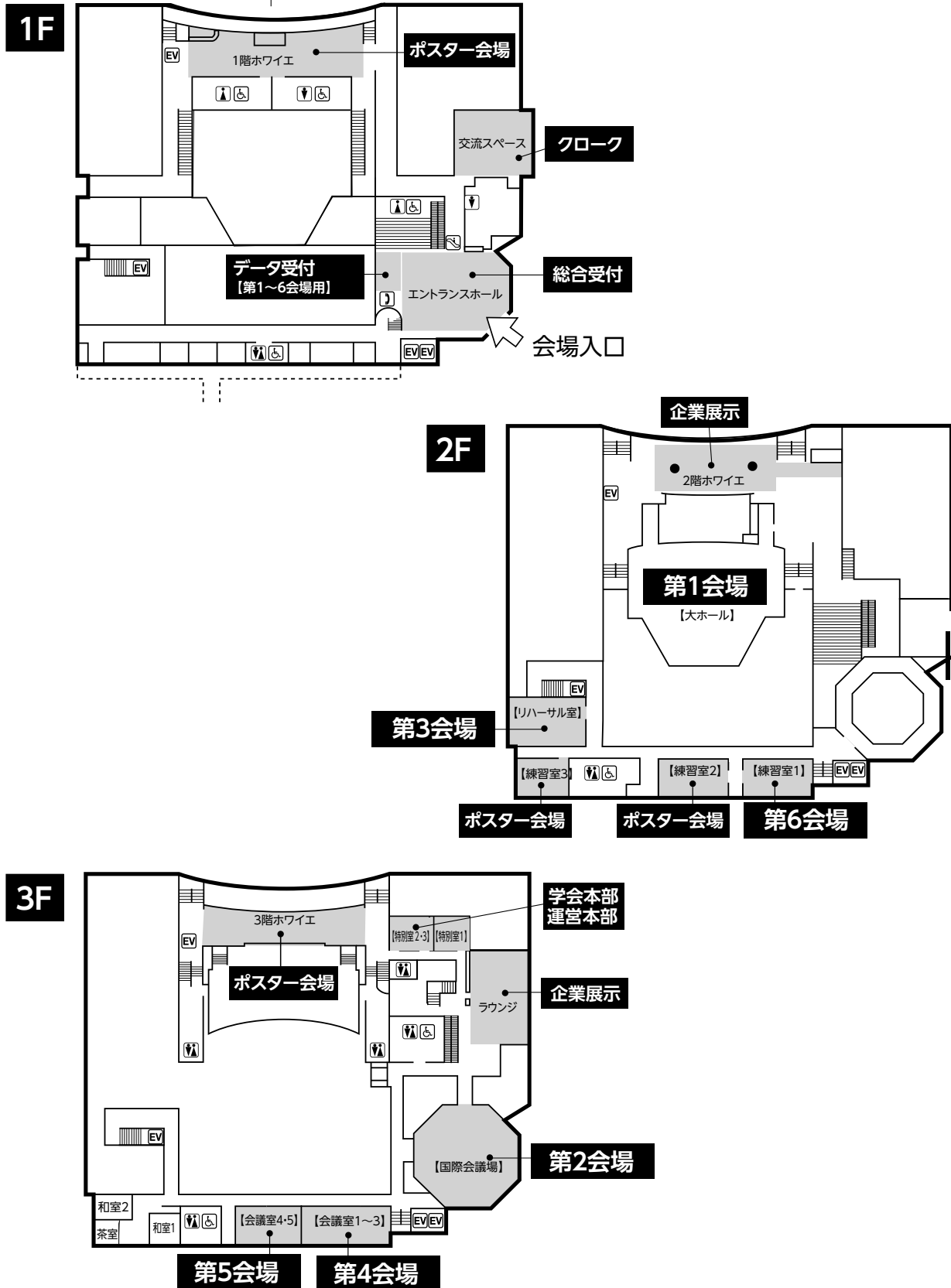
長崎電気軌道 1・3 系統 茂里町電停下車 徒歩 3 分

長崎バス

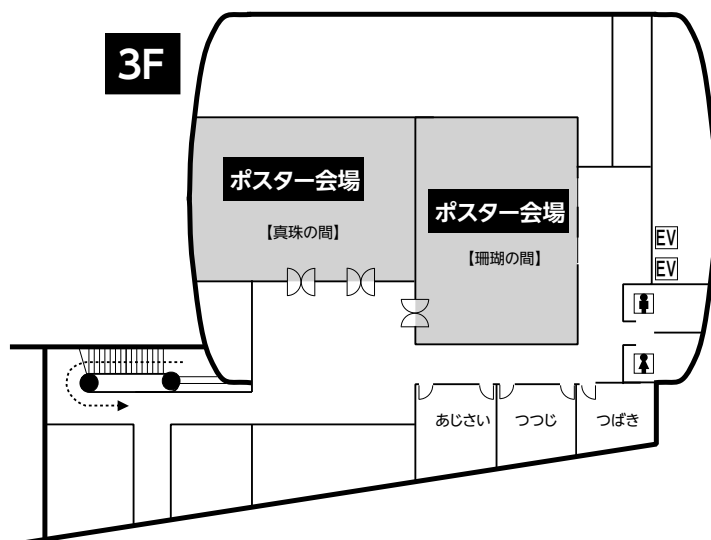
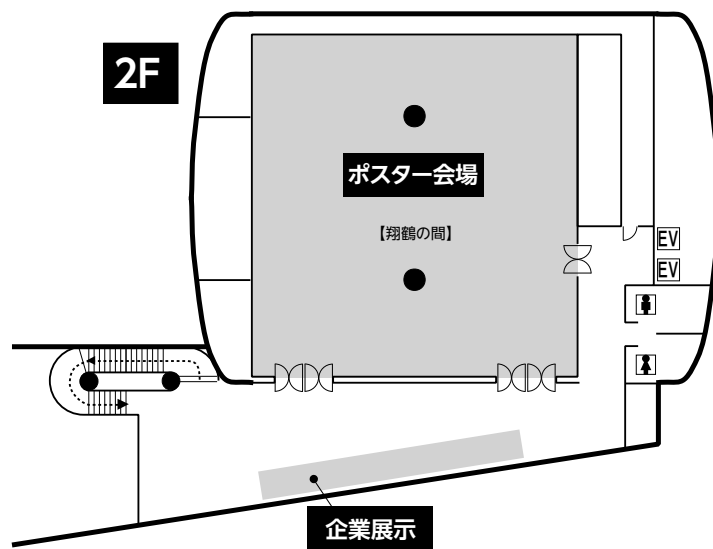
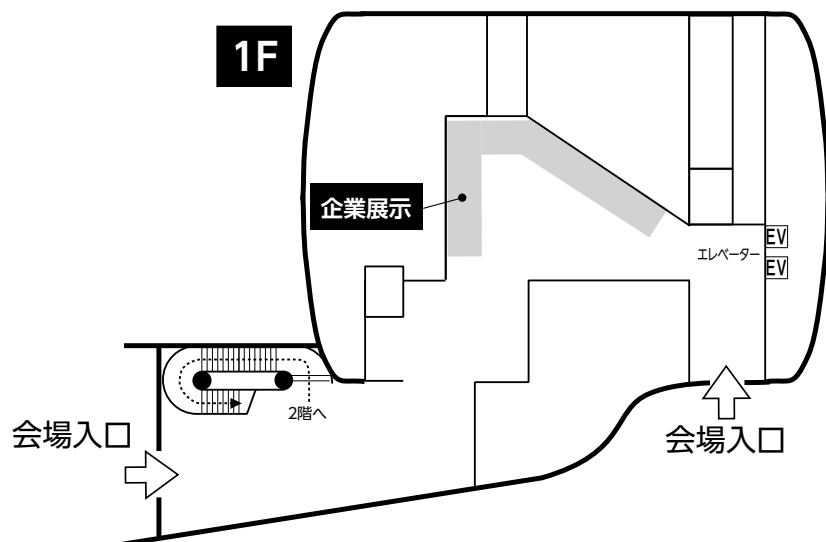
茂里町バス停下車 徒歩3分

会場案内図

長崎ブリックホール



長崎新聞文化ホール



日程表

第1日目：11月4日（水）

		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00	
		15		45 50		30 35				05	
長崎ブリックホール	第1会場 大ホール (2階)			開会式	学会長講演 介護予防と 運動器の健康(仮題) 座長：磯 博康 演者：青柳 潔		招待講演 いつもチャレンジ精神で 草野 仁				
	第2会場 国際会議場 (3階)										
	第3会場 リハーサル室 (2階)										
	第4会場 会議室1-3 (3階)								20	ランチョンセミナー1 共催：MSD(株)	
	第5会場 会議室4-5 (3階)									ランチョンセミナー2 共催：サンスター(株)	
	第6会場 練習室1 (2階)									日本公衆衛生学会 拡大編集委員会	
	ポスター会場 練習室2 (2階)	貼付	15								
	ポスター会場 練習室3 (2階)										
	ポスター会場 ホワイエ (1階)										
	ポスター会場 ホワイエ (3階)										
ポスター会場 翔鶴の間 (2階)											
ポスター会場 真珠の間 (3階)											
ポスター会場 珊瑚の間 (3階)											
長崎新聞文化ホール	その他										

13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
25		10 20		20 30				20					
総会		特別講演1 近代医学の誕生 -公衆衛生分野に力点を置いて- 座長：草野洋介 演者：相川忠臣		メインシンポジウム1 ライフステージに合わせた健康づくり 座長：本田純久、永田智子									
		シンポジウム1 大規模災害から健やかな日常生活への 円滑な復興に向けて 座長：岩室紳也、中村安秀		シンポジウム6 保健・医療・福祉の連携による妊娠期 からの切れ目ない子育て支援 座長：佐藤拓代、毛受矩子						10-20		10	
		シンポジウム2 自殺対策の改革へ向けて —公衆衛生からの提言 座長：本橋 豊、川上憲人		シンポジウム7 地方衛生研究所研修フォーラム 最近問題となっている感染症に対する健康危機管理 座長：四宮博人、皆川洋子									
20		シンポジウム3 公衆衛生における学会認定 「専門家制度」のさらなる展開に向けて 座長：今中雄一、磯 博康		シンポジウム8 新たな専門医制度と公衆衛生専門医(仮称)のあり方 座長：宇田英典、坂元 昇								40	
		シンポジウム4 多世代を巻き込む地域ぐるみの健康増進： ブランディングとエンパワメントの活用 座長：安梅勲江		シンポジウム9 使いたくなる結核分子疫学： 保健所での活用事例と結核対策の将来的展望 座長：和田崇之、長谷川麻衣子						50-00		50	
		シンポジウム5 長期入院精神障害者の地域移行に 向けた保健所の役割 座長：篠崎英夫		奨励賞受賞講演						40			
50		45		45		45		10					
貼付		閲覧		一般演題（示説） 第9分科会、第21分科会 P-0901、P-2101									
				一般演題（示説） 第11分科会、第20分科会 P-1101、P-2001									
				一般演題（示説） 第1分科会、第2分科会、第4分科会 P-0101、P-0201～P-0202、P-0401									
				一般演題（示説） 第12分科会、第13分科会、第15分科会、第18分科会 P-1201、P-1301～P-1302、P-1501～P-1502、P-1801									
				一般演題（示説） 第3分科会、第5分科会、第6分科会、第7分科会、第10分科会 P-0301～P-0304、P-0501～P-0504、 P-0601～P-0604、P-0701～P-0702、P-1001									
				一般演題（示説） 第16分科会、第17分科会 P-1601、P-1701～P-1702									
				一般演題（示説） 第8分科会、第14分科会 P-0801～P-0802、P-1401～P-1402									

第2日目：11月5日（木）

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
			10			
長崎ブリックホール	第1会場 大ホール (2階)	教育講演1 ライフステージと健康づくり： わが国の医療・介護保険制度の貢献と課題 座長：本田純久 演者：橋本英樹		シンポジウム10 公衆衛生学修士の社会への浸透を求めて 座長：橋本英樹、馬場園明		
	第2会場 国際会議場 (3階)	教育講演2 わが国の循環器病予防の 現状と今後の方向性 座長：清水悠路 演者：北村明彦		メインシンポジウム2 放射線被ばくと健康影響 座長：高村 昇、安村誠司	10	ランチョンセミナー3 共催：日本ビーシージー製造(株)
	第3会場 リハーサル室 (2階)		40	シンポジウム11 食品の新たな機能性表示制度は、健康寿命の延伸に寄与するか 座長：古野純典、武見ゆかり		ランチョンセミナー4 共催：ファイザー(株)
	第4会場 会議室1-3 (3階)	教育講演3 ロコモの疫学： ROADスタディより 座長：安部恵代 演者：吉村典子		シンポジウム12 開発途上国から日本への帰帰～国際保健の 日本の公衆衛生・地域保健への貢献 座長：松井三明、長谷川麻衣子		ランチョンセミナー5 共催：ジャパンワクチン(株) 第一三共(株)
	第5会場 会議室4-5 (3階)			シンポジウム13 彩の国発の地域基盤型専門職連携教育による 地域包括ケアシステムの構築 座長：宮山徳司		ランチョンセミナー6 共催：キリン(株)
	第6会場 練習室1 (2階)	教育講演4 多職種ですすめる歯科保健 座長：福田英輝 演者：安藤雄一		シンポジウム14 ライフステージにあわせたSOC (Sense of Coherence) と健康支援 座長：山崎喜比古、平野裕子		公衆衛生モニタリング・ レポート拡大委員会
	ポスター会場 練習室2 (2階)	10				10
	ポスター会場 練習室3 (3階)					
	ポスター会場 ホワイエ (1階)					
	ポスター会場 ホワイエ (3階)					
	ポスター会場 翔鶴の間 (2階)					
長崎新聞文化ホール	ポスター会場 真珠の間 (3階)	10				撤去
	ポスター会場 珊瑚の間 (3階)					
	その他					

13:00										14:00										15:00										16:00										17:00										18:00										19:00										20:00										21:00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
20																				10 20																				40																				30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
シンポジウム15 乳幼児健診の現状と未来 ～「健やか親子21（第2次）」の推進に向けて～ 座長：山縣然太郎、一瀬 篤																				シンポジウム19 原子力災害時における住民の被ばく予防と 精神健康リスク軽減の要点 座長：神馬征峰、小正裕佳子																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
10										20-30										シンポジウム17 健康づくり・介護予防・社会参加に 有益なNW/PWとフットケアの 地域における活用 座長：多田羅三、山下和彦										20-30										シンポジウム20 わが国における電子たばこの 規制のあり方について 座長：中村正和、大井田隆										20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
										特別講演2 Important Contributions of Osteoporosis Epidemiology Studies 座長：富田雅人 演者：Philip D.Ross																				30-40										シンポジウム21 2025年問題に対する公衆衛生の役割 (国立保健医療科学院企画シンポジウム) 座長：曽根智史、横山徹爾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
										教育講演5 社会と健康 ージェンダーの視点 座長：宗 陽子 演者：本庄かおり																				教育講演6 行動経済学は公衆衛生の ブレークスルーを導くか？ 座長：大西真由美 演者：福田吉治																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
																				シンポジウム18 在宅高齢者の口腔機能維持・向上のために ー医科歯科連携からー 座長：尾崎哲則、三浦宏子																				シンポジウム22 子供の貧困と健康 座長：橋本英樹、阿部 彩																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
										シンポジウム16 世界における保健医療専門職コンピテンシー 基盤型教育導入と公衆衛生大学院 座長：橋本英樹、矢野栄二										50										シンポジウム23 ヘルスサービスリサーチの現状と展望 座長：近藤克則、田宮菜奈子																				特別講演3 難解、ロコモティブ シンドローム 座長：尾崎 誠 演者：小関弘展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20										40										教育講演7 地域・職場における医療情報の活用 ～包括的な保健医療福祉サービス提供を目指して～ 座長：後藤 尚 演者：林田賢史																				シンポジウム24 地域包括ケアの推進～元気づくりシステムを 基軸とした幸せな生活の場づくりを考える～ 座長：大平利久、榎本真津																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
撤去										貼付										閲覧										10										20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												</									

第3日目：11月6日（金）

		9:00	10:00		11:00	12:00	13:00
			10				
長崎ブリックホール	第1会場 大ホール (2階)		教育講演8 認知症予防と運動 座長：増田和茂 演者：鈴木隆雄		シンポジウム26 認知症予防における身体活動・運動の意義 —疫学から実践まで— 座長：下光輝一、宮地元彦		
	第2会場 国際会議場 (3階)		モニタリングレポート 委員会報告（仮）		シンポジウム27 青少年の生活習慣と健康 座長：尾崎米厚、兼板佳孝		
	第3会場 リハーサル室 (2階)		教育講演9 我が国の健康危機管理 対策の現状と課題 座長：藤田利枝 演者：金谷泰宏		シンポジウム28 国際的な視点を持った 公衆衛生医師の育成を目指して 座長：遠藤弘良、伊東則彦	10	ランチョンセミナー7 共催：一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター
	第4会場 会議室1-3 (3階)		教育講演10 睡眠と健康 座長：有馬和彦 演者：黒田嘉紀		メインシンポジウム3 地球規模環境・健康課題と 日本の地域保健・公衆衛生 座長：渡辺知保、門司和彦		
	第5会場 会議室4-5 (3階)		教育講演11 栄養成分表示の義務化は健康な食品選択を 促進させるか—食物選択動機と表示の利用— 座長：堀口逸子 演者：赤松利恵		教育講演12 少子化のゆくえと母子保健 座長：山本直子 演者：三砂ちづる	10	ランチョンセミナー8 共催：エーザイ(株)
	第6会場 練習室1 (2階)		シンポジウム25 「健康格差の縮小」をどう進めるか —健康格差対策の7原則 座長：近藤克則、橋本英樹			50	
ポスター会場 練習室2 (2階)	貼付 閲覧	10	一般演題（示説） 第21分科会 P-2104				10
ポスター会場 練習室3 (2階)		一般演題（示説） 第20分科会 P-2004					
ポスター会場 ホワイエ (1階)		一般演題（示説） 第2分科会、第14分科会 P-0208～P-0210、P-1405					
ポスター会場 ホワイエ (3階)		一般演題（示説） 第12分科会、第13分科会、第15分科会、第18分科会 P-1205～P-1206、P-1306、P-1506～P-1507、P-1804				撤去	
ポスター会場 翔鶴の間 (2階)		一般演題（示説） 第1分科会、第3分科会、第5分科会、第6分科会、第7分科会、第10分科会 P-0106～P-0107、P-0311～P-0313、P-0512～P-0515、 P-0613～P-0615、P-0706～P-0707、P-1004					
ポスター会場 真珠の間 (3階)		一般演題（示説） 第16分科会、第17分科会 P-1605～P-1606、P-1706					
ポスター会場 珊瑚の間 (3階)		一般演題（示説） 第4分科会、第8分科会 P-0404～P-0405、P-0807～P-0808					

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
10	感染症疫学分析のための研修会（関連行事）					
	感染症疫学分析のための研修会（関連行事）					
30						
撤去						

特別プログラム

招待講演

11月4日（水） 10:35～12:05 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

いつもチャレンジ精神で

演者：草野 仁

学会長講演

11月4日（水） 9:50～10:30 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

介護予防と運動器の健康（仮題）

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室）
演者：青柳 潔（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野）

特別講演1

11月4日（水） 14:20～15:20 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

近代医学の誕生－公衆衛生分野に力点を置いて－

座長：草野 洋介（長崎女子短期大学生生活創造学科）
演者：相川 忠臣（長崎大学名誉教授、日本赤十字社長崎原爆病院）

特別講演2

11月5日（木） 13:20～14:20 第2会場（長崎ブリックホール 3F 国際会議場）

Important Contributions of Osteoporosis Epidemiology Studies

座長：富田 雅人（長崎大学整形外科）
演者：Philip D.Ross（Medical Affairs, Allergan, plc）

特別講演3

11月5日（木） 18:00～19:00 第5会場（長崎ブリックホール 3F 会議室4-5）

難解、ロコモティブシンドローム

座長：尾崎 誠（長崎大学整形外科）
演者：小関 弘展（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻運動障害リハビリテーション学分野）

教育講演1

11月5日（木） 9:00～10:00 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

ライフステージと健康づくり：わが国の医療・介護皆保険制度の貢献と課題

座長：本田 純久（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域リハビリテーション学分野）
演者：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

教育講演2

11月5日（木） 9:00～10:00 第2会場（長崎ブリックホール 3F 国際会議場）

わが国の循環器病予防の現状と今後の方向性

座長：清水 悠路（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科社会医療科学講座地域医療学分野）
演者：北村 明彦（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学／大阪がん循環器病予防センター循環器病予防部門）

教育講演3

11月5日(木) 9:00~10:00 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

ロコモの疫学: ROAD スタディより

座長: 安部 恵代(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野)

演者: 吉村 典子(東京大学医学部附属病院22世紀医療センター関節疾患総合研究講座)

教育講演4

11月5日(木) 9:00~10:00 第6会場(長崎ブリックホール 2F 練習室1)

多職種ですすめる歯科保健

座長: 福田 英輝(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔保健学)

演者: 安藤 雄一(国立保健医療科学院)

教育講演5

11月5日(木) 13:20~14:20 第3会場(長崎ブリックホール 2F リハーサル室)

社会と健康—ジェンダーの視点

座長: 宗 陽子(長崎県福祉保健部医療政策課)

演者: 本庄かおり(大阪大学グローバルコラボレーションセンター)

教育講演6

11月5日(木) 14:30~15:30 第3会場(長崎ブリックホール 2F リハーサル室)

行動経済学は公衆衛生のブレークスルーを導くか?

座長: 大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域リハビリテーション学分野)

演者: 福田 吉治(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

教育講演7

11月5日(木) 14:30~15:30 第6会場(長崎ブリックホール 2F 練習室1)

地域・職域における医療情報の利活用~包括的な保健医療福祉サービス提供を目指して~

座長: 後藤 尚(長崎県五島保健所)

演者: 林田 賢史(産業医科大学病院医療情報部)

教育講演8

11月6日(金) 9:00~10:00 第1会場(長崎ブリックホール 2F 大ホール)

認知症予防と運動

座長: 増田 和茂(公益財団法人健康・体力づくり事業財団)

演者: 鈴木 隆雄(桜美林大学 加齢・発達研究所)

教育講演9

11月6日(金) 9:00~10:00 第3会場(長崎ブリックホール 2F リハーサル室)

我が国の健康危機管理対策の現状と課題

座長: 藤田 利枝(長崎県県央保健所/長崎県上五島保健所)

演者: 金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

教育講演10

11月6日（金） 9:00～10:00 第4会場（長崎ブリックホール 3F 会議室1-3）

睡眠と健康

座長：有馬 和彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野）

演者：黒田 嘉紀（宮崎大学医学部社会学講座公衆衛生分野）

教育講演11

11月6日（金） 9:00～10:00 第5会場（長崎ブリックホール 3F 会議室4-5）

栄養成分表示の義務化は健康な食品選択を促進させるかー食物選択動機と表示の利用ー

座長：堀口 逸子（国立大学法人長崎大学広報戦略本部）

演者：赤松 利恵（お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系）

教育講演12

11月6日（金） 10:10～11:10 第5会場（長崎ブリックホール 3F 会議室4-5）

少子化のゆくえと母子保健

座長：山本 直子（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻）

演者：三砂ちづる（津田塾大学国際関係学科）

メインシンポジウム1

11月4日（水） 15:30～17:20 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

ライフステージに合わせた健康づくり

座長：本田 純久（長崎大学医歯薬学総合研究科地域リハビリテーション学分野）

永田 智子（東京大学大学院医学系研究科 地域看護学分野）

演者：母子保健領域における健康づくり

山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

ライフステージに応じた多様な働き方と健康

可知 悠子（日本医科大学衛生学公衆衛生学）

ライフステージに合わせた健康づくりを目指してー学校保健の立場からー

中村 晴信（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

ライフステージにあわせた健康づくりー看護・介護の立場からー

永田 智子（東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野）

メインシンポジウム2

11月5日（木） 10:10～12:00 第2会場（長崎ブリックホール 3F 国際会議場）

放射線被ばくと健康影響

座長：高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所）
安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）

演者：原爆被爆者の長期健康影響について
小笹晃太郎（放射線影響研究所疫学部）

原爆被爆者における造血器疾患の疫学
宮崎 泰司（長崎大学原爆後障害医療研究所血液内科学研究分野）

原爆被爆者における精神健康影響
中根 秀之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神障害リハビリテーション学分野）

チェルノブイリと福島：その相違と類似性について
高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所）

福島県「県民健康調査」について
安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座／福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）

メインシンポジウム3

11月6日（金） 10:10～12:00 第4会場（長崎ブリックホール 3F 会議室1-3）

地球規模環境・健康課題と日本の地域保健・公衆衛生

座長：渡辺 知保（東京大学大学院医学系研究科人類生態学教室）
門司 和彦（長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究科）

演者：地球規模環境・健康課題と日本の地域保健・公衆衛生：課題設定
門司 和彦（長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究科）

地球温暖化の健康影響：世界と日本
橋爪 真弘（長崎大学熱帯医学研究所）

暑熱・大気環境と健康：環境
渡辺 知保（東京大学大学院医学系研究科人類生態学教室）

降雨・洪水・水環境と健康：世界と日本
渡部 徹（山形大学農学部食料生命環境学科）

日本版持続可能な開発目標
山本 太郎（長崎大学熱帯医学研究所国際保健学教室）

Future Earth と人間健康
Mallee Hein（総合地球環境学研究所）

シンポジウム1

11月4日（水） 14:20～16:10 第2会場（長崎ブリックホール 3F 国際会議場）

大規模災害から健やかな日常生活への円滑な復興にむけて

座長：岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター）
中村 安秀（大阪大学大学院人間科学研究科）

演者：こころとからだとくらしの支え合いを推進するために
佐藤 由理（女川町役場健康福祉課）

今を生きるためのコミュニティづくりで公衆衛生、専門性を持った個人が果たすべき役割
斎藤 恵子（郡山市保健所）

終わりが無いのがコミュニティづくり
白井 千香（神戸市保健福祉局）

東日本大震災後の岩手県内における健康調査等から見えてくる現状とコミュニティづくり
佐々木亮平（岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構）

シンポジウム2

11月4日（水） 14:20～16:10 第3会場（長崎ブリックホール 2F リハーサル室）

自殺対策の改革へ向けて－公衆衛生からの提言

座長：本橋 豊（京都府立医科大学）
川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科）

演者：自殺対策改革のコンセプトと方向性
本橋 豊（京都府立医科大学）

自殺対策と死因究明制度－死の公共化がなぜ必要か？
反町 吉秀（大妻女子大学大学院人間文化研究科公共健康学研究室）

経済学から見た自殺対策－改革への政策提言
澤田 康幸（東京大学大学院経済学研究科）

社会の絆を強めるために何が必要か～シームレスな社会参加支援の視点から
藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

シンポジウム3

11月4日(水) 14:20~16:10 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

公衆衛生における学会認定「専門家制度」のさらなる展開に向けて

座長：今中 雄一(京都大学大学院医学研究科医療経済学分野)
磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室)

演者：世界の公衆衛生専門職の能力体系と制度
曾根 智史(国立保健医療科学院)

保健師としての専門職の展開
麻原きよみ(聖路加国際大学看護学部)

公衆栄養分野の管理栄養士としての専門職の展開
武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部)

研究者・行政官としての専門職の展開
武村 真治(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

医師としての地域保健医療行政の展開
宮園 将哉(大阪府四條畷保健所)

指定発言：歯科公衆衛生の観点から
尾崎 哲則(日本大学歯学部医療人間科学分野)

国際保健医療の視点から
遠藤 弘良(東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座)

シンポジウム4

11月4日(水) 14:20~15:50 第5会場(長崎ブリックホール 3F 会議室4-5)

多世代を巻き込む地域ぐるみの健康増進：ブランディングとエンパワメントの活用

座長：安梅 勅江(筑波大学医学医療系エンパワメント科学研究室)

演者：健康長寿ブランディングとエンパワメント
奥村 理加(飛島村役場 民生部保健福祉課)

ハッピー体操ブランディングとエンパワメント
河西 敏幸(宮城大学共通教育センター)

夢の花ブランディングとエンパワメント
酒寄 学(社会福祉法人芳香会)

保育パワーアップブランディングとエンパワメント
渡辺多恵子(日本保健医療大学保健医療学部看護学科)

木育ブランディングとエンパワメント
田中 笑子(筑波大学大学院医学医療系)

シンポジウム5

11月4日（水） 14:20～16:10 第6会場（長崎ブリックホール 2F 練習室1）

長期入院精神障害者の地域移行に向けた保健所の役割

座長：篠崎 英夫（日本公衆衛生協会理事長）

演者：国の役割

富澤 一郎（厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課）

わが国の精神医療改革の現状と課題

樋口 輝彦（国立精神・神経医療研究センター）

長期入院精神障害者の地域移行に向けた保健所の役割

柳 尚夫（兵庫県豊岡保健所）

精神保健福祉センターの役割

小泉 典章（長野県精神保健福祉センター）

精神障害者の地域ケアと地域包括ケアシステムの中核拠点の地域包括支援センターの役割

青木 佳之（全国地域包括・在宅介護支援センター協議会）

シンポジウム6

11月4日（水） 16:20～18:10 第2会場（長崎ブリックホール 3F 国際会議場）

保健・医療・福祉の連携による妊娠期からの切れ目ない子育て支援

座長：佐藤 拓代（大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター）
毛受 矩子（四天王寺大学教育学部）

演者：フィンランドから学ぶ妊娠期からの切れ目ない包括支援の取り組み

榊原 智子（読売新聞東京本社調査研究本部）

周産期医療情報ネットワークシステム“いーはとーぶ”による地域連携

小笠原敏浩（岩手県立大船渡病院）

名張版ネウボラの推進—名張市における切れ目ない支援への挑戦

上田 紀子（名張市役所健康福祉部健康支援室）

保健・医療サービスの隙間に落ちる妊婦と特定妊婦への支援

佐藤 拓代（大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター）

シンポジウム7

11月4日（水） 16:20～18:10 第3会場（長崎ブリックホール 2F リハーサル室）

地方衛生研究所研修フォーラム「最近問題となっている感染症に対する健康危機管理」

座長：四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）
皆川 洋子（愛知県衛生研究所）

演者：日本および愛媛県における重症熱性血小板減少症候群の現況と対策
四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）

東京都におけるデング熱対策
灘岡 陽子（東京都健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課）

インフルエンザ
皆川 洋子（愛知県衛生研究所）

最近問題となっている感染症に対する健康危機管理 保健所の立場から
中里 栄介（佐賀県唐津保健所／全国保健所長会地域保健総合推進事業新興再興感染症危機管理支援事業分担事業者）

シンポジウム8

11月4日（水） 16:20～18:40 第4会場（長崎ブリックホール 3F 会議室1-3）

新たな専門医制度と公衆衛生専門医（仮称）のあり方

座長：宇田 英典（鹿児島県伊集院保健所）
坂元 昇（川崎市健康福祉局）

演者：新たな専門医に関する仕組みについて－行政の立場から－
中田 勝己（厚生労働省健康局地域保健室）

公衆衛生専門医に求められるコンピテンシー
曾根 智史（国立保健医療科学院）

専門医制度における卒後研修に果たす学会の役割
小泉 昭夫（京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野）

公衆衛生専門医制度への期待
磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）

社会医学系の専門医の制度化と学会・教育機関
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）

特別発言：日本産業衛生学会の専門医制度のこれまでとこれから
圓藤 吟史（公益社団法人日本産業衛生学会／大阪市立大学名誉教授）

日本医師会の考える新しい専門医制度
小森 貴（公益社団法人日本医師会）

シンポジウム9

11月4日（水） 16:00～17:50 第5会場（長崎ブリックホール 3F 会議室4-5）

使いたくなる結核分子疫学：保健所での活用事例と結核対策の将来的展望

座長：和田 崇之（長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野）
長谷川麻衣子（長崎県県南保健所）

演者：低蔓延地域における結核分子疫学の必要性
瀬戸 順次（山形県衛生研究所微生物部）

大阪市・京都府における結核分子疫学の活用事例
山本 香織（大阪市立環境科学研究所調査研究課）

保健所事業としての結核菌分子疫学解析の構築
藤山 理世（神戸市保健所）

結核菌分子疫学調査からの院内コンタミネーション発見事例
田丸 亜貴（大阪府立公衆衛生研究所感染症部細菌課）

シンポジウム10

11月5日（木） 10:10～12:00 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

公衆衛生学修士の社会への浸透を求めて

座長：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）
馬場園 明（九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座）

演者：行政医師のキャリアパスとしての公衆衛生系専門職大学院の活用
坂元 昇（川崎市健康福祉局）

専門職大学院からの報告；東京大学
橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

医学科修士課程で公衆衛生学修士を養成する立場から
磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

新たに公衆衛生学修士養成機関を設置する立場から
武林 亨（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科・医学部衛生学公衆衛生学）

シンポジウム11

11月5日(木) 9:40~12:00 第3会場(長崎ブリックホール 2F リハーサル室)

食品の新たな機能性表示制度は、健康寿命の延伸に寄与するか

座長：古野 純典(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)
武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部)

演者：食品の新たな機能性表示制度について
清野富久江(消費者庁食品表示企画課)

食料生産・流通の視点から見た食品の新たな機能性表示制度への対応と懸念
三石 誠司(宮城大学食産業学部フードビジネス学科)

健康教育・栄養教育の実践における食品の新たな機能性表示制度への対応と懸念
赤松 利恵(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系)

健康情報リテラシーの視点から食品の新たな機能性表示制度を考える
中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

シンポジウム12

11月5日(木) 10:10~12:00 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

開発途上国から日本への回帰～国際保健の日本の公衆衛生・地域保健への貢献

座長：松井 三明(長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)
長谷川麻衣子(長崎県県南保健所)

演者：佐久から世界へ、世界から佐久へー地域医療と国際保健のつながりー
加藤 琢真(長野厚生連佐久総合病院国際保健医療科)

母子の健康をグローバルに支える助産
野口真貴子(北海道大学大学院保健科学研究院)

おむつに頼りすぎない排泄ケアー開発途上国の人々から学んだことー
和田 智代(おむつなし育児研究所／NPO 法人 HANDS)

国際保健と地域保健の共通のプラットフォームを模索する
長谷川麻衣子(長崎県県南保健所)

卒前・卒後保健師教育強化と Master of Public Health (MPH)
大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科リハビリテーション学分野)

シンポジウム13

11月5日（木） 9:40～12:00 第5会場（長崎ブリックホール 3F 会議室4-5）

彩の国発の地域基盤型専門職連携教育による地域包括ケアシステムの構築

座長：宮山 徳司（埼玉医科大学医療政策学）

演者：埼玉県の地域包括ケアの現状

本橋千恵美（埼玉医科大学地域医学・医療センター）

彩の国連携力育成プロジェクトで育成を目指す人材

田口 孝行（埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科）

地域の保健医療福祉の課題を解決するための専門職連携教育～効果的な IPE・IPW の指向～

寫末 憲子（埼玉県立大学社会福祉子ども学科）

地域基盤型専門職連携教育による地域で役に立つ専門職の育成

柴崎 智美（埼玉医科大学地域医学・医療センター）

シンポジウム14

11月5日（木） 10:10～12:00 第6会場（長崎ブリックホール 2F 練習室1）

ライフステージにあわせた SOC（Sense of Coherence）と健康支援

座長：山崎喜比古（日本福祉大学社会福祉学部）

平野 裕子（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻）

演者：日本人成人のライフステージ別にみた SOC とその関連要因

戸ヶ里泰典（放送大学教養学部生活と福祉コース）

地域で生活する精神障害者のサルートジェニック・サロン

坂野 純子（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科）

逆境下成長と SOC～口唇口蓋裂児の母親への調査から～

大宮 朋子（東邦大学看護学部地域看護学研究室）

高齢者における SOC の変化と身体活動との関連

門間 貴史（日本学術振興会／筑波大学人間総合科学研究科）

シンポジウム15

11月5日(木) 13:20～15:10 第1会場(長崎ブリックホール 2F 大ホール)

乳幼児健診の現状と未来 ～「健やか親子21(第2次)」の推進に向けて～

座長：山縣然太郎(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)
一瀬 篤(厚生労働省児童家庭局母子保健課)

演者：全国共通の問診項目の利活用に向けて
松浦 賢長(福岡県立大学看護学部)

乳幼児健診における標準的な保健指導
草野恵美子(大阪医科大学看護学部公衆衛生看護学領域)

乳幼児健診の未受診者対策のあり方について
佐藤 拓代(大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター)

乳幼児健診事業の評価について
山崎 嘉久(あいち小児保健医療総合センター)

シンポジウム16

11月5日(木) 13:20～15:40 第5会場(長崎ブリックホール 3F 会議室4-5)

世界における保健医療専門職コンピテンシー基盤型教育導入と公衆衛生大学院

座長：橋本 英樹(東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野)
矢野 栄二(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

演者：求められるリーダー像 ～国内および世界の感染症対策の経験をふまえて～
尾身 茂(独立行政法人地域医療機能推進機構)

保健医療のパラダイムシフト
渋谷 健司(東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室)

医学教育の現状と課題
寺門 成真(文部科学省高等教育局医学教育課)

公衆衛生大学院におけるコンピテンシー基盤型教育の実践
井上まり子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

シンポジウム17

11月5日(木) 14:30～16:20 第2会場(長崎ブリックホール 3F 国際会議場)

健康づくり・介護予防・社会参加に有益な NW/PW とフットケアの地域における活用

座長：多田羅浩三（日本公衆衛生協会／大阪大学名誉教授）
山下 和彦（東京医療保健大学／大阪大学大学院医学系研究科 ロボティクス&デザイン看工融合共同研究講座）

演者：住民主導型認知症予防教室にポールウォーキングを取り入れた健康づくり・町づくり
櫻井 好枝（千葉県鋸南町保健福祉課）

～健康寿命日本一のまちづくりをめざして～市民力を活かした志木市の NW/PW の取組
清水 裕子（志木市役所）

ポールを活用した地域密着型健康サービスの実現と継続にむけたサプリーダーづくり
杉浦 伸郎（一般社団法人 日本ポールウォーキング協会）

フットケア外来におけるメディカルフットケアによる足病予防と地域医療
三浦 和子（一関市国保藤沢病院）

健康づくりのためのフットケアによる足部機能の改善と NW/PW による歩行機能の改善
山下 和彦（東京医療保健大学）

指定発言：2025年に向けた日本の課題 ～本当に必要な健康支援の在り方～
多田羅浩三（日本公衆衛生協会／大阪大学名誉教授）

シンポジウム18

11月5日(木) 14:30～16:20 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

在宅高齢者の口腔機能維持・向上のために – 医科歯科連携から –

座長：尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学分野）
三浦 宏子（国立保健医療科学院）

演者：在宅高齢者の口腔機能の維持・向上、栄養改善のための多職種連携の取り組み
白髭 豊（医療法人白髭内科医院）

長崎における医科歯科連携の夜明け前から
角町 正勝（角町歯科医院）

地域の口腔保健における看護職の役割
村中 峯子（公益社団法人日本看護協会 健康政策部）

柏市の在宅医療・介護連携推進事業における、医科歯科連携の取り組みについて
稲荷田修一（柏市保健福祉部地域医療推進室）

シンポジウム19

11月5日(木) 15:20~17:40 第1会場(長崎ブリックホール 2F 大ホール)

原子力災害時における住民の被ばく予防と精神健康リスク軽減の要点

座長：神馬 征峰(東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室)
小正裕佳子(獨協医科大学国際協力支援センター国際疫学研究室)

演者：原子力災害の初期・中期的な対応と放射線防護方策について考えよう
佐藤 齊(茨城県立医療大学)

チェルノブイリ、東海村、福島原子力事故対応の課題
木村 真三(獨協医科大学国際協力支援センター国際疫学研究室)

Psychological and Neuropsychiatric Lessons of Chernobyl: Fukushima Projections
Loganovsky Konstantin(ウクライナ国立放射線医学研究センター放射線精神神経学部門)

シンポジウム20

11月5日(木) 16:30~18:20 第2会場(長崎ブリックホール 3F 国際会議場)

わが国における電子たばこの規制のあり方について

座長：中村 正和(公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)
大井田 隆(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

演者：電子タバコ：製品の概要と日本における使用の実態
田淵 貴大(大阪府立成人病センターがん予防情報センター疫学予防課)

電子タバコの成分分析と健康影響評価
樺田 尚樹(国立保健医療科学院生活環境研究部)

電子たばこの市場導入に伴うたばこ規制への影響
望月友美子(国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策研究部)

ハームリダクションの観点からみた電子たばこの規制のあり方
中村 正和(公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

シンポジウム21

11月5日(木) 15:40~18:00 第3会場(長崎ブリックホール 2F リハーサル室)

2025年問題に対する公衆衛生の役割(国立保健医療科学院企画シンポジウム)

座長：曾根 智史(国立保健医療科学院)
横山 徹爾(国立保健医療科学院生涯健康研究部)

演者：疾病予防分野から：地域の疾病予防と重症化予防に向けた連携強化
今井 博久(国立保健医療科学院)

福祉介護分野から：多職種多分野連携による地域包括ケアシステムの構築
森川 美絵(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

人材育成分野から：超高齢社会における公衆衛生看護の人材育成の推進
松本 珠実(国立保健医療科学院)

居住環境分野から：安心安全な高齢者の「住まい」の整備
阪東美智子(国立保健医療科学院生活環境研究部)

シンポジウム22

11月5日(木) 16:30~18:20 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

子供の貧困と健康

座長：橋本 英樹(東京大学大学院公共健康医学専攻)
阿部 彩(首都大学東京)

演者：幼少期の逆境的经验の長期的影響：経済学のアプローチの発想と限界
小塩 隆士(一橋大学経済研究所)

子どもの貧困と脳機能：脳画像研究からの示唆
大平 英樹(名古屋大学大学院環境学研究科心理学講座)

子どもの貧困と健康：教育学の視点から
末富 芳(日本大学文理学部)

子どもの貧困と健康：疫学の視点から
藤原 武男(国立成育医療研究センター研究所)

シンポジウム23

11月5日(木) 15:50~17:40 第5会場(長崎ブリックホール 3F 会議室4-5)

ヘルスサービスリサーチの現状と展望

座長：近藤 克則(千葉大学予防医学センター環境健康学研究部門)
田宮菜奈子(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

演者：医療アクセスの関連要因—JAGES プロジェクトの知見を中心に—
村田千代栄(国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部)

介護保険レセプトを用いた介護保険サービスの質の評価
柏木 聖代(横浜市立大学医学部看護学科)

自治体参加型研究の構築と運営
鳥本 靖子(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団)

行政と研究者の協働による介護予防事業の運営と評価
鈴木 宏幸(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム)

ヘルスサービスリサーチの観点からみた柏市の在宅医療推進
吉江 悟(東京大学医学部在宅医療学拠点)

シンポジウム24

11月5日（木） 15:40～18:00 第6会場（長崎ブリックホール 2F 練習室1）

地域包括ケアの推進～元気づくりシステムを基軸とした幸せな生活の場づくりを考える～

座長：大平 利久（一般社団法人元気づくり大学）
榎本 真幸（愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター）

演者：指定管理者としての健康増進づくりへのアプローチ
関口 昌和（一般財団法人どんぐり財団）

元気づくりシステム参加者から発現する新たな地域資源
山田 健次（NPO 法人 A-life なんかん）

元気づくりシステムと人材育成
渡辺 義弘（福島県伊達市健康福祉部）

「元気づくりシステム」を地域包括ケアシステムに活かす
伊藤 俊樹（三重県いなべ市福祉部長寿福祉課）

シンポジウム25

11月6日（金） 9:00～10:50 第6会場（長崎ブリックホール 2F 練習室1）

「健康格差の縮小」をどう進めるか－健康格差対策の7原則

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター）
橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

演者：健康格差対策をくはじめる＞＜考える＞原則
近藤 尚己（東京大学）

「健康格差対策の7原則」の第5原則「重層的対策」について
稲葉 陽二（日本大学法学部政治経済学科）

健康格差対策をく動かす＞原則
尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

神戸市における介護予防の取り組み－健康格差縮小に向けて
岡田 尚（神戸市北区保健福祉部北神保健福祉課）

シンポジウム26

11月6日（金） 10:10～12:00 第1会場（長崎ブリックホール 2F 大ホール）

認知症予防における身体活動・運動の意義 一疫学から実践まで一

座長：下光 輝一（公益財団法人健康・体力づくり事業財団）
宮地 元彦（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

演者：久山町研究からみた認知症
二宮 利治（九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター）

草津町研究からみた認知機能低下の予測因子
谷口 優（東京都健康長寿医療センター研究所）

身体活動・運動による認知症予防：その疫学的エビデンス
宮地 元彦（医薬基盤・健康・栄養研究所）

認知機能低下予防のための運動プログラム「実践と提案」
松浦亜紀子（e-エクササイズ）

指定発言：精神科病院が取り組む認知症予防と高齢者支援について
石井 千恵（医療法人社団清心会藤沢病院）

シンポジウム27

11月6日（金） 10:10～12:00 第2会場（長崎ブリックホール 3F 国際会議場）

青少年の生活習慣と健康

座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）
兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

演者：青少年の飲酒問題の実態と対策
尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）

わが国の中高生における喫煙率の変遷とその要因
神田 秀幸（島根大学医学部環境保健医学講座）

青少年の携帯電話の使用
井谷 修（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

青少年の睡眠習慣
池田 真紀（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

国際的な視点を持った公衆衛生医師の育成を目指して

座長：遠藤 弘良（東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座）
伊東 則彦（北海道根室保健所・中標津保健所／根室振興局／札幌医科大学公衆衛生学講座）

演者：国際保健と公衆衛生人材の育成について
田中 剛（WHO 西太平洋事務局）

公衆衛生医師の確保と育成の観点からの全国保健所長会の取り組み
宇田 英典（鹿児島県伊集院保健所）

国際保健医師の養成 現場に必要なコンピテンシーとは
仲佐 保（国立国際医療研究センター）

国際研修への日本人医師の参加と日本の公衆衛生対策への波及効果
平尾 晋（公益財団法人結核予防会結核研究所）

東京都におけるアジア感染症対策プロジェクト等による人材育成の取り組みについて
森川 雪子（世田谷区烏山総合支所健康づくり課）

ランチョンセミナー1

11月4日(水) 12:20~13:20 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

産婦人科領域における HPV 感染とその対策

座長: 増崎 英明(長崎大学病院 病院長 産婦人科)
演者: 金内 優典(長崎大学病院 産婦人科)
共催: MSD 株式会社

ランチョンセミナー2

11月4日(水) 12:20~13:20 第5会場(長崎ブリックホール 3F 会議室4-5)

健康な歯を守るには

座長: 高塚 勉(サンスター株式会社)
演者: 神原 正樹(大阪歯科大学名誉教授)
共催: サンスター株式会社

ランチョンセミナー3

11月5日(木) 12:10~13:10 第2会場(長崎ブリックホール 3F 国際会議場)

新しい結核の診断と臨床応用について-IGRA から遺伝子検査まで-

座長: 草野 洋介(長崎女子短期大学生生活創造学科)
演者: 福島喜代康(日本赤十字社長崎原爆諫早病院副院長、長崎大学医学部)
共催: 日本ビーシージー製造株式会社

ランチョンセミナー4

11月5日(木) 12:10~13:10 第3会場(長崎ブリックホール 2F リハーサル室)

健康づくりを支える社会環境の実現

座長: 中村 正和(地域医療振興協会 ヘルスプロモーションセンター)
演者: 辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻 公衆衛生学分野)
共催: ファイザー株式会社

ランチョンセミナー5

11月5日(木) 12:10~13:10 第4会場(長崎ブリックホール 3F 会議室1-3)

妊婦さんから気をつけたい感染症対策と予防接種(仮)

座長: 森内 浩幸(長崎大学医学部小児科学教室)
演者: 森 雅亮(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 薬害監視学講座)
共催: ジャパンワクチン株式会社/第一三共株式会社

ランチョンセミナー6

11月5日(木) 12:10~13:10 第5会場(長崎ブリックホール 3F 会議室4-5)

ウイルス感染予防と乳酸菌

座長: 鈴木 弘章(キリン株式会社 基盤技術研究所)
演者: 坂田 清美(岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座)
石井 直明(東海大学医学部基礎医学系分子生命科学)
金山 雅也(キリン株式会社基盤技術研究所)
共催: キリン株式会社

ランチョンセミナー7

11月6日（金） 12:10～13:10 第3会場（長崎ブリックホール 2F リハーサル室）

電磁過敏症 –WHO の見解–

座長：牛山 明（国立保健医療科学院 生活環境研究部）

演者：大久保千代次（一般財団法人 電気安全環境研究所 電磁界情報センター）

共催：一般財団法人 電気安全環境研究所 電磁界情報センター

ランチョンセミナー8

11月6日（金） 12:10～13:10 第5会場（長崎ブリックホール 3F 会議室4-5）

地域力が問われる認知症診療

座長：佐藤 克也（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 運動障害リハビリテーション学分野（神経内科学分野））

演者：長郷 国彦（JCHO 諫早総合病院 認知症疾患医療センター）

共催：エーザイ株式会社

自由集会の日程

11月4日（水） 17:00～19:00

○お申し込み・お問い合わせは各代表世話人へご連絡ください。

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
1	第8回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 4号室	20	○由田 克士 （大阪市立大学大学院生活科学研究科） 武見ゆかり（女子栄養大学） 田中 久子（女子栄養大学） 近藤 今子（中部大学） 荒井 裕介（千葉県立保健医療大学）	〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL 06-6605-2867 FAX 06-6605-2909 E-mail: yoshita@life.osaka-cu.ac.jp
2	結核集団発生の対策に関する自由集会	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 11号室	100	○石川 信克 （公益財団法人結核予防会結核研究所） 長谷川麻衣子 （長崎県県南保健所（所長））	〒204-8533 東京都清瀬市松山3-1-24 TEL 042-493-5760 FAX 042-492-4600 E-mail: urakawa@jata.or.jp （担当：浦川 美奈子）

11月4日（水） 17:00～18:30

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
3	モニタリング・レポート感染症・食品衛生・薬事衛生	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 1号室	15	○緒方 剛（茨城県古河保健所） 稲葉 静代（名古屋市緑保健所） 伊東 則彦（北海道根室保健所）	〒306-0005 茨城県古河市北町6-22 TEL 0280-32-3021 FAX 0280-32-4323 E-mail: togata@pref.ibaraki.lg.jp
4	住民、行政が協働した地域づくりを考える	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 2号室	20	○三輪真知子（梅花女子大学） 山浦 晴男 （千葉大学大学院看護学研究科特命教授・情報工房代表） 棚井 郁夫 （函南町役場厚生部福祉課長）	〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2丁目19-5 TEL 072-643-6221 FAX 072-643-7687 E-mail: m-miwa@baika.a.c.jp
5	コミュニティ・エンパワメントの評価と研究	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 5号室	50	○安梅 勲江（筑波大学医学医療系） 渡邊 久実（筑波大学大学院） 加藤 慶子（筑波大学大学院）	〒305-8577 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間総合科学研究所 TEL 029-853-3436 FAX 029-853-3436 E-mail: anmet@md.tsukuba.ac.jp
6	公衆衛生医師の集い	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 10号室	40	○武智 浩之 （群馬県安中保健福祉事務所） 山本 長史（北海道帯広保健所）	〒379-0132 安中市高別当336-8 TEL 027-381-0345 FAX 027-382-6366 E-mail: takechi-hiroyuki@pref.gunma.lg.jp
7	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用（測定・評価・研究編）—	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 13号室	50	○高尾 総司 （岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野） 藤原 武男（成育医療センター）	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 TEL 086-235-7173 FAX 086-235-7178 E-mail: s-takao@md.okayama-u.ac.jp
8	アクションリサーチで健康づくり!!	長崎県歯科医師会館 2階 大会議室	40	○芳賀 博 （桜美林大学大学院老年学研究科） 齋藤 恭平 （東洋大学ライフデザイン学部） 柴 喜崇 （北里大学医療衛生学部） 佐藤美由紀 （神奈川工科大学看護学部）	〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 TEL 042-797-9242 FAX 042-797-9242 E-mail: h-haga@obirin.ac.jp

11月4日（水） 19:00～21:00

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
9	全国いきいき公衆衛生の会	長崎ブリックホール 2階 リハーサル室	100	○福島富士子（東邦大学看護学部） 藤内 修二（大分県福祉保健部） 大澤 絵里 （国立保健医療科学院国際協力部）	〒143-0015 東京都大田区大森西4-16-20 TEL 03-3762-9290 E-mail: md13038h@oc.toho-u.ac.jp
10	保健師のキャリア ～明日のために、今考える～	長崎ブリックホール 2階 練習室1	70	○中板 育美 （公益社団法人日本看護協会） 平野かよ子（長崎県立大学） 松本 珠美（国立保健医療科学院）	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 TEL 03-5778-8844 FAX 03-5778-8478 E-mail: hokenshi@nurse.or.jp
11	家族介護者の理解は在宅ケアのカギとなる！～認知症カフェでの取り組みから	長崎ブリックホール 3階 会議室4-5	50	○堀 洋子 （一般社団法人ハッピーネット） 加藤 憲（藤田保健衛生大学） 藤原奈佳子（人間環境大学） 平野 幸伸（常葉大学）	〒461-0047 愛知県名古屋市中区大幸南1丁目1-20 TEL 090-1299-5559 FAX 052-719-3110 E-mail: yokoh1922@yahoo.co.jp

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
12	生活困窮者の健康支援における保健師の役割と機能	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 2号室	30	○原 政代（近大姫路大学） 浅沼 奈美（杏林大学保健学部） 富田 早苗（川崎医療福祉大学） 森川 美絵（国立保健医療科学院）	〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042-2 TEL 079-247-7342 FAX 079-247-7739 E-mail：masayo_hara@kindaihomeji-u.ac.jp
13	健康教育教材としてのゲーミング：実際にゲームを体験してみよう！	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 4号室	20	○堀口 逸子（長崎大学広報戦略本部） 江間 有沙（東京大学教養学部） 上田 昌文（NPO 法人市民科学研究所）	〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町503 TEL 03-6257-1940 FAX 03-6257-1783 E-mail：itsukoh@nagasaki-u.ac.jp
14	第18回レセプト情報の活用を考える集会	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 5号室	50	○岡本 悦司（国立保健医療科学院） 小林 廉毅（東京大学医学系研究科公衆衛生学） 熊川 寿郎（国立医療科学院医療・福祉サービス研究部）	〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 TEL 048-458-6208 FAX 048-458-6208 E-mail：atoz@niph.go.jp
15	～知ろう・語ろう・取り組もう～ 一歩先行く 健やか親子21（第2次）	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 10号室	40	○山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部社会医学講座） 松浦 賢長（福岡県立大学）	〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 TEL 055-273-9566 FAX 055-273-7882 E-mail：zenymgt@yamanashi.ac.jp (担当：篠原 rshinohara@yamanashi.ac.jp)
16	住民とともに活動する保健師の会「保健師魂と公衆衛生活動」	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 11号室	60	○渡會 睦子（住民とともに活動する保健師の会／東京医療保健大学医療保健学部看護学科） 毛利 洋子（住民とともに活動する保健師の会／北海道紋別保健所遠軽支所オホーツク総合振興局保健環境部遠軽地域保健支所） 市川 禮子（住民とともに活動する保健師の会／元山形県立保健医療大学／元宮城県保健師）	〒141-6848 東京都品川区東五反田4-1-17 東京医療保健大学内 TEL 090-2272-0122 FAX 大学事務局 03-5421-3133 E-mail：m-watarai@thcu.ac.jp
17	保健師記録の質向上を目指す交流集会	長崎県医師会館 3階 第2中会議室	20	○柳澤 尚代（弘前学院大学） 清水 洋子（東京女子医科大学） 菅原 京子（山形県立保健医療大学） 吉本 照子（千葉大学大学院） 波田野房枝（相模原市保健所）	〒036-8577 青森県弘前市市町13-1 TEL 03-718-8330 FAX 03-718-8330 E-mail：y-hisayo@nifty.com

11月4日（水） 19:00～20:30

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
18	日本 HIA 研究会	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 1号室	20	○石竹 達也（久留米大学医学部環境医学講座） 原 邦夫（帝京大学大学院公衆衛生学研究科） 藤野 善久（産業医科大学公衆衛生学教室） 星子美智子（久留米市保健所）	〒830-0011 福岡県久留米市旭町67 TEL 0942-31-7552 FAX 0942-31-4370 E-mail：tishitak@med.kurume-u.ac.jp
19	第3回職業感染ネットワークの集い	長崎県医師会館 2階 第1中会議室	25	○永野 美紀（福岡市博多保健所所長） 山邊 陽子（名古屋千種保健所） 平光 良充（名古屋衛生研究所） 上田 知仁（小牧市民病院）	〒812-8514 博多区博多駅前2丁目19の24 大博センタービル 福岡市博多区保健福祉センター TEL 092-419-1076 FAX 092-441-0057 E-mail：nagano.m04@city.fukuoka.lg.jp
20	共有しよう 都道府県等における難病施策の再編や保健所等における難病保健活動 共催：平成27年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）【難病患者への支援体制に関する研究班】	長崎県総合福祉センター 4階 会議室（V3）	30	○小倉 朗子（公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護プロジェクト） 小川 一枝（（公財）東京都医学総合研究所東京都難病医療専門員） 永江 尚美（鳥根県立大学） 奥田 博子（国立保健医療科学院） 小西かおる（大阪大学大学院） 菅原 京子（山形県立保健医療大学） 藤田 美江（創価大学） 中尾八重子（長崎県立大学） 那須 淳子（全国保健師長会・岡山県保健福祉部保健福祉課）	〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 TEL 03-6834-2290 FAX 03-6834-2291 E-mail：ogura-ak@igakuken.or.jp
21	第24回多胎児を産み育てる家族への保健サービスを考える集会	長崎総合福祉センター 4階 中会議室	50	○早川 和生（三重県立看護大学） 加藤 則子（十文字学園女子大学） 藤崎 郁（長崎大学医学部保健学科）	〒514-0116 三重県津市夢が丘1-1 TEL 059-233-5605 FAX 059-233-5666 E-mail：kazuo.hayakawa@mcn.ac.jp

自由集会の日程

11月5日（木） 17:00～19:00

○お申し込み・お問い合わせは各代表世話人へご連絡ください。

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
22	体験しよう！相談者の“自ら変わる”を引き出す動機づけ面接法～ダイエットから携帯依存まで～	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 2号室	20	○三瓶舞紀子 （国立研究開発法人国立成育医療研究センター） 瀬在 泉（防衛医科大学校） 北田 雅子（札幌学院大学） 倉本 剛史（荅北クリニック） 八幡亜紀子（日本発条株式会社） 橋口 晋 （長崎県スクールカウンセラー）	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 TEL 03-3417-2647 FAX 03-3417-2647 E-mail : sanpei-m@ncchd.go.jp
23	健康日本21（第二次）の推進における健康づくり及び栄養・食生活改善に関する効果的展開に関する研究	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 4号室	20	○小田 雅嗣（愛知県清須保健所） 磯部 澄枝（新潟県上越保健所） 煥硝岩政樹（岡山県健康推進課） 久保 彰子 （熊本県こども総合療育センター）	〒452-0961 愛知県清須市春日振形129 TEL 052-401-2100 FAX 052-401-2113 E-mail : masatsugu_oda@pref.aichi.lg.jp
24	感染症情報の現状と展望を考える会	長崎県医師会館 2階 第1中会議室	40	○中村 廣志（神奈川県衛生研究所） 中野 道晴（北海道立衛生研究所） 鈴木 智之（滋賀県衛生科学センター） 神谷 信行 （前東京都健康安全研究センター）	〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-3-1 TEL 0467-86-4400 FAX 0467-89-5211 E-mail : nakamura.hrl6@pref.kanagawa.jp
25	公衆衛生学と感染症数理モデルに関する研究会	長崎県総合福祉センター 4階 会議室（V3）	30	○竹内 昌平 （宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野） 内田 満夫 （信州大学総合健康安全センター） 斉藤 正也 （東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学） 山内 武紀 （昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座）	〒889-1692 宮崎市清武町木原5200 TEL 0985-85-0874 FAX 0985-85-6258 E-mail : shouhei-t@umin.net

11月5日（木） 17:00～18:30

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
26	フランス・ゴールドンの会	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 1号室	15	○丸井 英二 （人間総合科学大学人間科学部） 杉田 聡 （大分大学医学部看護学科） 田中 誠二（新潟大学教育学部）	〒339-8569 さいたま市岩槻区馬込1288 TEL 048-749-6111 FAX 048-749-6110 E-mail : marui@human.ac.jp
27	県民健康・栄養調査等行政栄養調査の調査法再考：BDHQ 利用の可能性と課題	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 5号室	50	○奥田 昌之 （山口大学大学院理工学研究科） 佐々木 敏 （東京大学大学院医学系研究科） 廣田 直子（松本大学） 野津あきこ（鳥取短期大学）	〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 TEL 0836-22-2231 FAX 0836-22-2323 E-mail : okuda@yamaguchi-u.ac.jp
28	介護保険情報エビデンスから認知症者ケアを考える	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 9号室	20	○尾形由起子（福岡県立大学） 岡本 和士 （愛知県立大学看護学部） 三徳 和子 （人間環境大学看護学部） 成瀬 優知 （富山大学大学院医学薬学研究部）	〒825-8585 福岡県田川市伊田4395 TEL 0947-42-1860 FAX 0947-42-1879 E-mail : ogata@fukuoka-pu.ac.jp
29	保健事業外部委託のマネジメントを考える	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 10号室	30	○曾根 智史 （国立保健医療科学院企画調整主幹） 鳩野 洋子 （九州大学大学院医学研究院保健学部門） 前野有佳里 （九州大学大学院医学研究院保健学部門）	〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 TEL 048-458-6119 FAX 048-469-1736 E-mail : sonetom@niph.go.jp
30	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用（活用・実践・政策編）	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 11号室	100	○近藤 克則 （千葉大学予防医学センター環境健康学研究部門） 尾島 俊之 （浜松医科大学健康社会医学） 近藤 尚己 （東京大学大学院医学系研究科） 藤原 武男 （国立成育医療研究センター）	〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL 043-226-2534 FAX 043-226-2018 E-mail : kkondo@chiba-u.jp

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
31	公衆衛生に国境はない	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 13号室	30	○松井 三明 (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科) 中村 安秀 (大阪大学大学院人間科学研究科) 仲佐 保 (国立国際医療研究センター国際医療協力局) 大西真由美 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)	〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4 TEL 095-819-7008 FAX 095-819-7892 E-mail : mmatsui@nagasaki-u.ac.jp
32	保健医療データ分析のためのAmos&SPSSの活用講座	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 14号室	20	○中山 直子 (聖路加国際大学) 星 旦二 (首都大学東京) 瀬在 泉 (防衛医科大学校)	〒104-0045 東京都中央区築地3丁目8番5号 TEL 03-6226-6379 FAX 03-6226-6379 E-mail : nnaoko@slcn.ac.jp
33	「多職種で考える・進める歯科保健」ー公衆衛生から見たフッ化物応用ー	長崎県総合福祉センター 4階 中会議室	50	○森木 大輔 (全国行政歯科技術職連絡会 (宮崎県健康増進課)) 高澤みどり (千葉県市原市保健センター) 福田 英輝 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔保健学)	〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2-10-1 TEL 0985-44-2621 FAX 0985-26-7336 E-mail : moriki-daisuke @ pref. mi-yazaki.lg.jp
34	男性保健師の会	長崎県歯科医師会館 2階 大会議室	30	○桂 敏樹 (京都大学大学院医学研究科) 細川 陸也 (京都大学大学院医学研究科) 小田川 敦 (宇治市役所)	〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町53 TEL 090-8388-2390 E-mail : hosokawa.rikuya.42u@st.kyoto-u.ac.jp

11月5日 (木) 19:00~21:00

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
35	第4回低線量被曝と健康被害を考える集い	長崎ブリックホール 2階 リハーサル室	100	○津田 敏秀 (岡山大学大学院環境生命科学研究科) 高松 勇 (たかまつこどもクリニック)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 TEL 086-251-8883 FAX 086-251-8883 E-mail : tsudatos@md.okayama-u.ac.jp
36	公衆衛生情報の有効活用ー「公衆衛生ねっと」を中心にー	長崎ブリックホール 3階 会議室1-3	80	○嶋田 雅子 (公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター) 立花 一幸 (市立大村市民病院) 中村 正和 (ヘルスプロモーション研究センター) 柳川 洋 (ヘルスプロモーション研究センター)	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 TEL 03-5212-9152 FAX 03-5211-0515 E-mail : masakoshim@jadecom.jp
37	全国衛生行政研究会セミナー	長崎ブリックホール 2階 練習室1	40	○毛利 好孝 (全国衛生行政研究会 (たつの市民病院)) 中西 好子 (葛飾区保健所)	〒671-1311 たつの市御津町中島1666-1 TEL 079-322-1121 FAX 079-322-3177 E-mail : Yoshitaka_mouri@city.tatsuno.lg.jp
38	自殺予防政策における学際的領域を考える会	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 1号室	20	○藤田 幸司 (広島大学大学院公衆衛生学研究室) 金子 善博 (秋田大学大学院公衆衛生学講座) 佐々木久長 (秋田大学大学院基礎看護学講座) 本橋 豊 (京都府立医科大学)	〒734-0037 広島市南区霞1-2-3 TEL 082-257-5167 FAX 082-257-5169 E-mail : robin@hiroshima-u.ac.jp
39	開業保健師のつどい	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 2号室	30	○齋藤 明子 (一般社団法人日本開業保健師協会／(株)ヘルス&ライフサポート) 村田 陽子 (有)ピーニング・サポート・マナ) 徳永 京子 (会社の保健室) 押栗 泰代 (株)ナーシングクリエイト)	〒164-0003 東京都中野区東中野4-9-3-105 TEL 03-5386-3144 FAX 03-5386-3144 E-mail : Saito-akiko@y9.dion.ne.jp
40	前向き子育てプログラムーその理論と実践	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 4号室	30	○加藤 則子 (十文字学園女子大学幼児教育学科)	〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28 TEL 048-423-0124 FAX 048-478-9367 E-mail : zvm00730@nifty.com
41	地域包括ケアに向けたエビデンスー市町村でどう作り、どう活用するか	「えきまえ」 いきいきひろば 3階 5号室	50	○田宮菜奈子 (筑波大学医学医療系) 川村 顕 (筑波大学医学医療系)	〒305-8577 つくば市天王台1-1-1 TEL 029-853-8324 FAX 029-853-8324 E-mail : ntamiya@md.tsukuba.ac.jp

自由集会の日程

11月5日（木） 19:00～21:00

○お申し込み・お問い合わせは各代表世話人へご連絡ください。

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
42	世代間交流によるコミュニティ再生を考える会Ⅳー多世代共創社会を考えるー	「えきまえ」いきいきひろば 3階 9号室	30	○藤原 佳典 （東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム） 福島富士子（東邦大学看護学部）	〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2 TEL 03 3964 3241（内4257） FAX 03 3579 4776 E-mail：fujiwayo@tmig.or.jp
43	第7回若葉保健師からのメッセージ～語る保健師には“縁”来る～	「えきまえ」いきいきひろば 3階 10号室	30	○齋藤 雅弥（相模原市保健所） 岸下洗一郎（埼玉県狭山保健所） 久保田朝圭（宮崎県健康増進課） 藤間 晶子（大田区健康政策部）	〒252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2-11-15 TEL 042-769-8260 FAX 042-750-3066 E-mail：sippei@city.sagamihara.kanagawa.jp
44	公衆衛生看護を語る会～保健所と市町村と大学と協働した地域診断～	「えきまえ」いきいきひろば 3階 11号室	70	○平野かよ子 （日本保健師活動研究会） 久佐賀真理（長崎県立大学） 稗園砂千子（長崎県県央保健所）	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1 長崎県立大学 TEL 095-813-5484 FAX 095-813-5484 E-mail：hirano@sun.ac.jp
45	学生とともにを行う被災地支援～福島県内被災高齢者共同住宅での支援を通して～	「えきまえ」いきいきひろば 3階 13号室	40	○佐々木美奈子 （東京医療保健大学医療保健学部看護学科地域看護学領域） 渡會 睦子 （東京医療保健大学住民とともに活動する保健師の会） 中島 誠子 （福島県相双保健福祉事務所健康福祉部副部長（兼）健康増進課長）	〒141-6848 東京都品川区東五反田4-1-17 東京医療保健大学内 TEL 090-2272-0122 FAX 大学事務局 03-5421-3133 E-mail：m-watarai@thcu.ac.jp
46	喫煙対策	「えきまえ」いきいきひろば 3階 14号室	30	○齊藤 麗子（十文字学園女子大学） 鈴木 仁一 （神奈川県相模原保健所） 加治 正行（静岡市保健所）	〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28 TEL 048-477-1292 FAX 048-477-1292 E-mail：rsaitou@jumonji-u.ac.jp
47	PDCA サイクルを回すー「個」から「地域」へ広げる保健師活動ー（第2回）力量形成編	長崎県医師会館 2階 第1中会議室	40	○檀原三七子 （山口大学大学院医学系研究科） 守田 孝恵 （山口大学大学院医学系研究科） 河上屋里美 （山口県萩市保健福祉部健康増進課） 越田美穂子 （香川大学医学部看護学科） 山田 小織 （福岡女学院看護大学看護学部）	〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 TEL 0836-22-2804 FAX 0836-22-2804 E-mail：minako_d@yamaguchi-u.ac.jp
48	全国がん登録への移行とがん患者に届く情報発信	長崎県総合福祉センター 4階 会議室（V3）	30	○大木いずみ （栃木県立がんセンター研究所疫学研究室） 田中 英夫（愛知県がんセンター） 井岡亜希子 （琉球大学医学部附属病院）	〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13 TEL 028-658-5151（4619） FAX 028-684-5756 E-mail：i-oki@tcc.pref.tochigi.lg.jp
49	住まいと健康フォーラム～当事者を中心とした住まい・住まい方と多職種連携～	長崎県歯科医師会館 2階 大会議室	40	○阪東美智子 （国立保健医療科学院） 向山 晴子 （東京都多摩小平保健所） 鈴木 晃（日本大学） 工藤 慶子（帝京平成大学）	〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 TEL 048-458-6249 FAX 048-458-6253 E-mail：bando@niph.go.jp

11月5日（木） 19:00～20:30

番号	集会名	会場	人数	世話人（○印 代表世話人）	代表世話人連絡先
50	ノルディック・ボールウォーキングによる健康支援～1次・2次予防への運動効果と今後の展開を考える～	長崎県総合福祉センター 4階 中会議室	50	○山下 和彦 （東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科） 杉浦 伸郎 （日本ボールウォーキング協会） 櫻井 好枝 （千葉県鋸南町保健福祉） 多田羅浩三 （日本公衆衛生学会名誉会員）	〒154-8568 東京都世田谷区世田谷3-11-3 TEL 03-5799-3711 FAX 03-5799-3713 E-mail：k-yamashita@thcu.ac.jp

一般演題一覧

※「示説」「分科会No」「セッションNo」「演題発表No」

例) P - 01 01 - 1

第1分科会	疫学・保健医療情報 【統計情報，疫学研究，保健医療情報など】	P-0101-1～P-0107-11
第2分科会	ヘルスプロモーション 【健康増進，健康日本21，特色ある地域活動事例など】	P-0201-1～P-0210-11
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム 【がん，循環器疾患，高血圧，骨粗鬆症，特定健診，特定保健指導など】	P-0301-1～P-0313-10
第4分科会	保健行動・健康教育 【禁煙(たばこ対策)，節酒，睡眠，健康教育手法など】	P-0401-1～P-0405-10
第5分科会	親子保健・学校保健 【小児保健，児童虐待，育児支援，すこやか親子21，学校保健など】	P-0501-1～P-0515-10
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防 【ADL，生きがい，転倒予防，認知症予防，閉じこもりなど】	P-0601-1～P-0615-8
第7分科会	高齢者の医療と福祉 【在宅医療，終末期医療，高齢者介護，高齢者虐待など】	P-0701-1～P-0707-12
第8分科会	地域社会と健康 【社会格差，健康格差，ソーシャルキャピタル，市民活動など】	P-0801-1～P-0808-8
第9分科会	難病・障害の医療と福祉 【特定疾患，在宅医療，障害者の医療と福祉など】	P-0901-1～P-0903-9
第10分科会	精神保健福祉 【うつ，統合失調症，自殺予防，薬物依存，ひきこもりなど】	P-1001-1～P-1004-11
第11分科会	口腔保健 【口腔ケア，う歯，歯周病関連，8020運動など】	P-1101-1～P-1103-9
第12分科会	感染症 【HIV，性感染症，結核，ウイルス性肝炎，予防接種，検疫など】	P-1201-1～P-1206-9
第13分科会	健康危機管理 【リスクコミュニケーション，新型インフルエンザ，新興感染症，災害など】	P-1301-1～P-1306-11
第14分科会	医療制度・医療政策 【医療費，医療経済，医療制度，医療計画，医療安全，医療の質など】	P-1401-1～P-1405-8
第15分科会	公衆衛生従事者育成 【教育，活動支援，専門性など】	P-1501-1～P-1507-11
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健 【保健所機能，行政課題，地域連携，地域保健，医療研修など】	P-1601-1～P-1606-10
第17分科会	公衆栄養 【食育，栄養疫学，食生活指針など】	P-1701-1～P-1706-9
第18分科会	健康運動指導 【身体活動，体力，運動など】	P-1801-1～P-1804-9
第19分科会	食品衛生・薬事衛生 【食中毒，食の安全，成分表示など】	P-1901-1～P-1902-6
第20分科会	産業保健 【雇用労働環境，職場のメンタルヘルス，産業医・産業看護活動など】	P-2001-1～P-2004-11
第21分科会	環境保健 【生活環境衛生，地球環境など】	P-2101-1～P-2104-11
第22分科会	国際保健 【グローバルゼーション，プライマリヘルスケア，国際保健医療協力など】	P-2201-1～P-2202-8

第1分科会：疫学・保健医療情報

11月4日（水）14:45-15:45 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

- P-0101-1 川西 康之 (旭川医科大学健康科学講座)
エコチル調査北海道ユニットセンター参加者の代
表性の検討およびコホートプロファイル
- P-0101-2 川上ちひろ (横浜市立大学医学部エコチル調査)
エコチル調査神奈川ユニットセンターにおけるリ
クルート状況の検討
- P-0101-3 小田 政子 (熊本大学 エコチル調査)
エコチル調査 熊本大学パイロットユニットセン
ターにおける調査進捗状況について
- P-0101-4 甲斐村美智子 (熊本大学エコチル調査)
エコチル調査 熊本大学サブユニットセンターに
おける調査参加者の属性と分娩時状況
- P-0101-5 城川 美佳 (富山大学エコチル富山ユニットセンター)
富山地域における「エコチル調査」の認知状況
- P-0101-6 石塚 一枝 (国立成育医療研究センターエコチル調査メディ
カルサポートセンター)
こどもの健康と環境に関する全国調査（エコチル
調査）の進捗状況について
- P-0101-7 安光ラヴェル 香保子 (高知大学医学部環境医学教室)
エコチル調査高知ユニットセンターにおけるフォ
ローアップの状況と今後の課題について
- P-0101-8 山本 緑 (千葉大学予防医学センター)
妊産婦のメンタルヘルスにおける社会的要因－千
葉エコチル調査のデータから－
- P-0101-9 佐野 亮 (自治医科大学地域医療センター公衆衛生学教室)
川崎病の地域集積性：第20回～22回
- P-0101-10 井岡重希子 (琉球大学医学部附属病院がんセンター)
神経芽腫マスキング検査中止後の神経芽
腫の罹患及び死亡の推移に関する研究
- P-0101-11 三谷 智子 (岐阜医療科学大学保健科学部)
DASS (depression, anxiety, stress scale)
21日本語版の作成と妥当性の検証

11月5日（木）9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0102-1 井上康二郎 (岡山県真庭保健所)
国保および死亡データから、どこでも地域診断で
きる Web の構築と、地域課題の対策
- P-0102-2 内田 博之 (城西大学薬学部医療栄養学科病態解析学講座)
わが国の平均余命の将来予測とその性差
- P-0102-3 世古 留美 (藤田保健衛生大学医療科学部看護学科)
健康寿命の指標間の全国値と都道府県分布の比較
- P-0102-4 徳留 明美 (埼玉県衛生研究所地域保健・支援担当)
健康寿命算出における最高年齢階級の設定の影響
- P-0102-5 田中 宏和 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室)
産業別男性死亡率および死亡リスク比の経年変化
(1980-2010年)：反復横断研究
- P-0102-6 安藤絵美子 (東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野)
非正規雇用と循環器疾患リスク因子との関連：国
民生活基礎調査と国民健康・栄養調査
- P-0102-7 三輪のり子 (情報・システム研究機構統計数理研究所)
わが国の肺炎死亡における年齢・時代・世代要因
の影響と地域性
- P-0102-8 澤 律子 (一般財団法人日本予防医学協会)
健診における個人の生理的変動幅 (Sp 値) の新
しい使い方 第4報：事後指導について
- P-0102-9 三浦 宜彦 (埼玉県立大学)
肝がん死亡地理分布の検討
- P-0102-10 青山 旬 (栃木県立衛生福祉大学校)
経年的にみた死因別年齢調整死亡率の推移と新た
なモデル人口の必要性についての一考察

P-0102-11 佐藤 裕太 (国士舘大学体育学部救急システム研究科)
院外心停止の発生時刻と社会復帰率

11月5日（木）10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0103-1 橋本 修二 (藤田保健衛生大学医学部衛生学)
東日本大震災と保健医療統計の研究 第1報 国
民生活基礎調査の世帯数の補完
- P-0103-2 川戸美由紀 (藤田保健衛生大学医学部衛生学講座)
東日本大震災と保健医療統計の研究 第2報 患
者調査の推計患者数の補完
- P-0103-3 三重野牧子 (自治医科大学情報センター医学情報学)
東日本大震災と保健医療統計の研究 第3報 震
災前後の病院の患者数の変化
- P-0103-4 鈴木 茂孝 (藤田保健衛生大学医学部コンピュータ情報処理
学)
東日本大震災と保健医療統計の研究 第4報
ホームページによる関連情報の提供
- P-0103-5 章 ぶん (福島医科大学医学部疫学講座)
東日本大震災の避難住民における睡眠障害のリス
クファクターについての検討
- P-0103-6 高橋 秀人 (福島県立医科大学放射線医学県民健康管理セン
ター)
福島県「県民健康調査」データベースの構造につ
いて
- P-0103-7 村上 義孝 (東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野)
受療行動調査を用いたわが国の待ち時間、診察時
間、費用負担感の経時的変化の検討
- P-0103-8 藤田 美鈴 (千葉大学大学院医学研究院公衆衛生学)
社会経済的要因による医療機関の受診抑制の検討
- P-0103-9 藤田 尚 (新潟県立看護大学看護学部人間環境科学領域)
ケンブリッジ大学所蔵の骨格から推測される近代
ソマリア人の健康
- P-0103-10 安藤 雄一 (国立保健医療科学院)
国民健康・栄養調査の参加状況別にみた歯科疾患
実態調査の参加率
- P-0103-11 足立 拓史 (名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテー
ション療法学専攻博士課程)
地域在住後期高齢者における健診不参加者の背景
因子－不参加理由別の検討－

11月5日（木）14:00-15:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0104-1 松林 恵介 (神戸市保健所瀬保健センター)
GIS を活用した小学校インフルエンザ欠席者数
情報の医療機関への迅速な還元
- P-0104-2 栗盛須雅子 (聖徳大学看護学部)
健康寿命 (余命) 算出プログラムと介護予防事業
評価プログラムの特徴と活用方法
- P-0104-3 河津 里沙 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学
部)
結核疫学調査におけるソーシャルネットワーク分
析 (SNA) の有用性に関する研究
- P-0104-4 神 光一郎 (大阪歯科大学口腔衛生学講座)
国民の口腔内有訴状況と歯科通院行動に関する検
討
- P-0104-5 西 信雄 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
システム・ダイナミクスを用いた肥満者数と喫
煙者数の将来動向予測
- P-0104-6 高田 宗典 (東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター)
医師主導自主臨床試験における ePRO の活用事
例の報告
- P-0104-7 藤井 仁 (国立保健医療科学院政策技術評価研究部)
新臨床研究情報ポータルサイトの構築
- P-0104-8 豊川 智之 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学)
レセプト情報・特定健診等データベース (NDB)
による脳性麻痺の患者数推定

P-0104-9	永井重貴子	(東京大学医学研究所ヒトゲノム解析センター 公共政策研究分野) 本人通知制度の実態と住民票を用いた追跡調査への影響の検討	P-0106-8	西原 進吉	(北海道大学環境健康科学研究教育センター) 胎児期の母と学童期の児の喫煙曝露と ADHD-RS との関連—北海道スタディー
P-0104-10	谷村 晋	(三重大学医学部看護学科地域・老年看護学講座) 三重県の平均寿命と関連する地域要因の探索—空間同時自己回帰誤差モデルによる検討—	P-0106-9	佐藤 美理	(山梨大学大学院総合研究部出生コホート研究センター) 山梨県における妊娠初期・中期における身体活動量—エコチル調査のデータから
P-0104-11	山田 千央	(医療法人同仁会(社団)介護老人保健施設マムクオーレII) 介護老人保健施設での活動能力と栄養状態の関係性に関する報告(第2報)	P-0106-10	榊原 敦子	(医学研究所北野病院) 若年進行子宮頸癌の予後についての比較研究:単施設後方視的パイロットスタディ
11月5日(木) 15:00-16:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0106-11	松田 彩子	(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座) 乳がん患者の QOL の評価方法の検討

P-0105-1	大澤 正樹	(盛岡繁温泉病院内科) 高齢者の喫煙状況と死因別死亡リスクの検討—岩手県北地域コホート研究の結果	11月6日(金) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0105-2	栗林 徹	(岩手大学教育学部) 高齢者の喫煙状況と BMI 別死亡リスクの検討—岩手県北地域コホート研究の結果	P-0107-1	岸本 美和	(奈良県立医科大学健康政策医学教室) 花粉症患者における頭痛と黄砂の関係
P-0105-3	赤羽 学	(奈良県立医科大学健康政策医学) 対照群健康実態調査との比較における油症患者の症状の世代別傾向	P-0107-2	杉山 雄大	(国立国際医療研究センター臨床研究センター医療情報解析研究部) 日本人成人のコレステロール降下薬服用者と非服用者におけるエネルギー摂取の経年変化
P-0105-4	逢見 憲一	(国立保健医療科学院生涯健康研究部) 水島府県別生命表における刊行経緯、方法の変遷と戦前沖縄の乳児死亡精度に関する認識	P-0107-3	郡山 千早	(鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系疫学・予防医学) 緑茶飲用による血清脂質等への影響—南九州市お茶一日プラス6杯運動の結果より—
P-0105-5	延原 弘章	(埼玉県立大学保健医療福祉学部) 健康寿命と要介護度別認定率との関連	P-0107-4	相田 一郎	(北海道岩見沢保健所) 「若者の病氣」になる前の日本の結核はどうだったのか
P-0105-6	木下 寿美	(千葉県衛生研究所健康疫学研究室) 千葉県内全市町村の平均自立期間への人口・死亡数・介護データの影響	P-0107-5	柴田 陽介	(浜松医科大学健康社会医学講座) 性・年齢階級別の肥満及び痩せの30年間の傾向
P-0105-7	山口 通代	(愛知県がんセンター研究所疫学・予防部) 愛知県における市別の早期がん割合と、罹患／死亡比の関係について	P-0107-6	井手野由季	(群馬大学大学院医学系研究科医学教育センター) 看護職女性における生活習慣と高血圧、脂質異常症、糖尿病の関係
P-0105-8	森 國悦	(東大阪市保健所) 急性心筋梗塞を巡る死因分類について - 人口動態調査／死因／都道府県別より	P-0107-7	永吉 真子	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学) HbA1c 低値と頸動脈硬化との関連
P-0105-9	小野 浩二	(日本スキンケア協会教育事業部) 年齢死亡率曲線に見る近年の不慮の事故死の様相	P-0107-8	大木いづみ	(栃木県立がんセンター研究所疫学研究室) がん診療連携拠点病院が地域がん登録に与える影響の大きさや特性
P-0105-10	田邊 直仁	(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科) うつ関連症状と肺炎死亡リスク: JACC study	P-0107-9	中山いづみ	(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科) 都道府県別にみる肥満傾向児の出現率と地域性について
P-0105-11	査 凌	(大阪大学大学院医学系研究科環境医学) 大規模石綿工場周辺住民における全死因および中皮腫の標準化死亡比 (SMR)	P-0107-10	山田 真司	(青森県立保健大学健康科学部看護学科) 隠れ肥満、見かけ肥満をもたらす生活習慣について
11月6日(金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0107-11	星 佳芳	(北里大学医学部衛生学) 東京の少年野球／サッカーチーム指導者における禁煙に関するホームページ情報の調査

第2分科会：ヘルスプロモーション

11月4日(水) 15:45-16:45 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ					
P-0201-1	中元 寿文	(元安芸高田市福祉保健部) 児童生徒の生活習慣病予防における保健行政から学校保健へのアプローチ	P-0201-2	山下 琴美	(広島大学大学院医歯薬保健学研究科) 児童のヘルスプロモーションを推進するための保健指導 ～生活習慣病予防の観点から～
P-0201-3	山本 恭子	(京都府山城北保健所) よりよい未来を選択できる子ども達の育成をめざした思春期保健対策の取組	P-0201-4	高本佳代子	(熊本市東区役所保健子ども課) 区役所における「小学校区単位の健康まちづくり」の取組み
P-0201-5	田中 千穂	(熊本市東区役所保健子ども課) 熊本市 A 校区における「小学校区単位の子育て支援ネットワーク」の取組み			

P-0201-6	小川真奈美	(熊本市東区役所保健子ども課) 熊本市K校区における「小学校単位の健康まちづくり～子育て世代へのアプローチ～」
P-0201-7	市川 剛	(獨協医科大学小児科) 3歳健診での肥満ハイリスク群への介入の試み
P-0201-8	竹村 朋子	(立命館大学映像学部) 子どもによるコンピュータゲーム接触時間の推移とその影響に関する考察
P-0201-9	小川 正行	(群馬大学教育学部保健体育講座) 学生調査による健康余命延伸のための基礎研究：希望寿命と運動実践・体力の現状
P-0201-10	渡辺 悦子	(東京大学大学院医学系研究科健康増進科学分野) 自宅周辺の物理的環境が中学生の活発な身体活動および座位行動に与える影響

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0202-1	諏訪 絵美	(埼玉医科大学地域医学・医療センター) 埼玉医科大学健康づくりプロジェクト第1報：取り組みの概要
P-0202-2	新井 智之	(埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科) 埼玉医科大学健康づくりプロジェクト第2報：ロコトレ介入の効果
P-0202-3	菊池チトセ	(埼玉医科大学保健医療学部看護学科) 埼玉医科大学健康づくりプロジェクト第3報：食事指導の効果
P-0202-4	船川 由香	(全国健康保険協会) 業種・業態から見た身体的・精神的健康に影響を及ぼす要因：協会けんぽ事業所を対象に
P-0202-5	六路 恵子	(全国健康保険協会) 労働者のメンタルヘルスに影響を及ぼす要因の検討：協会けんぽ加入事業所を対象として
P-0202-6	千葉小香枝	(全国健康保険協会岩手支部) 業種・業態別健康リスクを活かした職場スモールチェンジ健康づくりキャンペーン
P-0202-7	間戸 美恵	(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻) 大学生における Sense of Coherence と汎抵抗資源およびメンタルヘルスの関係
P-0202-8	鈴木 淳子	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 都市部在住の中年期女性の精神健康と心理社会的特性に関する年齢層別検討
P-0202-9	蒔田 寛子	(豊橋創造大学保健医療学部看護学科) 看護大学生の身体活動と生活習慣調査
P-0202-10	三橋 利晴	(岡山大学病院 新医療研究開発センター) オタク趣味は個人の主観的健康に影響を与えるか？；ウェブアンケートを用いた横断研究

11月5日(木) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0203-1	後藤 順子	(山形県立保健医療大学) 高血圧と糖尿病の治療の有無と健康行動
P-0203-2	若林チヒロ	(埼玉県立大学健康開発学科健康行動科学専攻) 女性の健康関連ライフスタイル10年間の変化—黒石市、中野市、豊見城市の地域比較—
P-0203-3	李 廷秀	(東京大学医学系研究科健康増進科学分野) 日常生活における健康行動と関連する物理的環境指標—全国市区町村別指標の開発—
P-0203-4	金川由香里	(京都府山城北保健所) 京都府における壮年期男性食生活調査から見た「肥満につながる食生活の特徴」の検討
P-0203-5	石堂 民栄	(チームグル合同会社) 糖尿病予防を中心としたヘルスコミュニティとヘルスツーリズムの運営実践
P-0203-6	中川利津代	(徳島県西部総合県民局 保健福祉環境部 (三好保健所)) 徳島県西部圏域における野菜摂取量増加に向けたヘルスプロモーションの推進要因と課題

P-0203-7	小林 千鶴	(武庫川女子大学大学院) 健康づくり事業「ストップ体重増加」の行動変容ステージ問診を用いた評価
P-0203-8	井澤 聡子	(公立学校共済組合大阪支部) 特定保健指導実施率向上にあたって何に注力すべきか—特定健診データを用いた検討—
P-0203-9	高橋 愛	(大阪府教育委員会) 教職員への心身の健康づくり支援事業—管理職からみた教職員の心身の健康課題—
P-0203-10	小林 敏生	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院健康開発科学研究室) 生活習慣病予備群への和太鼓リズムを用いた集団運動がもたらす生活習慣改善効果
P-0203-11	奥田 鈴美	(広島大学大学院医歯薬保健学研究科) 生活習慣病予備群への和太鼓リズムを用いた集団運動がもたらす精神的・社会的健康効果

11月5日(木) 10:10-11:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0204-1	杉山 賢明	(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野) 健康日本21(第二次)に関する健康意識・認知度調査とその推移
P-0204-2	中尾 紗綾	(熊本市健康づくり推進課) 熊本市における CKD 対策 病診連携システムにおける効果検証
P-0204-3	長岡 愛理	(長崎県吉岐保健所) 長崎県吉岐地区における受動喫煙防止島プロジェクトの取り組みについて
P-0204-4	横山 典子	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) インセンティブ付健康事業が健康意識の変容にもたらす効果—SWC プロジェクト36—
P-0204-5	千々木祥子	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 金銭的インセンティブが運動継続に及ぼす効果の検討—SWC プロジェクト37—
P-0204-6	田辺 解	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 運動実施と健診受診を促す至適なインセンティブ内容の検討—SWC プロジェクト38—
P-0204-7	古川 恵	(東京都福祉保健局保健政策部健康推進課) 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査結果
P-0204-8	中山 和弘	(聖路加国際大学看護情報学) ヘルスリテラシーと喫煙、飲酒と運動の頻度との関連
P-0204-9	伊藤 真理	(東京大学大学院医学系研究科疫学・予防保健学) 子宮頸がん住民検診未受診者層への自己採取HPV 検査導入トライアル(島根県出雲市)
P-0204-10	小西 宏	(日本対がん協会) 全国自治体の妊婦健康診断における子宮頸がん検診の実施状況調査
P-0204-11	恒松美輪子	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院) 乳がん検診の検診条件の改善が検診受診行動に及ぼす影響の定量的分析

11月5日(木) 11:10-12:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0205-1	柳田 昌彦	(同志社大学スポーツ健康科学部) 京田辺市事業：「一休さんウォーク」に関する社会環境的調査(1)—参加回数別特性—
P-0205-2	塩津 陽子	(同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科) 京田辺市事業：「一休さんウォーク」に関する社会環境的調査(2)—年代別特性—
P-0205-3	多田 章夫	(兵庫大学健康科学部健康システム学科) 地域高齢者における運動プログラム介入による精神的健康度やストレス性物質の変化
P-0205-4	松本 秀明	(東海大学健康科学部看護学科) 中高年者の日常生活歩数と血圧・骨密度・体組成について

P-0205-5	吹田 晋	(広島大学大学院医歯薬保健学研究科) 健康づくり事業における高齢者の継続参加に必要な支援の検討	P-0207-5	末永カツ子	(東北大学) 南三陸町における協働の健康づくり計画策定 (2)ー「外の支援者」の役割ー
P-0205-6	升岡 優子	(元広島大学大学院保健学研究科) 子宮頸がん検診の未受診に影響を及ぼす要因と受診率向上に向けた対策の検討	P-0207-6	佐々木美津恵	(南三陸町) 南三陸町における協働の健康づくり計画策定 (3)ー健康意識調査よりー
P-0205-7	照屋 浩司	(杏林大学保健学部公衆衛生学) 地域における運動相談事業への頻回の参加と高齢者の健康指標との関連について	P-0207-7	相田 佳恵	(東北大学) 南三陸町における協働の健康づくり計画策定 (4)ーヒアリング調査等よりー
P-0205-8	森 奈津子	(長浜市役所健康福祉部健康推進課) ICT 機器と隣保制度を用いたウォーキングと保健指導による運動定着	P-0207-8	長谷 亮佑	(山口大学大学院医学系研究科環境保健医学分野) 中山間地域住民における移住希望とその関連要因の検討
P-0205-9	鎌田 明美	(青森中央学院大学看護学部) 温泉地を活用したドイツ式健康ウォーキングの検討第1報；体表温度とアンケートから	P-0207-9	久保田和子	(花巻市健康福祉部健康づくり課) 健診結果の効果的フィードバックに対応した結果個人票作成の取り組み
P-0205-10	太田 尚子	(青森中央学院大学看護学部) 温泉地を活用したドイツ式健康ウォーキングの検討第2報；POMS とアンケートから	P-0207-10	北田 雅子	(札幌学院大学 人文学部) 高齢者のヘルスリテラシーの現状と課題～札幌近郊の高齢者を対象とした調査から～

11月5日(木) 14:00ー15:00 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0206-1	石井 千恵	(医療法人社団清心会) 人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究 (1)
P-0206-2	茅沼 弓子	(医療法人社団清心会藤沢病院) 人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究 (2)
P-0206-3	大庭 輝	(大阪大学大学院人間科学研究科) 人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究 (3)
P-0206-4	井上 辰樹	(龍谷大学社会学部) 心と身体健康づくりのためのラジオ体操第3 (第1報)ーラジオ体操第3の運動強度ー
P-0206-5	坂田 大輔	(龍谷大学大学院社会学研究科) 心と身体健康づくりのためのラジオ体操第3 (第2報)ーラジオ体操第3の効果ー
P-0206-6	喜瀬 真雄	(琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座) 沖縄県内ウォーキングイベント参加者のロコモ度テスト結果
P-0206-7	板 真悟	(南部町総合型地域スポーツクラブスポ net なんぶ) 鳥取県南部町の健康づくり事業ロコトレ運動教室の効果検証
P-0206-8	山本 春江	(青森中央学院大学看護学部) 多積雪地域の勤労者の運動量と変化のステージモデルによる運動行動との関連
P-0206-9	伊藤 俊弘	(旭川医科大学 医学部 看護学講座) 温浴・運動・食を中心とした健康増進プログラムの効果
P-0206-10	菊池 章人	(筑波大学体育系) 音楽に合わせた短時間の歩行運動介入による高齢者の歩行能力向上効果

11月5日(木) 15:00ー16:00 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0207-1	渡邊 ちえ	(前政令市 A 市職員) 事業所が集中した地域の小規模事業所における健康管理体制と従業員の意識
P-0207-2	石飛 悦子	(飯南町役場保健福祉課) 飯南町における自治組織の現状と課題
P-0207-3	大澤 絵里	(国立保健医療科学院国際協力研究部) 主観的健康度と社会経済的要因の分析 - 国民生活基礎調査より -
P-0207-4	佐藤奈央子	(南三陸町) 南三陸町における協働の健康づくり計画策定 (1)ー住民協働の地区活動をめざしてー

11月6日(金) 9:10ー10:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0208-1	安齋ひとみ	(目白大学大学院看護学研究科) がんピアサポーターへの支援の現状
P-0208-2	小屋松 淳	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科社会医療科学講座地域医療学分野) 長崎県五島市におけるクラウド型電子お薬手帳の開発と活用
P-0208-3	星野 明子	(京都府立医科大学大学院保健看護学研究科地域看護学) 都市部少子超高齢地域における住民参画による健康づくりイノベーションの持続可能性
P-0208-4	菅井 幸枝	(荒川区保健所) 東京都荒川区「がんのことをもっと知ろう」プロジェクト (第6報)ー保護者の感想から
P-0208-5	松本 承子	(荒川区保健所) 荒川区におけるポジティブ・デビアンズアプローチによるがん検診受診率向上の取組
P-0208-6	助友 裕子	(日本女子体育大学) Learning Partner Model による健康情報普及の評価ー講座受講者による普及可能性の検討
P-0208-7	宮崎 紀枝	(佐久大学看護学部) 実践者と協働した保健活動の情報発信サイトの作成ー実践知の体系化に向けて第1報ー
P-0208-8	依田 明子	(佐久大学看護学部) 経営学の知見を保健活動に活かす学習会の報告ー実践知の体系化に向けて第2報ー
P-0208-9	山本 三枝	(熊本市東区役所) 熊本市 A 区における「健康まちづくりサポーター養成講座」の取組み
P-0208-10	中林美奈子	(富山大学) アクションリサーチによる歩行圏コミュニティづくり第6報ー活動継続を促す要件ー
P-0208-11	吉田麻由美	(弘前保健所) 保健師による地域住民の社会化促進に関する質的研究ー青森県ー

11月6日(金) 10:10ー11:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0209-1	小堀 栄子	(摂南大学看護学部看護学科統合領域) 在日外国人の死亡率とヘルシーマイグレーション効果
P-0209-2	小嶋 雅代	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) 高齢者大規模疫学調査データからみた COPD の社会的要因：JAGES プロジェクト
P-0209-3	川田 典子	(静岡県健康福祉部) 企業における「ふじ33プログラム」の導入効果
P-0209-4	岳尾 陽子	(長崎市民局市民健康部健康づくり課) 長崎市の慢性腎臓病 (CKD) 対策についてー4つの柱で実施した取り組みの報告ー

P-0209-5	戸ヶ里泰典	(放送大学) ゲイ・バイセクシャルである HIV 陽性者の身体 症状に関連する心理社会的要因とは	P-0301-4	佐藤 友美	(川崎医科大学附属川崎病院健康管理センター) 女性のライフステージと内臓脂肪との関連性
P-0209-6	河村 洋子	(熊本大学政策創造研究教育センター) 「ロボリーマン」職域健康づくりプログラムの効 果の検証	P-0301-5	辻村 尚子	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分 野) 未閉経者の骨密度追跡調査
P-0209-7	安永 正史	(東京都健康長寿医療センター研究所) 世代間交流型社会貢献プログラム REPRINTS が 高齢者に与える長期的効果	P-0301-6	桑原 和代	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室) 2地域の閉経前後女性における CAVI の規定要 因：神戸研究・J-MICC Study 鹿児島サイト
P-0209-8	村山 陽	(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加 と地域保健研究チーム) 地域ボランティアとの交流が高校生の信頼感に及 ぼす長期的な影響	P-0301-7	松永 香里	(一般財団法人日本健康文化振興会) 全国の中年女性3万6千人における4年間の体重 変化と血圧・血糖・脂質変化の関係性
P-0209-9	伊藤絵梨子	(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野) 都市部在住壮年期住民の男女別にみた主観的健康 感と関連要因の検討	P-0301-8	中尾 裕之	(宮崎県立看護大学) 第二期の特定健診・保健指導の課題に向けた市町 村での取組状況
P-0209-10	本村 純	(名桜大学人間健康学部看護学科) 無作為割付比較試験による海水アクアセラピー WATSU の精神健康効果	P-0301-9	今井 博久	(国立保健医療科学院) 第二期特定健診保健指導における市町村国保によ る PDCA サイクルの定性的評価
P-0301-10	小島 令嗣	(北海道大学医学研究科公衆衛生学分野) 食パターンと乳がん罹患との関連 JACC Study より	P-0301-11	魚本 真理	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 年齢階級別にみた子宮頸がん検診受診率の地域差 の検討

11月6日(金) 11:10-12:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-0210-1	煥硝岩政樹	(岡山県保健福祉部) 健康長寿を推進するプログラムの開発と普及(第 1報) 県民健康調査結果を踏まえた展開
P-0210-2	岡本 玲子	(岡山大学大学院保健学研究科) 健康長寿を推進するプログラムの開発と普及(第 2報) モデル実施前後の行動変容の特徴
P-0210-3	田中 公広	(芦北町役場住民生活課健康づくり推進室) 健康づくり推進条例を活かした健康なまちづく り～住民との協働による試み～(第2報)
P-0210-4	古賀 真澄	((株)パルフィットシステム) 民民主役、倉吉市関金温泉活用型健康なまちづく り事業(第2報)
P-0210-5	岩井 知子	(豊田市健康部(豊田市保健所)) 平成26年度豊田市市民意識調査結果からみた地 区特性に応じた健康づくり施策の検討
P-0210-6	日美富美代	(桑名市役所保健福祉部地域保健課) 健康づくりに取り組む市民の地区活動への支援 ～保健師の地区担当制に取り組んで～
P-0210-7	新田 聖子	(出雲市役所大社支所市民サービス課) 出雲市地区診断シートの現状と課題
P-0210-8	宿南 緑	(杉並区杉並保健所) 地域分析によるヘルシーメニュー推奨店事業の新 たな展開への一考察
P-0210-9	平尾 恭子	(特定非営利活動法人 ADMS) 若年層にアプローチする健康づくりイベントモデ ルの検討
P-0210-10	佐々木由樹	(株式会社リンクアンドコミュニケーション) 健康情報リテラシーの向上を目的としたオンライ ン・メディア「ヘルスナッジ」の開発
P-0210-11	町田由紀子	(九州産業大学商学部) 広域地域における健康づくりプログラムの開発に 向けて

第3分科会：生活習慣病・メタボリックシンドローム

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0301-1	辰巳友佳子	(国立循環器病研究センター) 女性における20歳時及び40-75歳時の Body Mass Index と骨密度の関連 神戸トライアル
P-0301-2	立山 美子	(愛知県一宮市中保健センター) 女性の健康診査の骨密度と健診データとの関連
P-0301-3	山田 祐己	(東洋大学大学院生命科学研究科) 骨粗鬆症の家族歴と栄養素及び食品摂取の類似 性：女性3世代研究より

11月4日(水) 15:45-16:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0302-1	澤口 聡子	(国立保健医療科学院) Gray Zone Analysis の試み：乳幼児突然死症 候群を一例として
P-0302-2	広川 清子	(新潟市福祉部保険年金課) 5年間の追跡調査からみた特定健診・特定保健指 導の効果検証
P-0302-3	宮脇 敦士	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 歯周病と糖尿病の関連—MY ヘルスアップ研究 5年間の追跡調査より—
P-0302-4	入江ふじこ	(茨城県筑西保健所) 健診時の AST,ALT 値と肝疾患死亡との関連： 茨城県健康研究
P-0302-5	芹田 史枝	(釧路市こども保健部) 釧路市における若い世代の健診のあり方につい て—アンケート調査からの一考察—
P-0302-6	中島 素子	(金沢医科大学看護学部公衆衛生看護学) 労働集団における睡眠状況と血圧変化に関する縦 断的検討
P-0302-7	杉田由加里	(千葉大学大学院看護学研究科) 自治体における生活習慣病対策の保健事業に関す るデータ分析・活用の体制づくり
P-0302-8	奥田奈賀子	(人間総合科学大学健康栄養学科) 特定保健指導の階層化基準外である高血圧治療中 の者への2年間の保健指導の効果
P-0302-9	市川 太祐	(東京大学大学院医学系研究科臨床情報工学教室) auto encoder と機械学習を組み合わせた血糖 リスク予測モデルの構築
P-0302-10	金 光宇	(医療法人社団成和会西新井病院) 児童・生徒による行動変容に着目した足立区にお ける生活習慣病対策の取り組み
P-0302-11	福田 洋	(順天堂大学医学部総合診療科) 企業従業員におけるヘルスリテラシーと生活習慣 および3大生活習慣病との関連

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0303-1	解良 武士	(東京都健康長寿医療センター研究所) 心疾患で在宅療養する地域在住高齢者の心身機能 の特徴
P-0303-2	白井こころ	(琉球大学法文学部人間科学科) 高齢者の笑いと糖尿病有病の関係についての検 討：JAGES Study

P-0303-3	久藤 麻子	(大阪大学公衆衛生学) 秋田県農林部での24時間蓄尿による食塩排泄量の実態把握と食行動との関連	P-0305-2	上村 浩一	(徳島大学大学院医歯薬学研究部予防医学分野) 日本人における CLOCK 遺伝子多型と肥満、過体重および2型糖尿病との関連：J-MICC Study
P-0303-4	寶澤 篤	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) 東北メディカル・メガバンク地域住民コホート調査(宮城)における高血圧の規定要因	P-0305-3	清水 悠路	(長崎大学医歯薬学総合研究科地域医療学) 脳卒中リスクとしての低身長
P-0303-5	中谷 直樹	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) 東日本大震災後の高血圧の治療中断と関連する要因：地域住民コホート調査	P-0305-4	西田 友子	(椋山女学園大学看護学部) 成人女性の精神的健康と体型の認識や体重変動との関連
P-0303-6	土屋 菜歩	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) 東日本大震災後の宮城県における歯科受診状況と関連因子についての検討	P-0305-5	山梨 啓友	(長崎大学医歯薬学総合研究科離島へき地医療学講座) 脳MRにおける微小出血(Cerebral Microbleeds)と身長との関連
P-0303-7	永井 雅人	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 東日本大震災前後のメタボリックシンドロームの頻度について：福島県「県民健康調査」	P-0305-6	嶋田 けい	(日本赤十字社熊本健康管理センター) 人間ドック受診者を対象とした肥満と早食いとの関係
P-0303-8	中野 裕紀	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 東日本大震災前後の喫煙状況と自覚症状、生活習慣病の関連に関する研究	P-0305-7	岡田 武夫	(大阪がん循環器病予防センター) 高血圧の出現に体重が与える影響について
P-0303-9	田守 未来	(宮城県女川町役場健康福祉課) 大規模災害後の仮設住宅等居住環境別に分類した健康課題の検討	P-0305-8	長谷川 郷	(全国健康保険協会栃木支部企画総務部企画総務グループ) 健診結果から見た血圧と肥満の関係及び特定保健指導による改善効果
P-0303-10	堀ノ内一恵	(甲賀市役所健康福祉部長寿福祉課甲南地域包括支援センター) 甲賀市における高齢期糖尿病患者の生活状況と保健指導の課題－訪問調査から－	P-0305-9	辻本 健彦	(筑波大学体育系) 乳・乳製品摂取と高血圧発症との関連に性・年齢・肥満度が及ぼす影響：茨城県健康研究
11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			11月5日(木) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0304-1	吉田 祥吾	(元富山大学大学院医学薬学教育部地域看護学) 特定健診情報を用いた評価第1報 受診回数が検査値にもたらす影響	P-0306-1	小山 慎吾	(高槻市保健所健康づくり推進課) 高槻市における中学2年生を対象とした H.pylori 感染症スクリーニング検査の導入
P-0304-2	寺西 敬子	(富山大学地域看護学講座) 特定健診情報を用いた評価第2報 BMI 変化による5年後の健診結果の悪化・改善状況	P-0306-2	大谷 昌裕	(香川県予防医学協会健康管理センター) 胃X線はHp感染評価や胃癌のリスク評価に有用か？
P-0304-3	貫場 俊彦	(全国健康保険協会兵庫支部) 特定健康診査受診率に対する健診機関へのアクセスの影響に関する研究	P-0306-3	菊地 正悟	(愛知医科大学医学部公衆衛生学) わが国のピロリ菌感染の実態と胃がん対策
P-0304-4	小川 俊夫	(国際医療福祉大学大学院) 保険者によるレセプトを用いた受療行動分析の手法に関する一考察	P-0306-4	勢井 雅子	(徳島県総合健診センター) 胃がん ABC 検診は高齢者に実施すべきでない
P-0304-5	福元 梓	(ヘルスケア・コミッティー株式会社) 記録開始割合の経時的変化：「はじめの一歩」を踏み出しやすい時期	P-0306-5	小林 秀行	(一橋大学経済学研究科/日本学術振興会特別研究員) 胃がんリスク層別化検診(ABC検診)導入による、受診なし群に対する掘り起こし効果
P-0304-6	田口(袴田)理恵	(共立女子大学看護学部地域在宅看護学領域) 壮年期国保被保険者における生活習慣病予防健診の受診行動変容ステージの決定要因	P-0306-6	藤井 紀子	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学) 集団検診受診者7年間の追跡調査による大腸がんと生活習慣との関連性の検討
P-0304-7	横尾美智代	(西九州大学健康栄養学部健康栄養学科) 演題名：学生による地域での特定健診受診率向上の取り組み－2年目の成果－	P-0306-7	中村 富予	(龍谷大学食品栄養学科) 便通、便の状態と大腸腫瘍発生との関連について
P-0304-8	増田 史也	(津山市役所こども保健部健康増進課) 特定健診受診率向上に向けたモデル地区活動での取り組み	P-0306-8	呉代 華容	(滋賀医科大学臨床看護学講座) 職域がん検診調査(第1報)：調査概要、大腸がん検診結果の認識と精密検査受診状況
P-0304-9	陣内 裕成	(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 離島農村地域の健診における使用メディア媒体数と受診率向上との関連	P-0306-9	志摩 梓	(滋賀医科大学臨床看護学講座) 職域がん検診調査(第2報)：胃がんリスク検診に関する自己認識と精密検査受診状況
P-0304-10	石原 礼子	(保健医療経営大学保健医療経営学部) 特定健診の受診状況が医療費に与える影響に関するコホートデザインによる研究	P-0306-10	田中亜都子	(公益財団法人福岡県すこやか健康事業団) 子宮頸がん検診の精密検査における HPV 検査実施状況について
P-0304-11	佐田みずき	(大阪大学大学院公衆衛生学) 筑西市における中学生の健康行動の学年間比較	11月5日(木) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
11月5日(木) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0307-1	岡田恵美子	(北海道大学大学院医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野) 食事パターンが食道がん死亡リスクに与える影響：JACC Study

P-0307-2	中川 裕子	(大阪市西淀川区保健福祉センター) がん検診未受診者の特性と健康行動への動機づけに関する研究 ー区民アンケートよりー	P-0309-3	御明 和子	(奈良市保健所) 奈良市糖尿病重症化予防の取り組み～HbA1c 高値が改善した者への聞き取り調査から～
P-0307-3	宮脇 梨奈	(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科) がん予防情報に関する新聞記事の内容分析	P-0309-4	杉山 大典	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学) 糖尿病発症予測因子としてのメタボリック症候群：羽曳野市特定健診データを用いた検討
P-0307-4	岡本 康子	(全国健康保険協会東京支部) 慢性腎臓病 (CKD) の危険因子としてのメタボリックシンドローム	P-0309-5	土屋 厚子	(静岡県健康福祉部健康増進課) 緑茶飲用と糖尿病発症の予防効果についての検討
P-0307-5	小川 俊夫	(国際医療福祉大学大学院) レセプトを用いた職域がん検診の効果と精度の推計手法に関する検討	P-0309-6	岡田 実	(亀田メディカルセンター幕張) 我々の施設における特定健診・特定保健指導の実施状況 ーメタボは減少したか？ー
P-0307-6	牧野 伸子	(自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門) 人口動態統計から見た小児の神経芽腫死亡の推移	P-0309-7	前田 隆	(山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科) 特定健診・特定保健指導で「情報提供」に区分される服薬者の実態
P-0307-7	濱 秀聡	(大阪府立成人病センターがん予防情報センター) がん検診実施体制の整備は精度管理指標にどのような影響を及ぼすか？	P-0309-8	田中 麻理	(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 都市部勤労者男性における朝食欠食と耐糖能異常発症との関連
P-0307-8	佐々木美絵	(国立保健医療科学院 政策技術評価研究部) がん臨床研究の国際比較：国際臨床試験登録データベースによる比較	P-0309-9	真鍋 芳樹	(香川大学) 国保特定健康診査受診5年後のメタボ判定推移、死亡・医療費状況について
P-0307-9	末木 恵子	(山梨県福祉保健部健康増進課) 臨床進行度からみるがん検診の有効性について ー地域がん登録データの解析からー	P-0309-10	大平 哲也	(福島県立医科大学 医学部 疫学講座) 笑いが血糖コントロールに及ぼす影響についての介入研究
P-0307-10	高田 碧	(筑波大学医学医療系社会健康医学) 緑茶摂取量と造血管腫瘍による死亡リスクとの関連：The JACC Study	P-0309-11	西尾 佳純	(岡山大学医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野) うつ状態とメタボリックシンドロームとの関連

11月5日 (木) 16:00ー17:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0308-1	岡村 智教	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学) 地域集団での慢性腎臓病 (CKD) と血圧高値、耐糖能異常の合併率に関する検討 (第1報)
P-0308-2	葛谷 裕美	(羽曳野市役所) 地域集団での慢性腎臓病 (CKD) と血圧高値、耐糖能異常の合併率に関する検討 (第2報)
P-0308-3	小島 亜未	(滋賀県立大学人間看護学部公衆衛生看護学領域) 食習慣および運動習慣における行動変容ステージと MetS 関連指標との関係
P-0308-4	加藤 佳子	(神戸大学人間発達環境学研究科) 健康な食生活および運動に関する動機づけとメタボリックシンドローム関連指標との関係
P-0308-5	春山 康夫	(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座) 草加市特定健康診査対象者におけるメタボリックシンドロームの6年間の推移
P-0308-6	石川 信仁	(京都府立医科大学医学部看護学科) 男性特定健康診査受診者の生活習慣の特徴とメタボリックシンドローム発症との関連
P-0308-7	澤田 宜行	(茨城県立健康プラザ) 産業別就業割合と CKD 発症率との関連 (地域相関分析)：茨城県健康研究
P-0308-8	神谷真有美	(名古屋市長立大学大学院医学研究科公衆衛生学教室) 一般住民における CKD とメタボリックシンドローム因子との関係
P-0308-9	加藤寿寿華	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室) 地域在住者における喫煙習慣と糖尿病が腎機能低下に与える影響
P-0308-10	中村 寿子	(活水女子大学看護学部看護学科) 特定保健指導対象者に対する糖負荷試験を基にした保健指導の評価

11月5日 (木) 14:00ー15:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0309-1	土手友太郎	(大阪医科大学看護学部) 積極的支援該当者における行動変容ステージ別の検査結果および生活習慣の縦断的検討
P-0309-2	岩谷 直子	(島根県保健環境科学研究所) 健診結果からみた糖尿病対策の成果と課題

11月5日 (木) 15:00ー16:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0310-1	伊藤 隆洋	(滋賀医科大学公衆衛生学部門) non HDL コレステロールと長期の心血管病死亡リスクとの関連：NIPPON DATA90
P-0310-2	赤堀 摩弥	(静岡県健康増進課) 正常高値血圧者と至適・正常血圧者の生活習慣の違いは何か～33万人の健診データ分析～
P-0310-3	佐伯 圭吾	(奈良県立医科大学地域健康医学講座) 日中の室内寒冷曝露と夜間頻尿の関連：平城京スタディ
P-0310-4	石塚 文恵	(郡山市保健所) 虚血性心疾患・脳血管疾患罹患のリスク要因の検討
P-0310-5	茂野 敬	(富山大学大学院医学薬学研究部成人看護学2講座) 脳血管疾患発症者における予後：入院期間と退院先との関連
P-0310-6	岡本 将輝	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野) 新しい動脈硬化指標 (API-AVI) と冠動脈疾患発症リスクの関連
P-0310-7	大野 洋一	(埼玉医科大学地域医学・医療センター) 性・年齢階級別の血圧値による脳心血管病罹患率の予測式
P-0310-8	荒崎 怜以	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 地域住民におけるストレス解消法と高血圧の性差の検討
P-0310-9	友岡 清秀	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 地域住民における歯痕舌と高血圧との関連：東温スタディ
P-0310-10	斉藤 功	(愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学) 地域住民における心拍変動と血清 CRP に関する横断的研究：東温スタディ
P-0310-11	今野 弘規	(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学) 地域住民における左室心筋重量と脳卒中発症との関連 (CIRCS)

11月6日（金）11:10～12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0311-1	渡辺満利子	（EBNDiet&MetSEducationInstitute 昭 和 女子大学大学院） 無作為化比較試験に基づく MetS のためのライフスタイル教育プログラム効果の評価
P-0311-2	渡邊 純子	（熊本県立大学 地域連携・研究推進センター） クラスター無作為化比較試験による中学生のための PADOK の愁訴低減への効果の評価
P-0311-3	安達 美佐	（栄養サポートネットワーク合同会社） ライフスタイル改善のための対象者のタイプ別アプローチの効果の評価
P-0311-4	小西 雅美	（篠山市保健福祉部健康課） 地域住民における喫煙状況別の動脈硬化・下肢動脈狭窄のスクリーニング：篠山研究
P-0311-5	芦澤 英一	（千葉県衛生研究所） 特定健診の場における早食いは正パンフレット配布効果の検討
P-0311-6	荻野 妃那	（四日市看護医療大学） 特定健診における国民健康保険加入者と協会けんぽ加入者の運動習慣の比較
P-0311-7	宮崎 純子	（大阪がん循環器病予防センター） 住民への食事調査からみた LDL-C 値の上昇因子の検討
P-0311-8	池尻 好美	（全国健康保険協会岡山支部） 特定保健指導のための支援ノートの運動指導ツールの充実について
P-0311-9	辻 博明	（岡山県立大学） 事業所における運動習慣定着への取り組みについて
P-0311-10	伯井 朋子	（大阪がん循環器病予防センター） 大都市近郊住民の近年の健診所見と栄養摂取状況の実態
P-0311-11	梅澤 光政	（獨協医科大学公衆衛生学） 健診受診者におけるアルコール使用障害同定テスト（AUDIT）による飲酒のスクリーニング

11月6日（金）9:10～10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0312-1	大林 賢史	（奈良県立医科大学医学部地域健康医学講座） メラニン分泌量は認知機能とうつ症状に関連する：平城京コホートスタディ横断解析
P-0312-2	栗山 長門	（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学） 短時間睡眠下での骨量低下とレプチン交感神経系
P-0312-3	鈴木 康司	（藤田保健衛生大学医療科学部公衆衛生学教室） 住民健診受診者を対象とした喫煙習慣と血清 microRNA 値との関連
P-0312-4	山田 宏哉	（藤田保健衛生大学医学部衛生学講座） Pyrosequencing による脂質代謝関連遺伝子の定量的 DNA メチル化解析法の確立
P-0312-5	柳堀 朗子	（公益財団法人ちば県民保健予防財団） 胸部集団検診における COPD スクリーニングへの簡易型スパイロメータの有用性
P-0312-6	武内 真有	（大阪市健康局健康推進部健康づくり課） Heavy-for-date 児出産と妊娠糖尿病既往女性を対象とした健診結果と生活習慣の関連
P-0312-7	尾崎 悦子	（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学） 非利き手における橈骨と握力との関連の検討
P-0312-8	近藤美穂子	（医療法人社団せいおう会鶯谷健診センター） 脈波伝播速度（baPWV）と18群食品群摂取量
P-0312-9	小山 晃英	（京都府立医科大学地域保健医療疫学） Myostatin と生活習慣病関連因子との関係
P-0312-10	宮崎 孝	（埼玉医科大学） 特定健診特定保健指導で要支援者の血清亜鉛とインスリン濃度との関連性について

P-0312-11 竹村 重輝 （和歌山県立医科大学医学部衛生学教室）
梅酢ポリフェノール使用終了後の身体的・精神的健康に対する長期効果

11月6日（金）10:10～11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0313-1	飛田ゆう子	（横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課） 全国健康保険協会神奈川支部加入者（横浜市在住）の特定保健指導の効果について
P-0313-2	白河 千秋	（公益財団法人栃木県保健衛生事業団） 健診機関グループ内におけるモニタリングによる精度管理確認事業の取り組み
P-0313-3	松田 景子	（公益財団法人広島県地域保健医療推進機構） 広島県市町国保加入者を対象とした特定保健指導による介入効果の検証
P-0313-4	中村 誉	（愛知県健康づくり振興事業団健康支援事業室） カリモク健康保険組合におけるデータヘルス計画の取組み
P-0313-5	水野 智子	（元埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科） 自治体における生活習慣病予防の保健指導実施者のスキル向上に向けた取り組み
P-0313-6	刈谷 剛	（高知工科大学地域連携機構社会マネジメントシステム研究センター） システムズアプローチによる特定健康診査に関する国民健康保険被保険者の意識構造
P-0313-7	宮崎圭一郎	（山梨県国民健康保険団体連合会） データヘルス計画策定における国保連合会の役割 - 支援評価委員会活動に焦点をあてて -
P-0313-8	高坂 育子	（相模原市緑障害福祉相談課） 健康目標シート変更による特定保健指導の効果の検証
P-0313-9	大西 基喜	（青森県立保健大学） 青森県における健診とレセプトデータを用いた地域診断手法確立への継続的取り組み
P-0313-10	山本 静子	（岡山市保健所） 特定健康診査における医療受診勧奨の取り組み

第4分科会：保健行動・健康教育

11月4日（水）14:45～15:45 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ		
P-0401-1	北嶋しげ子	（秋田県山本地域振興局福祉環境部） 適正飲酒支援のためのスクリーニングと支援方法の検討
P-0401-2	金坂 広美	（大阪市職員共済組合） 男性職員（組合員）の飲酒実態調査による減酒支援の取組みの検討
P-0401-3	足達 淑子	（あだち健康行動学研究所） AUDIT を用いた自己スクリーニングとセルフ教材が男性の飲酒行動に及ぼす長期効果
P-0401-4	奥山 恵	（東松山医師会病院健診センター） 特定保健指導における適正飲酒の自己教材を用いた簡易介入
P-0401-5	池田 真紀	（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野） 思春期における健康、美容意識と、喫煙習慣、飲酒習慣との関連性
P-0401-6	木村 友昭	（一般財団法人 MOA 健康科学センター） 喫煙者と非喫煙者における生活の質（QOL）および精神性の検討
P-0401-7	森岡 聖次	（博愛茨木病院禁煙外来） 禁煙外来6年間の経験（2010～2015）
P-0401-8	和田 耕治	（国立国際医療研究センター 国際医療協力局） 日本の中老年男性における禁煙と社会的背景に関する研究：6年間のコホート研究
P-0401-9	中村 正和	（公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター） たばこ使用者を対象にしたインターネット調査結果の国際比較

P-0401-10	鈴木 史明	(医療法人定生会谷口病院産婦人科) A市路上における喫煙状況調査	P-0403-8	石橋 弘子	(東京医科大学公衆衛生学分野) 地方自治体職員における夕食摂取の時間帯及び栄養摂取状況と睡眠の質の関連
P-0401-11	増居志津子	(公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター) eラーニングを活用した禁煙支援・治療のためのトレーニングプログラムの開発と評価	P-0403-9	成田 暁	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) 宮城県地域住民における心理的苦痛と喫煙行動の関連についての検討
11月5日(木) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間			P-0403-10	中村 智洋	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) 東日本大震災後の睡眠薬服用開始に関連する規定要因の検討: 地域住民コホート調査
P-0402-1	中畑 典子	(島根大学医学部地域医療支援学講座) 中学校職員の喫煙有無と「青少年の喫煙に対する意識」「タバコの知識」の比較	11月6日(金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間		
P-0402-2	白山 芳久	(順天堂大学国際教養学部グローバル社会領域) 「タバコと健康」に関するDVD教材を活用した小学生向け授業の効果について	P-0404-1	埴岡 隆	(福岡歯科大学口腔保健学講座) 受動喫煙と児の歯の萌出状況との関係
P-0402-3	戸張 裕子	(東京薬科大学薬学部) 喫煙習慣の無い大学・大学院生を対象とした非喫煙または禁煙意思に関する調査	P-0404-2	山本真由美	(岡崎市保健部) 3歳児の受動喫煙状況と尿中コチニン濃度調査
P-0402-4	川崎有美子	(山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座) 大学一年生での喫煙および喫煙経験に関連する要因の探索	P-0404-3	大野美喜子	(産業技術総合研究所) 効果の高いチャイルドシート着用促進コンテンツの作成と効果評価
P-0402-5	林田 りか	(長崎県立大学 看護栄養学部 看護学科) 看護学生と喫煙に関する研究 ～1年次と3年次における比較～	P-0404-4	淀川 尚子	(九州看護福祉大学口腔保健学科) 母子の食物新奇性恐怖と食生活コミュニケーションが野菜摂取におよぼす影響
P-0402-6	米倉あゆみ	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科専門職学位課程) 帝京大学板橋キャンパス無煙化に向けた取り組みと経過	P-0404-5	鍋田 淑華	(京都市山科保健センター) 尿中塩分量より推定した塩分摂取量を用いた減塩の試み
P-0402-7	奥田紀久子	(徳島大学医歯薬学研究部学校保健学分野) 大学入学時の防煙教育の効果と影響要因に関する一考察	P-0404-6	福田 吉治	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) プッフェ方式において料理の順番は食品の選択に影響を与えるか
P-0402-8	岩永 資隆	(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座健康政策・国際保健学分野) 平成14年から平成26年までに施行された路上喫煙の防止に関する条例の研究	P-0404-7	田山地麻里	(宮崎市健康管理部医療介護連携課) 学校での生活習慣病予防教育において血糖自己測定を用いる有用性に関する検討
P-0402-9	藤田 有子	(京都府南丹広域振興局南丹保健所保健室) 歯科医療機関における禁煙支援の取組～禁煙支援モデル事業からの一考察～	P-0404-8	山本美由紀	(名古屋市立大学看護学部高齢者看護学) 看護学生における体組成に関する検討
P-0402-10	米谷 晃	(さいたま市南区役所) 妊婦の禁煙状況調査ー平成26年度妊娠アンケート分析からー	P-0404-9	本間三恵子	(埼玉県立大学保健医療福祉学部) 女性の日常的症状の経験とネットによる健康情報希求行動との関連: 本邦3地域調査から
P-0402-11	和泉 恵子	(山梨大学保健管理センター) 大学教職員の喫煙状況と敷地内禁煙等に関する意識調査	P-0404-10	清水由美子	(東京慈恵会医科大学医学部看護学科) 血液透析患者実態調査からみた自己管理をしていない中高年患者の特性
11月5日(木) 14:00-15:00 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間			11月6日(金) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間		
P-0403-1	渡邊 智	(株式会社バスクリン) 大学生における入浴習慣が不安感、気分状態、睡眠感、入浴意識に及ぼす影響	P-0405-1	岡本左和子	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 治療に伴うリスクの受容と決断のための患者のニーズと医師からの支援
P-0403-2	成木 弘子	(国立保健医療科学院) 女性高齢者におけるラフター(笑い)ヨガセッションのストレス軽減効果に関する検討	P-0405-2	岡林 里枝	(京大環境安全保健機構健康科学センター) セルフケアを行う成人を対象とする疫学・EBMに関する教材の検討
P-0403-3	麻生 保子	(帝京大学) 医療・福祉系大学生による整理整頓意識と居室環境状況の特徴	P-0405-3	瀬在 泉	(防衛医科大学校医学教育部看護学科地域看護学講座) ヘルスプロモーション分野における「動機づけ面接」(MI)の有用性ーRCTの検討より
P-0403-4	加藤千恵子	(名寄市立大学保健福祉学部看護学科) 3年間の「ピア・カウンセラー養成講座」における大学生の自尊感情と自己効力感の特徴	P-0405-4	塚田 久恵	(石川県立看護大学看護学部地域・在宅・精神看護学講座) 半島に暮らす人々のヘルスリテラシーの特徴と保健行動改善に向けての探索的研究
P-0403-5	荒井 信成	(白鷗大学教育学部) 高校生の健康リスク行動とレジリエンスに関する縦断的検討	P-0405-5	天野 宏紀	(鳥取大学医学部健康政策医学分野) 医学生の自身と他者への環境行動評価の関連
P-0403-6	大西 孝司	(武庫川女子大学栄養科学研究所) 女子大学生を対象とした薬膳に対する意識調査結果ー今年度の調査結果ー	P-0405-6	山崎衣津子	(全国健康保険協会) 全国健康保険協会加入者の生活習慣の特徴 ～業態に注目して～
P-0403-7	鈴木 悟子	(千葉大学大学院看護学研究科) 30歳代男性の生活習慣病予防のための健康学習サイクルの段階と内容	P-0405-7	河田 志帆	(京都学園大学健康医療学部看護学科) 性成熟期女性の保健行動の促進を目指したヘルスリテラシー向上プログラムの評価
			P-0405-8	柴原 聖子	(日本赤十字社熊本健康管理センター) 歯科衛生士の健康敏感度、健康不安および健診受診に関連する要因

P-0405-9	田中 誠二	(新潟大学人文社会・教育科学系) 占領期日本の衛生教育に関する史的考察－「公衆衛生列車」の北海道運行－
P-0405-10	瀧澤 利行	(茨城大学教育学部教育保健教室) 公衆衛生学教育としてのシネメデュケーションの意義と課題

第5分科会：親子保健・学校保健

11月4日(水) 15:45-16:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0501-1	小野 真代	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 乳幼児期の子どもを持つ母親の潜在的児童虐待リスクとソーシャルサポートとの関連
P-0501-2	雨宮 愛理	(国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部) 暴力の連鎖：妊娠中のパートナーによる暴力と4ヶ月児への虐待との関連
P-0501-3	鈴木 浩子	(首都大学東京大学院人間健康科学研究科) 子ども虐待予防に向けた保健師の家庭訪問による支援評価尺度の開発
P-0501-4	佐藤 拓代	(大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター) 大阪府内病院における児童虐待の取り組み～大阪府医療機関調査第1報～
P-0501-5	大木 秀一	(石川県立看護大学健康科学講座) 多胎育児支援者の視点からみた多胎家庭における虐待死事例の検討
P-0501-6	大澤真奈美	(群馬県立県民健康科学大学看護学部地域健康看護学教育研究分野) 乳幼児虐待予防に向けて乳幼児健診時に活用するアセスメント項目に関する文献検討
P-0501-7	小林 恵子	(新潟大学大学院保健学研究科) 子ども虐待事例の家族生活力量の向上をめざすアクションリサーチ
P-0501-8	清水 洋子	(東京女子医科大学) 子ども虐待予防のグループ支援事業参加者の主観的效果と参加継続との関連
P-0501-9	須藤菜衣子	(津田塾大学大学院国際関係学研究科) 父親の産後うつの実態と関連要因
P-0501-10	竹原 健二	(国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部) 生後2か月の乳児の父親におけるメンタルヘルスと虐待傾向の関連
P-0501-11	高 彬良	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 虐待種別に見た児童虐待相談対応件数増加の検討

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0502-1	福田 雅一	(堺市堺保健センター) 心の不調妊婦への支援 堺市保健センターの実践
P-0502-2	大橋 純子	(京都府立医科大学医学部看護学科) ストレス認知改善を目的としたコーチングの効果：乳幼児を養育する母親における検討
P-0502-3	永谷 照男	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学) 子育て期女性の就労と家事の相互健康影響：baseline data 4－有配偶者の疲労感
P-0502-4	仲野 宏子	(国際医療福祉大学福岡看護学部) 子育てを支援する60歳代祖父母の蓄積的疲労徴候と関連する要因－男女別の検討－
P-0502-5	都筑 千景	(神戸市看護大学) 育児期女性における月経前気分不快症状とQOLおよび子育てとの関連
P-0502-6	戸沼 由紀	(青森県立保健大学健康科学部看護学科) 1歳6ヵ月と3歳における親性および親の生活の質についての分析
P-0502-7	加藤祐見江	(川口市健康増進部保健センター) 育てにくさを感じる親の把握および支援について

P-0502-8	鎌田 彩加	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 配偶者による育児支援の養育者ストレスおよび育児感情との関連性
P-0502-9	持田 聖子	(ベネッセ教育総合研究所次世代育成研究室) 初産婦が産後4ヶ月間に感じる不安とサポートニーズについて
P-0502-10	本多由起子	(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻社会疫学分野) 東日本大震災で被災した子のレジリエンスと保護者のメンタルヘルスの関連に関する研究
P-0502-11	山岡 祐衣	(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野) 障害を持つ子どもを育てるということ ー母親の精神的健康と就労機会との関連

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0503-1	堀江 恭子	(名古屋市守山保健所) 子育てサロンの充実に向けた子育て支援の方向性の検討
P-0503-2	天宮 陽子	(明和学園短期大学) 父親の育児参加を促進する参加型教育プログラムの一実践
P-0503-3	中村 侑加	(順天堂大学医学部附属順天堂医院) 父親の子育て支援サービス利用の実態と利用促進への考察
P-0503-4	寺島 彩	(高松市保健センター) 乳児期における父親の育児参加と母親の育児負担軽減
P-0503-5	土岐 篤史	(浜松医科大学健康社会医学) 父親の育児参加の現状と家庭状況に関する研究－「健やか親子21」の全国調査から－
P-0503-6	高木 悦子	(人間総合科学大学保健医療学部看護学科地域看護) 父親の妊娠・出産・育児に対する思いー量的質的データの分析からー
P-0503-7	森崎 菜穂	(国立成育医療研究センター社会医学研究部) 両親のパーソナリティと出産アウトカムとの関係について
P-0503-8	喜多 歳子	(北海道情報大学医療情報学部医療情報学科) 親の社会経済状態と18か月児の自閉症スペクトラム疑いリスクとの関連：北海道スタディ
P-0503-9	細川 陸也	(名古屋市立大学看護学部) 夫婦関係と就学前児の社会的スキル発達との関連
P-0503-10	藤原 美輪	(稲美町役場) 育児の孤立化が疑われる妊婦への支援についてー妊婦の社会的背景を考えるー
P-0503-11	中山 直子	(聖路加国際大学) 中学生のウェルビーイングとソーシャルキャピタルと保護者の認識との関連

11月4日(水) 15:45-16:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0504-1	渡邊 正樹	(東京学芸大学教育学部養護教育講座) 小・中学校の防災教育が家庭に及ぼす影響 ー保護者を対象とした Web 調査結果よりー
P-0504-2	小嵩 花奈	(あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部健康教育課) 小中学校への健康教育の効果と課題について
P-0504-3	関 健介	(杏林大学保健学部) 中学校体育系運動部所有の救急箱に関しての現状及び意識調査
P-0504-4	奥園 桜子	(独立行政法人国立成育医療研究センター研究所社会医学部) 軽度の体罰は子どもの問題行動を引き起こすのか？21世紀出生時縦断調査を用いた研究
P-0504-5	芝田ゆかり	(朝日大学保健医療学部看護学科) 年齢別比較によるう蝕有病状況の地域差ー学校保健統計調査結果からの検証ー

P-0504-6	木村健太郎	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) バドミントンクラブに所属する小学校高学年児童の精神健康の関連要因－競技成績別検討－	P-0506-5	馬場 優子	(足立区衛生部こころとからだの健康づくり課) 糖尿病予防事業による保育園児及び家庭への食習慣・事業浸透度調査と体格との関連分析
P-0504-7	佐藤真喜子	(埼玉医科大学地域医学・医療センター) 感染症情報収集システムによる学校感染症の発生状況について	P-0506-6	石川 麻衣	(高知県立大学看護学部) 児童・生徒を対象とした生活習慣病予防健診受診後の子ども自身による健康管理の変化
P-0504-8	岸 由実	(広島県北部保健所) 保育所における食物アレルギー児への対応について	P-0506-7	安 炳文	(京都府立医科大学救急医療学教室) 保育園における園児のけがと生活習慣の関係
P-0504-9	三砂ちづる	(津田塾大学国際関係学科) 保育園における「おむつなし保育」と「社会的スキル」	P-0506-8	志澤 美保	(京都府立医科大学看護学科) 幼児期の子どもの食行動に養育環境が与える影響の検討
P-0504-10	橋本由利子	(東京福祉大学社会福祉学部) 群馬県 A 市における保育所・幼稚園の防災対策と歯磨き習慣の関連	P-0506-9	矢村 奈月	(明和町役場福祉保健課) 3歳児健康診査受診児のう歯と母子の歯科保健行動
P-0504-11	河原 智江	(共立女子大学看護学部非常勤講師) 保育園におけるアレルギー除去食提供プロセスにおけるリスクと課題の検討	P-0506-10	西出りつ子	(三重大学医学部地域・老年看護学講座) 3歳児健康診査受診児のう歯に関連する間食習慣と歯磨き習慣

11月5日 (木) 11:10～12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0505-1	西村 実穂	(東京未来大学 こども心理学部) 茨城県内の保育所における放射能汚染の影響－原発事故発生後3年間の変化－
P-0505-2	三木 崇弘	(国立成育医療研究センター 社会医学研究部) 東日本大震災で被災した子どものレジリエンスと親の養育に関する研究
P-0505-3	伊藤 常久	(東北生活文化大学短期大学部生活文化学科) 沿岸部における学校防災－児童生徒の津波等に対する防災意識
P-0505-4	吉川 弘明	(金沢大学保健管理センター) 若い男女における意識調査－「子どもが欲しい」と思う因子の解析－
P-0505-5	足立 由美	(金沢大学保健管理センター) 教材「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」への大学生の評価
P-0505-6	高橋 幸子	(埼玉医科大学地域医学医療センター) 小・中・高それぞれの性教育課題を共有し切れ目ない性教育システムを
P-0505-7	吉田 由紀	(埼玉県立大学保健センター) 大学生へのアルコール教育の試み
P-0505-8	成 順月	(岐阜医療科学大学保健科学部看護学科) インターネット依存傾向が中高生の学習意欲と自尊感情に与える影響：追跡調査結果より
P-0505-9	渡會 睦子	(東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科) 児童養護施設における性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題予防のための教材検討
P-0505-10	三瓶舞紀子	(国立研究開発法人国立成育医療研究センター社会医学研究部) 集団の効力 (Collective efficacy) と児童・青年期の歯磨きとの関連
P-0505-11	荒木隆一郎	(埼玉医科大学地域医学・医療センター) 地域の学校感染症流行状況把握を目的とした感染症 GIS ネットワークシステムについて

11月5日 (木) 9:10～10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0506-1	藤村 裕子	(富山大学大学院医学薬学研究部疫学・健康政策学) 男児及び女児の体格の推移と第二次性徴開始学年による比較
P-0506-2	藤井 千恵	(愛知教育大学教育学部養護教育講座) 幼児の就寝時刻と親子の生活習慣等の関連
P-0506-3	比嘉 憲枝	(名桜大学人間健康学部看護学科) 沖縄県 A 地区の幼稚園と小学校低学年の児の生活習慣実態と保護者の認識
P-0506-4	前川美紀子	(名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科) 沖縄県 A 地区の保護者の養育姿勢と児童の生活習慣との関連

11月5日 (木) 10:10～11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0507-1	橋本 廣子	(岐阜医療科学大学保健科学部看護学科) 食事制限ダイエット開始時期とボディイメージの関係について
P-0507-2	小原久未子	(神戸大学大学院人間発達環境学研究科) 小・中学生における食行動・食態度と体組成との関連について
P-0507-3	中村 晴信	(神戸大学大学院人間発達環境学研究科) 中学生における体組成と生活習慣やダイエット経験との関連
P-0507-4	芳我ちより	(岡山大学大学院保健学研究科) 幼児期から思春期に至る体格推移に関連する生活因子の検討
P-0507-5	落合 裕隆	(昭和大学医学部公衆衛生学部部門) 小児における食べる速さと過体重の関連：前向きコホート研究
P-0507-6	白澤たかこ	(昭和大学医学部公衆衛生学部部門) 学童における体型認識の歪みとその後の体格との関連：3年間のフォローアップ研究
P-0507-7	上地 勝	(茨城大学教育学部) 高校生における多重健康リスク行動の地域比較
P-0507-8	古川 照美	(青森県立保健大学) 地方と都市における中学生の生活習慣の比較
P-0507-9	鈴川 一宏	(日本体育大学体育学部) 地方と都市における中学生の身体症状と生活習慣の関連
P-0507-10	具志堅 武	(日本体育大学体育学部) 地方と都市における中学生の体格に関連する生活習慣要因

11月5日 (木) 11:10～12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0508-1	植松 勝子	(中部学院大学看護リハビリテーション学部看護学科) 普通小学校の通級指導対象児の乳幼児期の支援の状況について
P-0508-2	山田 万里	(新宿区健康部健康推進課) 新宿区保健センターでの「発達に課題がある児」の把握状況 (第1報) ～237事例～
P-0508-3	斉藤 礼子	(新宿区東新宿保健センター) 新宿区保健センターでの「発達に課題がある児」の把握状況 (第2報) ～32事例～
P-0508-4	山岡 紀子	(神戸常盤大学短期大学部) 極低出生体重児における修正1歳7か月時の共同注意行動の発達とその評価法の検討
P-0508-5	竹内 倫子	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野) 妊婦の歯周状態と胎児発育との関係－酸化ストレスを切り口にした検討－

P-0508-6	松山 明子	(千葉県千葉リハビリテーションセンター) 発達に遅れがある3才児眼科精密検査の意義 (リハセンターにおける視能訓練士の役割)	P-0510-5	大北 啓子	(NPO 法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンター Bee) 乳児母子支援プログラム (IPPO) の効果～支援者へのグループインタビュー調査より
P-0508-7	溝呂木園子	(山梨大学大学院総合研究部社会医学講座) 5歳児健診で発達障害が疑われた児の3歳時の生活習慣	P-0510-6	仁木 敦子	(大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター) 「後期早産児 (Late Preterm 児) の特徴と母親の育児観 ～H 市の LP 児の調査から～」
P-0508-8	原 修一	(九州保健福祉大学保健科学部言語聴覚療学科) 宮崎県西臼杵郡3町に在住する小児の言葉の問題への支援事業を利用する小児の特性	P-0510-7	畠山 典子	(浦安市役所健康増進課) 産後早期の宿泊型産後ケアの効果と地域で求められる支援
P-0508-9	子吉 知恵	(石川県立看護大学地域・在宅・精神看護学) 発達障害を危惧する子どもの保護者の受容状況に応じた保健師の支援	P-0510-8	市川 香織	(文京学院大学保健医療技術学部) ホテルを利用した新たな産後ケア「浦安市日帰り型産後ケア事業」の取り組み
P-0508-10	加藤 承彦	(国立研究開発法人国立成育医療研究センター) 母親の年齢が子どもの健康と発達に与える影響	P-0510-9	津村 千賀	(和歌山県御坊市役所) 自治体における母子保健情報の電子データ化と、それに伴う課題の検討
P-0508-11	大屋 千鶴	(杏林大学成人・老年看護学) 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援ネットワーク生成に関する研究	P-0510-10	原出 君枝	(和歌山県御坊市役所) 幼児の生活習慣についてのアンケート結果から抽出された地域の課題の検討
11月5日 (木) 16:00～17:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0510-11	上田 勝也	(和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学教室) 地域母子保健情報に基く妊娠・育児中の女性における喫煙状況の縦断的検討
P-0509-1	湯舟 邦子	(昭和大学 保健医療学部) 妊娠各期 (妊娠初期、中期、末期、産後1か月) の抑うつの特徴	11月5日 (木) 15:00～16:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0509-2	藤岡 奈美	(山口大学大学院医学系研究科) 出産後1ヶ月間における高齢初産婦のストレス生体反応および気分・感情の変化	P-0511-1	横山 美江	(大阪市立大学) 母乳育児推進のための基盤研究 (第1報) - 若年母親と他の年齢の母親の母乳率の比較 -
P-0509-3	野原 真理	(つくば国際大学医療保健学部) 初妊婦の QOL に影響する要因分析	P-0511-2	中尾由紀美	(大阪市都島区保健福祉センター) 母乳育児推進のための基盤研究 (第2報) 乳児をもつ母親の授乳相談と乳児の背景の検討
P-0509-4	高橋 篤	(利根沼田保健福祉事務所) 出産傾向と児の健康障害リスクの関連の検討: 養育医療給付児の重回帰分析での検討	P-0511-3	福田 早苗	(関西福祉科学大学健康福祉学部) 母乳育児促進のための基盤研究 (第3報) 母親の疲労と母子の愛着形成に関わる因子検討
P-0509-5	近藤 泰之	(渋川保健福祉事務所) 小児慢性特定疾患自立支援事業における保健所の役割: 在宅療養アンケートの解析から	P-0511-4	篠原 亮次	(山梨大学大学院総合研究部出生コホート研究センター) 乳児期の母親の喫煙と市町村の継続的育児支援の関連 - 健やか親子21最終評価から -
P-0509-6	古畑 雅一	(北海道北見保健所) 0.5～1.5歳時に罹患した呼吸器感染症と小児の喘息発症及び重症化	P-0511-5	秋山 有佳	(山梨大学大学院総合研究部社会医学講座) 居住地域での今後の子育て希望と母子保健施策との関連 - 健やか親子21追加調査から -
P-0509-7	飯田 芳枝	(石川県こころの健康センター) 妊娠届出時期と妊娠・出産及びその児の健康関連問題の実態	P-0511-6	坂本 玲子	(山梨県立大学人間福祉学部) 幼稚園における子育てカウンセリング - 17年の軌跡 -
P-0509-8	磯部 充久	(さいたま市健康科学研究センター) タンデムマスを利用した先天性副腎過形成症二次検査法の検討	P-0511-7	藤原 愛子	(九州看護福祉大学看護福祉学部口腔保健学科) A 市で実施する育児学習会における対象・方法・項目の地域間比較による検討
P-0509-9	鶴ヶ野しのぶ	(電気通信大学保健管理センター) 単科大学における障害者支援一肢体不自由学生の事例を通して考えるー	P-0511-8	後藤 あや	(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座) ノーバディーズ・パーフェクト育児支援事業評価: 質的データの実践的分析
P-0509-10	橋本 直也	(東京大学大学院医学系研究科保健社会行動学分野) 母親の就労と子どもの喘息の有病ならびに未受診との関連	P-0511-9	鈴木 裕美	(香川大学医学部公衆衛生学教室) 子育てと子どもの問題行動に関する調査
P-0509-11	佐藤 玲子	(埼玉県立大学 保健医療福祉学部) 起立動作時に立ちくらみを訴える女子大学生は血圧・自律神経機能が低値を示す	P-0511-10	福田由紀子	(人間環境大学看護学部看護研究科) 第1子をもつ母親の子育て情報と役立つ支援の課題
11月5日 (木) 14:00～15:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0511-11	木下 麗奈	(堺市堺保健センター) 35歳以上の初産婦の育児状況の分析～4か月健診の問診票より～
P-0510-1	堀江 早喜	(帝京大学女性医師・研究者支援センター) 正期産単胎の出産前体重と妊娠期間中の体重増加の分娩時出血量への影響についての検討	11月6日 (金) 11:10～12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0510-2	園田 正樹	(東京大学大学院医学系研究科) 地域周産期センターにおける社会的ハイリスク妊婦の動向	P-0512-1	尾添 聡美	(松江市役所健康福祉部保健センター) 保健師による母子個別支援の実態と評価に向けて
P-0510-3	向井 佑里	(玉野市役所) アンケートを活用した妊娠届出時の支援方法についての一考察	P-0512-2	有本 梓	(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野) 都市在住幼児におけるセーフコミュニティ推進に向けた研究ー傷害不安とリスク要因ー
P-0510-4	堤 春菜	(東京都荒川区保健所) 産後3か月までに相談支援を利用する母親の特徴と今後の支援の検討			

P-0512-3	茂木 望	(前橋市役所福祉部子育て支援課) 前橋市における5歳児就学前健診モデル事業の実践と事業評価	P-0514-2	宇野 薫	(女子栄養大学大学院) 妊娠期の個別栄養教育が母児の栄養状態に与える効果 RCT ベースライン調査より
P-0512-4	佐々木 漢門	(あいち小児保健医療総合センター) 愛知県の母乳育児の割合における自治体間格差と地域集積性	P-0514-3	田沢 広美	(沖縄県保健医療部健康長寿課) 沖縄県妊産婦・乳幼児支援体制整備事業(第1報)ー事業の概略ー
P-0512-5	富野 裕子	(長崎市民局こども部子育て支援課) 長崎市における「子ども総合相談」関連事業と相談実績の考察	P-0514-4	田中 太一郎	(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野) 沖縄県妊産婦・乳幼児支援体制整備事業(第2報)ー妊婦健診受診回数に関する検討ー
P-0512-6	毛受 矩子	(四天王寺大学) 妊婦(両親)教室参加者の妊娠期から出産・育児に関するニーズ調査	P-0514-5	林 友紗	(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野) 沖縄県妊産婦・乳幼児支援体制事業(第3報)ー低出生体重児の要因分析ー
P-0512-7	石橋 侑希	(小矢部市役所) 3歳児を持つ母親の育児負担感と問診票自由記載欄への記載行動との関連	P-0514-6	武藤 陽子	(甲州市役所健康増進課) 産後ケア事業(デイスサービス型)の取り組みについて
P-0512-8	鷺本 重弓	(小矢部市役所) 3歳児を持つ母親とその児の朝食欠食の類似性と母親の朝食内容	P-0514-7	西嶋 真理子	(愛媛大学大学院医学系研究科) 療育機関通所経験のある児の親へのステップिंग・ストーンズ・トリプルPの介入効果
P-0512-9	池田 由希子	(羽曳野市健康増進課) 乳児早期家庭訪問事例における低出生体重児の特徴と親支援の方略(1報)	P-0514-8	久井 志保	(兵庫大学健康科学部看護学科) 孫育て支援についての考察ー祖父母世代を対象にした孫育てに対するニーズ調査からー
P-0512-10	根来 佐由美	(大阪府立大学大学院看護学研究科) 医療機関からの連絡により把握した乳児早期家庭訪問事例の特徴と支援(2報)	P-0514-9	伊東 花江	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 子どもの向社会性に関連する要因の検討ー家庭でのかかわりに焦点をあててー
P-0512-11	安本 理抄	(大阪府立大学大学院看護学研究科) 乳児早期家庭訪問時に Bonding 得点が高い親の背景と支援方略(3報)	P-0514-10	大河内 彩子	(横浜市立大学大学院医学研究科) 多職種協働に向けた「気になる子ども」評価尺度の開発:小児歯科研究プロトコル
11月6日(金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0514-11	大西 玲子	(藍野大学短期大学部第一看護学科) 少子化に対する意識と学校適応感ー医療系専攻学生の場合ー
P-0513-1	高橋ひとみ	(桃山学院大学法学部) 三歳児健康診査会場でスクリーニングとしての視力検査を実施するために	11月6日(金) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0513-2	鈴宮 寛子	(島根県健康福祉部) 島根県における乳幼児健診の標準化の取り組み	P-0515-1	青木 史子	(名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学教室) ローレンツ曲線を用いた県別の周産期医療格差の検討
P-0513-3	光井 朱美	(京都府宇治児童相談所京田辺支所) 性被害児童の特徴および児童支援のための連携に関する一考察ー心理テストを用いてー	P-0515-2	佐田 文宏	(東京医科歯科大学難治疾患研究所) 児の発育に影響を及ぼす要因:21世紀出生児縦断調査の分析
P-0513-4	新美 志帆	(あいち小児保健医療総合センター) 乳幼児健康診査に関連した法令や通知と健康課題の変遷	P-0515-3	山崎 逸美	(枚方市保健センター) 枚方市における特定妊婦の取り組みー枚方市版リスクアセスメントシートの作成ー
P-0513-5	今村 恵	(始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部) 未熟児等 NICU 入院児の在宅移行支援に関する一考察	P-0515-4	伊藤 澄雄	(飛島村教育委員会) 幼児期の発育発達に即した運動支援の9年後の身体性、精神性への効果
P-0513-6	加藤 則子	(十文字学園女子大学幼児教育学科) 異性双生児の周産期リスクは同性双生児より低いがその差は縮まっている	P-0515-5	高橋 佐和子	(聖隷クリストファー大学) 若年妊娠予防教育プログラム開発ー実施と評価ー
P-0513-7	中村 仁志	(山口県立大学看護栄養学部看護学科) 「中1ギャップ」における問題と背景について	P-0515-6	川久保 桂子	(東海大学大磯病院) 小学校教師のストレスとメンタルヘルス調査
P-0513-8	佐野 ゆり	(仙台市太白区保健福祉センター) 地域全体での子どもの事故防止と防災への取り組みー10年間の活動報告ー	P-0515-7	島本 太香子	(奈良大学社会学部) 若年女性の月経関連症状と体型意識について
P-0513-9	伊藤 明子	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 有機食品に対する日本の母親の意識調査:インターネット調査	P-0515-8	浅沼 徹	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 女子大生アスリートにおける食行動異常の関連要因の検討
P-0513-10	田中 笑子	(筑波大学) コホートデータを用いた思春期の社会性定量化とその後の精神的健康への影響の検討	P-0515-9	宮本 邦彦	(大阪青山大学健康科学部) 大学生の衝突回避行動(接触生起率と回避限界速度)と生活習慣及び「けが」との関係
P-0513-11	小野田 浪子	(都留市役所) 妊娠期の母のリスクから子育ての支援体制を考える	P-0515-10	吉田 穂波	(国立保健医療科学院生涯健康研究部) 人口動態統計の再解析から明らかになったわが国の低出生体重児増加の要因とは?
11月6日(金) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0514-1	宇野 薫	(一般社団法人ラブテリ) 就業女性の食生活課題 まるのうち保健室の取り組み

第6分科会：高齢者の QOL と介護予防

11月4日（水）16:45-17:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0601-1 吉葉かおり （公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）
埼玉県在住一人暮らし高齢者の食品摂取の多様性と食物摂取状況との関連
- P-0601-2 西 真理子 （東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
孤立感の要因に関する検討：その低減・予防への一考察
- P-0601-3 横山 勝教 （香川大学大学院医学系研究科）
地方の島でも単身高齢者や高齢者夫婦世帯のほうで医療機関受診頻度は高い
- P-0601-4 依田 健志 （香川大学医学部公衆衛生学）
高齢化の進む地方の島で暮らす住民の要介護認定と健康関連 QOL の状況
- P-0601-5 岡田 麻里 （県立広島大学保健福祉学部）
中山間地域高齢者における孤独感に関連する要因の探索
- P-0601-6 矢吹 正直 （庄原市総領自治振興区）
中山間地域支えあいづくりを考えるワークショップへの参加住民の学び
- P-0601-7 小島由佳利 （庄原市総領自治振興区）
A 氏の生活からみた一人暮らし高齢者の中山間地域在宅生活継続のための事例研究
- P-0601-8 村山 幸子 （東京都健康長寿医療センター研究所）
サロン参加が独居高齢者にもたらす効果（1）活動への満足度および精神的健康度との関連
- P-0601-9 高橋 知也 （東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
サロン参加が独居高齢者にもたらす効果（2）サロンへの参加頻度に関連する要因の検討
- P-0601-10 齋藤 智子 （新潟大学大学院保健学研究科）
75歳以上の一人暮らし高齢者の1年後の生活機能の変化
- P-0601-11 成田 太一 （新潟大学医学部保健学科）
75歳以上の一人暮らし高齢者の1年後の孤立状態の変化

11月4日（水）14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0602-1 岩永 美和 （長崎市市民局福祉部高齢者すこやか支援課）
高齢者ふれあいサロンの効果の検証ーサロン活動から得られた効果と今後の課題ー
- P-0602-2 山谷麻由美 （長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
高齢者サロンの展開における地域診断ツール「介護予防 Web アトラス」の活用可能性
- P-0602-3 手島 聖子 （福岡県立大学看護学部）
高齢者サロン活動から把握した介護予防ニーズー世話役住民の役割機能ー
- P-0602-4 梶橋 明子 （福岡県立大学看護学部）
高齢者サロン活動から把握した介護予防ニーズー支援スタッフの役割機能ー
- P-0602-5 山下 清香 （福岡県立大学看護学部）
高齢者サロン活動から把握した介護予防ニーズー世話役住民と支援スタッフの認識からー
- P-0602-6 植木 章三 （大阪体育大学）
社会参加や精神的健康度等からみた積極的な高齢リーダーがいる地区の特徴
- P-0602-7 矢庭さゆり （新見公立大学看護学部看護学科）
要介護高齢者の社会的孤立の実態とその関連要因
- P-0602-8 矢嶋 裕樹 （新見公立大学看護学部）
要介護高齢者の社会関係と精神的健康の関連
- P-0602-9 寺澤 美晴 （浜松医科大学医学部医学科）
独居高齢者の生活実態調査とそれに基づく介護・福祉サービスの提案

- P-0602-10 光本 貴一 （浜松医科大学医学部医学科）
要介護認定者の社会的孤立とその改善へ向けた介護サービスの検討

- P-0602-11 野本 清哉 （浜松医科大学医学部医学科）
家族との同居の有無及び施設入居と ADL、QOL との関連

11月4日（水）15:45-16:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0603-1 加藤智香子 （中部大学生命健康科学部）
一次・二次予防・介護予防通所リハにおける運動器機能向上プログラム介入効果の比較
- P-0603-2 西田 隆宏 （社会福祉法人あしたば会サンフラワー佐世保市吉井地域包括支援センター）
介護二次予防教室参加者の主観的健康感と運動機能、認知機能の変化
- P-0603-3 浅野友佳子 （文屋内科消化器科医院訪問リハビリテーションらいらっく）
介護予防事業における一次予防と二次予防参加者の身体機能面の比較
- P-0603-4 佐々木幸子 （北海道大学医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野）
居住地域環境と高齢者の日常における身体活動との関連：JAGES ATTACH
- P-0603-5 坂元 あい （北海道大学大学院医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野）
北海道在住の高齢者における社会参加と認知機能との関連：JAGES ATTACH
- P-0603-6 谷垣 知美 （兵庫県養父市健康福祉部）
行政区単位に虚弱予防教室の開設を目指して（1）：兵庫県養父市における取組みの概要
- P-0603-7 野藤 悠 （東京都健康長寿医療センター研究所）
行政区単位に虚弱予防教室の開設を目指して（2）：兵庫県養父市における取組みの評価
- P-0603-8 吉田 由佳 （兵庫県養父市健康福祉部）
行政区単位に虚弱予防教室の開設を目指して（3）：継続化支援のポイント
- P-0603-9 竹内 美妃 （札幌医科大学医学部公衆衛生学講座）
高齢者の介護予防事業参加と生命予後及び要介護状態発生との関連
- P-0603-10 野口 泰司 （豊田市役所市民福祉部地域福祉課）
Propensity score matching を用いた介護予防事業の効果検証
- P-0603-11 田沼 寮子 （社会福祉法人農協共済中伊豆リハビリテーションセンター訪問看護ステーションあおぞら）
虚弱な高齢者に対する介護予防プログラムの包括的な評価

11月4日（水）16:45-17:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

- P-0604-1 若山 葉子 （日本医科大学・医・衛生学公衆衛生学）
中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績ー2003～2014年の推移ー
- P-0604-2 武藤三千代 （日本医科大学スポーツ科学教室）
高齢者における新体力テストと ADL 調査の実際
- P-0604-3 伊東 隆喜 （和歌山県工業技術センター）
下肢平均加速度の左右比と歩行速度、ロコモーションチェック項目との関係
- P-0604-4 中村早緒里 （武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科）
地域高齢者への全身運動を組み込んだ咬合力アップのための運動と予防的対応について
- P-0604-5 山田 拓実 （首都大学東京大学院人間健康科学研究科）
荒川ばん座位体操の普及に向けて（3）体操参加者別の体操参加効果の検討
- P-0604-6 蘭牟田洋美 （首都大学東京大学院人間健康科学研究科）
荒川ばん座位体操の普及に向けて（4）健康関連 QOL:SF-8からみた体操の効果
- P-0604-7 深谷 淳 （清仁会水無瀬病院リハビリテーション部）
病院の理学療法士が指導・評価するデイサービスでの運動介入が運動機能に与える影響

P-0608-3	堀田 和司	(茨城県立医療大学作業療法学科) 八千代町フレイルスタディ：教室参加が身体・認知機能へ及ぼす効果；10年間の事業より	P-0610-3	尾島 俊之	(浜松医科大学健康社会医学講座) 認知症になりにくい地域特性に関する研究
P-0608-4	深作 貴子	(相模女子大学短期大学部) 八千代町フレイルスタディ：栄養指導による介入効果の検証～10年分のデータ解析より～	P-0610-4	田中 富子	(吉備国際大学) 後期高齢者の生活機能に影響を及ぼす世代間交流要因
P-0608-5	藤田 好彦	(茨城県立医療大学) 八千代町フレイルスタディ：地域在住虚弱高齢者の身体活動および座位行動の検討	P-0610-5	山埜ふみ恵	(大阪医科大学大学院看護学研究科博士前期課程) 介護予防に関する行動変容の段階別にみた地域高齢者の特徴
P-0608-6	根本みゆき	(筑波大学医学医療系) 八千代町フレイルスタディ：フレイルにおける認知機能評価～時計描画テストの有用性～	P-0610-6	國分 恵子	(特定非営利活動法人日本認知症予防研究所) A市における介護保険認定者の5年間の経過（第1報）認知症自立度を中心に
P-0608-7	金 泰浩	(筑波大学人間総合科学研究科) 八千代町フレイルスタディ：介護予防教室に参加した高齢者の主観的な痛み改善効果	P-0610-7	堀口美奈子	(高崎健康福祉大学) A市における介護保険認定者の5年間の経過（第2報）意思疎通項目の変化から
P-0608-8	濱崎 愛	(筑波大学人間総合科学研究科) 八千代町フレイルスタディ：虚弱高齢者における短期運動教室終了後の運動支援の効果	P-0610-8	辻 郁	(大阪保健医療大学) A市における介護保険認定者の5年間の経過（第3報）障害高齢者自立度の変化から
P-0608-9	戴下 典子	(アップテンヘルスサポート) 八千代町フレイルスタディ：介護予防教室終了後における介護認定リスク要因の検討	P-0610-9	多次淳一郎	(三重県立看護大学看護学部地域在宅看護学領域) 介護保険未認定の独居高齢者の日常生活圏域内での他者との交流状況とその関連要因
P-0608-10	木村みさか	(京都学園大) フレイル判定法と該当者数（亀岡スタディベースライン体力調査参加者での検討）	P-0610-10	吉田 裕人	(東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科) 地域高齢者における社会参加活動と将来の認知機能低下との関連性
P-0608-11	榎本 妙子	(同志社女子大) 地域在住自立高齢者の転倒リスクと体力との関連	11月5日（木）15:00～16:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
11月5日（木）16:00～17:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0611-1	矢野 秀典	(目白大学保健医療学部理学療法学科) 虚弱高齢者の余暇活動 ― 旅行活動に主眼を置いて ―
P-0609-1	井上 高博	(活水女子大学看護学部) 要支援1・2高齢者における日常の生活状況の差異	P-0611-2	小嶺恵莉佳	(長崎市片淵・長崎地域包括支援センター) 斜面地区在住高齢者の地域活動の活性化に向けて～地域での集まりを困難にする要因～
P-0609-2	中村 桃美	(ダイヤ高齢社会研究財団) シルバー人材センターの就業による介護予防効果新入会員への調査から	P-0611-3	中尾理恵子	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 長崎市斜面市街地在住高齢者の外出に関連する要因
P-0609-3	岡本 和士	(愛知県立大学看護学部) 要介護高齢者の生活要因と生命予後との関連一部上と富山の2地域の比較一	P-0611-4	川崎 凉子	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 長崎市斜面市街地在住高齢者の主観的健康感
P-0609-4	竹田 徳則	(星城大学リハビリテーション学部) 愛知県武豊町「憩いのサロン」運営ボランティアの活動時間調査	P-0611-5	山口 亨	(札幌医科大学大学院保健医療学研究科) 積雪寒冷地域在住の後期高齢転倒者の身体的特徴
P-0609-5	鈴木 亮平	(特定非営利活動法人 urban design partners balloon) 中山間地域における移動販売を活用した介護予防促進・見守り体制の構築	P-0611-6	牧野ひろこ	(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団) 要介護高齢者とその家族介護者の心理的ウェルビーイングへの関連要因
P-0609-6	山口のり子	(田川市役所) 田川市地域包括ケアシステム構築の課題抽出について・その1	P-0611-7	小田川 敦	(宇治市健康生きがい課) 地域在住閉じこもり高齢者の身体活動量と軽度認知機能障害（MCI）の関連
P-0609-7	平緒 恵	(田川市役所) 田川市地域包括ケアシステム構築の課題抽出について・その2	P-0611-8	内田 勇人	(兵庫県立大学環境人間学部) 孫の存在が高齢者の精神的健康度に及ぼす影響
P-0609-8	須藤 牧子	(熊本県宇城保健所) 介護保険事業計画策定における住民参画促進のプロセス	P-0611-9	石井 英子	(人間環境大学) 高齢大学への受講がエイジング・イン・プレイス（地域居住）にもたらす影響
P-0609-9	新開 省二	(東京都健康長寿医療センター研究所) 草津町における介護予防共同研究事業からみた高齢者保健の課題	P-0611-10	成田 美紀	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域高齢者健康モニター事業による健康認識およびソーシャルキャピタル醸成効果の検討
P-0609-10	河合 恒	(東京都健康長寿医療センター研究所) 携帯端末を用いた測位による地域在住高齢者の日常活動範囲・活動量の評価	P-0611-11	谷口 優	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム) 認知機能の加齢変化パターンと認知症発症に関する前向き研究
11月5日（木）14:00～15:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			11月5日（木）16:00～17:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0610-1	石橋 智昭	(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団) 新規認定者における要介護度の改善	P-0612-1	片桐 辰徳	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) 中壮年期を含めた地域住民の転倒経験と地域および家族との関わり
P-0610-2	吉本 和樹	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 高齢者の婚姻状態と日常生活動作との関連について	P-0612-2	林 尊弘	(日本福祉大学健康社会研究センター) スポーツグループに参加している者で転倒発生は少ないのか-JAGES 縦断データ分析一

P-0612-3	藤野 健	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域在住高齢者における転倒者の特性分析－1回転倒者と複数回転倒者の比較－
P-0612-4	藤原 寛啓	(関西大学大学院人間健康研究科) 堺市版認知症予防体操(堺コッカラ体操)の生理学的意義とその効果について
P-0612-5	金 憲経	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域在住高齢者におけるサルコペニア肥満の有症率とその特徴について
P-0612-6	清野 諭	(東京都健康長寿医療センター研究所) 日本人高齢者向けのサルコペニア基準の提案と簡易チェックシステム作成の試み
P-0612-7	赤堀八重子	(高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科) M町における介護予防対象者のロコモティブシンドローム及び栄養摂取状況に関する実態
P-0612-8	坪井 りえ	(群馬県立県民健康科学大学看護学部) M町における介護予防対象者のロコモティブシンドロームと栄養摂取状況の関連
P-0612-9	渡邊 英弘	(医療法人社団喜峰会東海記念病院リハビリテーション部作業療法科) 地域在住高齢者の高次生活機能と認知機能の関連性
P-0612-10	出分菜々衣	(愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座) 高齢者施設利用者の嚥下機能、栄養状態および生活活動動作の関連性
P-0612-11	安齋紗保理	(桜美林大学大学院老年学研究科) 地域在住高齢者の筋骨格系の痛みへの対処方法の実態とその関連

11月6日(金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0613-1	田中 和美	(大和市役所健康づくり推進課) 「二次予防栄養改善」における訪問栄養相談の効果の検証
P-0613-2	村山 洋史	(東京大学高齢社会総合研究機構) 健康推進員主導型の栄養改善プログラム：高齢期の食品摂取多様性への効果
P-0613-3	平田なつひ	(金城学院大学) 高齢者の食事摂取状況－二次予防事業参加者の事例－
P-0613-4	関口 晴子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 口腔機能向上・栄養改善複合プログラムマニュアルの開発の試み
P-0613-5	大原 里子	(東京医科歯科大学歯学部付属病院歯科総合診療部) 介護保険施設入所者のBMI、血清アルブミン値と歯の数、義歯使用の関連について
P-0613-6	宮村 季浩	(山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系健康・生活支援看護学講座) アルツハイマー型認知症の食行動と好物の変化について
P-0613-7	木田由香理	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座) 双生児研究法を用いた食事の温度と嚥下障害リスクの関連の検討
P-0613-8	大村佳代子	(三重県立看護大学地域在宅看護学) 嚥下機能障害と血液生化学検査による栄養指標との関連：双生児研究法による差得点分析
P-0613-9	田中健太郎	(岐阜大学医学部看護学科地域看護学) 成人双生児を対象にした7つの生活習慣と嚥下障害との関連
P-0613-10	尾形宗士郎	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座) 遺伝要因を調整した上での、口腔機能、咽頭機能、食道機能低下と摂食・嚥下障害の関連
P-0613-11	木村 友美	(京都大学東南アジア研究所) タイの都市圏郊外居住高齢者の食多様性とBMI、ADL、心理的健康度に関する研究

11月6日(金) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0614-1	佐々木明子	(東京医科歯科大学) 高齢者への予防訪問における継続的变化
P-0614-2	佐藤 勢	(福島県立医科大学衛生学・予防医学講座) 老人保健施設入所者の認知症の行動心理症状は、転倒の予測因子になりうるか
P-0614-3	池上 泰友	(社会医療法人愛仁会千船病院技術部リハビリテーション科) 初めての転倒が要介護者や介護者に及ぼす心理的影響
P-0614-4	金 美芝	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域在住高齢者の姿勢と体組成、体力、骨密度、老年症候群、既往歴との関連性解析
P-0614-5	石田 豊朗	(札幌医科大学大学院保健医療学研究科) 地域在住高齢者における転倒恐怖感と運動習慣の関連性
P-0614-6	門間 貴史	(筑波大学人間総合科学研究科) 地域在住高齢者における運動・スポーツ活動が首尾一貫感覚に及ぼす効果
P-0614-7	徳嶋 靖子	(鳥取大学医学部保健学科地域・精神看護学講座) 農閑期における高齢者の転倒に対する意識と体力測定結果との関連
P-0614-8	小島 成実	(東京都健康長寿医療センター) 各食品群摂取頻度が変形性膝関節症の発症に及ぼす影響－4年間の縦断的研究－
P-0614-9	井原 一成	(東邦大学医学部公衆衛生) 地域高齢者における抗不安薬の投与頻度及び眠前投与と多剤投与の実態
P-0614-10	野中久美子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 要介護認定を受けた高齢者ボランティアの活動実態と継続可能性－REPRINTSより

11月6日(金) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0615-1	横井賀津志	(関西福祉科学大学保健医療学部) 後期高齢者に対する新しく開発されたブラシアートの認知機能改善効果：パイロット研究
P-0615-2	吉田 英世	(東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所)) 地域在住高齢者におけるフレイルとBDNF(脳由来神経栄養因子)との関連性の検討
P-0615-3	伊藤 直子	(日本医療科学大学保健医療学部看護学科) 呼吸筋トレーニングが入院高齢患者の嚥下機能へ及ぼす影響
P-0615-4	安達 祐介	(味の素株式会社イノベーション研究所) 高齢者における血液中アミノ酸のバイオマーカーとしての有用性検討
P-0615-5	原田 直子	(名古屋大学大学院医学系研究科) 地域在住高齢者性女性のストレス対処能力に関する検討
P-0615-6	田高 悦子	(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野) 地域保健活動におけるMCI予防に向けた語彙の流動性の有用性
P-0615-7	岡本 希	(奈良県立医科大学) 歯牙喪失と軽度認知機能障害とApoE4についての前向きコホート研究：藤原京スタディ
P-0615-8	Muchanga Sifa Marie Joelle	(高知大学) Sleep disorders and quality of life of elderly living in Kuroshio town, Kochi

第7分科会：高齢者の医療と福祉

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0701-1	上原 里程	(宇都宮市保健所) 受療行動調査を用いた在宅医療と医療施設特性との関連分析
----------	-------	--

P-0701-2	稲葉 静代	(名古屋市緑保健所) 在宅医療・介護促進のための調査報告(患者・介護者の実態と課題)	P-0702-11	小宮山恵美	(東京都北区健康福祉部介護医療連携推進・介護予防担当課長) 多職種連携に向けた北区在宅介護医療連携推進会議第3報在宅療養環境の整備
P-0701-3	長瀬 博文	(富山県砺波厚生センター小矢部支所) 在宅医療・介護連携・地域包括ケアシステムの推進における保健所の取組状況	11月5日(木) 10:10~11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0701-4	玉木 朋子	(三重大学医学部看護学科精神・成人看護学講座) 医療施設で死亡した80歳以上高齢者の入院の生起と医療サービス提供の特徴	P-0703-1	鈴木隆一郎	(大阪府医師会調査委員会) 在宅看取りに対する大阪府医師会員の取り組みの現状と今後
P-0701-5	勝田 信行	(名古屋市長東保健所) 在宅医療・介護連携推進事業における市型保健所の役割	P-0703-2	高島毛敏雄	(大阪府医師会調査委員会) 大阪府内の診療所長の在宅医療と他職種連携状況
P-0701-6	永山亜希子	(福岡県筑紫保健福祉環境事務所) 在宅医療推進事業の展開~医師会・市町と協働した在宅医療・介護の連携推進の取組~	P-0703-3	重野 智子	(長崎県県央保健所) 「在宅医療機関の上手な利用の仕方」の習得を目指した介護職向け教育プログラム
P-0701-7	神谷 訓康	(名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻) 介護度の重度化リスク因子は既往歴によって異なる	P-0703-4	尾崎 哲則	(日本大学歯学部医療人間科学分野) 地域包括ケア対応の歯科保健医療提供システムの構築に関する研究 第1報
P-0701-8	坂野 紀子	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科高齢社会医療・介護機器研究推進講座) 岡山市介護特区事業における最先端介護機器「遠隔見守りシステム」の導入効果	P-0703-5	松本 博成	(東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻・地域看護学分野) 市町村レベルの訪問看護供給構造の可視化の試み(1)アクセシビリティ指標の開発
P-0701-9	杉谷 亮	(島根県健康福祉部医療政策課) 島根における入退院時の情報共有に関する調査(第1報)	P-0703-6	成瀬 昂	(東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻・地域看護学分野) 市町村レベルの訪問看護供給構造の可視化の試み(2)構造の可視化と妥当性の検討
P-0701-10	吉岡みち子	(島根大学医学部地域医療支援学講座) 入退院時の患者情報共有に関する調査(第2報)ー医療機関の職員の意識からー	P-0703-7	麦山 亮太	(東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻社会学専門分野) 要介護高齢者の施設入所選択にはたらく世帯構成と経済状況の影響に関する計量分析
P-0701-11	谷口 栄作	(島根大学医学部地域医療支援学講座) 入退院時における病院と在宅サービス事業者の患者情報共有に関する調査(第3報)	P-0703-8	黄 銀智	(東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻) 経過的視点からみる要介護者の在宅療養継続要因の可視化の提案
11月4日(水) 15:45~16:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間			P-0703-9	飯島 勝矢	(東京大学高齢社会総合研究機構) 「在宅医療推進のための多職種連携研修会」受講者の反応および意識・知識・実践の変化
P-0702-1	米澤 純子	(東京家政大学看護学部) 独居がん終末期患者の在宅緩和ケアシステム構築のための連携体制	P-0703-10	松本 佳子	(東京大学医学部在宅医療学拠点) 「在宅医療推進のための多職種連携研修会」受講者の職種間連携活動の変化
P-0702-2	田口 敦子	(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野) 地域包括ケア実現に向けた在宅医療推進事業評価指標の開発	P-0703-11	吉江 悟	(東京大学医学部在宅医療学拠点) 「在宅医療推進のための多職種連携研修会」開業医の受講1年後の診療報酬算定状況
P-0702-3	井上 久美	(八幡西区役所保健福祉課 統括支援センター) 八幡西区の高齢者虐待防止の取り組み ~地域包括ケアシステムの実現に向けて~	11月5日(木) 14:00~15:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0702-4	田代 真樹	(特定医療法人 社団若林会) 地域包括支援センターにおける運営形態ごとの職業性ストレスの実態と影響の検討	P-0704-1	渡邊多永子	(筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室) 家族介護が女性の就労に与える影響
P-0702-5	田原 美香	(東京家政大学) 地域包括支援センターにおける看取り支援に関する研究	P-0704-2	西口 翔	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 特別養護老人ホームにおける看取り介護加算制度利用の現状と課題の検討
P-0702-6	森川 美絵	(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部) 地域包括ケアシステム構築にむけたデータ活用の概況(第1報)全国調査から	P-0704-3	大島加奈子	(梅花女子大学看護保健学部看護学科) 多様な介護者のニーズに関連する家族会組織要因と支援方法の検討
P-0702-7	松繁 卓哉	(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部) 地域包括ケアシステム構築にむけたデータ活用の概況(第2報)聞き取り・自由記載から	P-0704-4	彦 聖美	(石川県立看護大学在宅看護学講座) 男性介護者に対する料理教室を通じての地域社会との交流促進と栄養状態の評価
P-0702-8	大浦 智子	(星城大学リハビリテーション学部作業療法学専攻) 訪問リハビリテーション内容と効果に対する利用者家族と提供者の捉え方の相違	P-0704-5	古村美津代	(久留米大学医学部看護学科) 認知症高齢者グループホームの管理者が抱える新人ケアスタッフ教育の困難
P-0702-9	森山 葉子	(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部) 在宅高齢者の短期入所(ショートステイ)利用有無と特別養護老人ホーム入所との関連	P-0704-6	柿沼 直美	(東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科) 在宅看護学実習における訪問看護師の学生への思い
P-0702-10	萩原 智代	(日本赤十字秋田看護大学看護学部) ショートステイの利用形態と主介護者・金銭居住面・ケアマネジメントに関連する要因	P-0704-7	三宅 眞理	(関西医科大学公衆衛生学講座) 介護者の腰背部の筋電評価ー上下寝位置修正時のベッド高さ調整と介助シートの使用ー
			P-0704-8	三澤麻衣子	(日本大学歯学部医療人間科学分野) 要介護高齢者への効率的な口腔ケアの提供について 第1報 口腔ケア提供状況

P-0704-9	伊木 智子	(関西看護医療大学看護学部看護学科地域・在宅看護学) 介護ケアスタッフと看護スタッフとの協働のあり方に関する一考察<第1報>
P-0704-10	前田 則子	(関西看護医療大学看護学部看護学科地域・在宅看護学) 介護ケアスタッフと看護スタッフとの協働のあり方に関する一考察<第2報>
P-0704-11	阿賀はるか	(大阪大学医学系研究科) 急性期病棟での終末期高齢者の肺炎治療の課題 80代の病院死亡事例より

11月5日(木) 15:00-16:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0705-1	片平 伸子	(甲南女子大学看護リハビリテーション学部) 小規模多機能型居宅介護施設において看護師が行うターミナルケア
P-0705-2	久野 一恵	(西九州大学健康福祉学部健康栄養学科) 栄養士会活動からみた在宅医療における地域の栄養ニーズ
P-0705-3	筒井 孝子	(兵庫県立大学大学院経営研究科) 居宅介護サービス利用者の認知症に係わる生活機能障害の経時的変化
P-0705-4	武井 典子	(公益財団法人ライオン歯科衛生研究所) 訪問入浴介護における口腔ケア提供システム開発のための実態調査
P-0705-5	白部 麻樹	(東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と介護予防研究チーム) 要介護高齢者を対象とした過敏症状軽減を含む口腔ケアの効果検証
P-0705-6	村松 真澄	(札幌市立大学 看護学部) 介護保険施設の看護管理者への口腔ケアマネジメント研修の効果検証
P-0705-7	作山美智子	(東北文化学園大学) 震災後に他県から転居し最期を看取ったがん末期療養者への在宅医療・ケアの課題
P-0705-8	井場ヒロ子	(安田女子大学看護学部看護学科) 在宅介護する家族の排尿介護負担感尺度の開発 - 信頼性の検討 -
P-0705-9	中北 裕子	(三重県立看護大学) 三重県における在宅療養支援診療所での看取り場所の変化との活動状況に関する検討
P-0705-10	西村 舜二	(社会福祉法人 恩賜財団 済生会松阪総合病院) 三重県の二次保健医療圏別にみた在宅療養支援診療所の活動状況の変化に関する検討
P-0705-11	岡本菜穂子	(獨協医科大学看護学部) 高齢者の在宅介護に対する意識に関する文献研究

11月6日(金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0706-1	水野 洋子	(国立長寿医療研究センター長寿政策科学研究部) 運転免許を返納した独居要支援者の外出・移動支援：市区町村に対する非同居家族の要望
P-0706-2	野口 知里	(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター長寿政策科学研究部) 栄養状態の異なる家族介護者の介護負担・抑うつ症状の比較
P-0706-3	上野 公子	(帝京大学医療技術学部看護学科) 養護者が在宅介護中に体験する変化の様相と立ち向かうプロセス
P-0706-4	帖地 節子	(福岡県大野城市すこやか長寿課) 在宅高齢者虐待防止に向けた介護支援専門員の兆候のアセスメント
P-0706-5	古賀 千絵	(千葉大学大学院医学薬学府医科学専攻) 高齢者における心理的虐待発生の地域差—JAGES プロジェクト—
P-0706-6	平田 洋介	(株式会社 Q・O・L 短期入所生活介護施設) 在宅生活継続中断に関わる要因

P-0706-7	今村 桃子	(国際医療福祉大学福岡看護学部) 訪問看護サービス利用高齢者の家族介護者の介護負担
P-0706-8	尾形由起子	(福岡県立大学看護学部ヘルスプロモーション看護学系) 在宅看取り実現のための配偶者のセルフマネジメントの検証
P-0706-9	高橋 裕子	(世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課) 世田谷区認知症初期集中支援チームモデル事業の取り組み
P-0706-10	吉田 里奈	(一宮西病院) 在宅療養者の介護者が在宅医療スタッフに求めている支援
P-0706-11	岡村 勇飛	(三重県立総合医療センター) 介護者の悲嘆感情に影響する要因

11月6日(金) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間

P-0707-1	芝山江美子	(佛教大学保健医療技術学部看護学科) 限界地域に住みつづける要因—A地区からの一考察
P-0707-2	高野 真弓	(新潟県長岡市小国支所) 医療過疎地域の限界集落における高齢者の看取りの意識調査
P-0707-3	渡辺修一郎	(桜美林大学大学院老年学研究科) 集合住宅の気密・断熱改修が高齢者の血圧変動に及ぼす影響
P-0707-4	坂庭 嶺人	(大阪大学医学系研究科社会医学講座公衆衛生学教室) 小児期の貧困経験が高齢期の認知症発症に与える影響：JAGES コホート研究
P-0707-5	石崎 達郎	(東京都健康長寿医療センター研究所) 後期高齢者を対象とする健康診査受診者における慢性疾患の状況
P-0707-6	川村 顕	(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野) 全国介護レセプトデータを用いた介護保険施設における経管栄養者の経口移行の実態
P-0707-7	泉田 信行	(国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部) 全国介護保険レセプトを用いた介護老人福祉施設における看取りの現状の検討
P-0707-8	周 思宇	(早稲田大学大学院人間科学研究科) 中華人民共和国浙江省杭州市中高齢者の介護に関するニーズ分析
P-0707-9	酒田 健	(建築設備設計研究所) 高齢者の人体エクセルギー消費と血圧に関する調査研究
P-0707-10	杉本健太郎	(横浜市立大学医学部看護学科) 高齢者施設における看取り機能の評価指標及びその予測因子に関する文献レビュー
P-0707-11	宮田 澄子	(筑波大学医療系ヘルスサービスリサーチ研究室) 湯灌とターミナルケア施設における死後のケアの意味
P-0707-12	古澤 麻衣	(星城大学リハビリテーション学部作業療法学専攻) 3ヶ月以内に訪問リハビリテーションの目標達成終了に至る要因の探索

第8分科会：地域社会と健康

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-0801-1	三宅 基子	(京都学園大学健康医療学部健康スポーツ学科) 地域高齢者の散歩行動に影響を及ぼすソーシャルキャピタル要因に関する研究
P-0801-2	柴垣 維乃	(名張市健康福祉部健康支援室) 名張市健康増進計画の地域版策定プロセスからみるソーシャル・キャピタル醸成について

P-0801-3	上床 太心	(鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系疫学・予防医学分野) 強固な結合型ソーシャル・キャピタルを有すると推認される某地の母子保健指標の背景	P-0803-2	河原田まり子	(札幌市立大学) 地域保健活動に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度開発のための予備調査
P-0801-4	角田 弘子	(日本ウェルネススポーツ大学) ソーシャル・キャピタル指標の安定性 一信頼感の中間回答傾向について	P-0803-3	松本 珠実	(国立保健医療科学院) 保健師によるソーシャル・キャピタルの醸成過程
P-0801-5	朴 相俊	(公益財団法人身体教育医学研究所) 長野県東御市の行政区単位でみた元気高齢者のソーシャル・キャピタルと健康度の関係	P-0803-4	吉田 知可	(大分県高齢者福祉課) ソーシャル・キャピタルの醸成に結びつく公衆衛生看護活動
P-0801-6	稲木 隆一	(早稲田大学大学院人間科学研究科) PTA 活動とソーシャル・キャピタルに関する研究：複線経路・等至性モデルによる分析	P-0803-5	近藤 尚己	(東京大学) 介護予防における地域診断と部門・職種間連携の効果：JAGES 介入研究プロトコル
P-0801-7	宮嶋かおり	(早稲田大学人間科学部) 地域住民のソーシャル・キャピタルと QOL との関連	P-0803-6	長谷田真帆	(東京大学大学院医学系研究科) 介護予防担当職員のソーシャル・キャピタルと施策化能力：JAGES 市町村担当者調査
P-0801-8	多田 世奈	(大阪大学大学院医学系研究科) 血友病患者会参加による他者信頼度の比較 個人のソーシャルキャピタルの視点から	P-0803-7	本庄かおり	(大阪大学グローバルコラボレーションセンター) 居住形態・社会関係とうつ症状発症の関連：JAGES 3年間コホート研究
P-0801-9	藤野 葉子	(愛媛大学医学部附属病院) 居住地区のソーシャル・キャピタルと高齢者の主観的健康感との関連	P-0803-8	芦田 登代	(東京大学) 介護予防における地域間格差是正に向けた地域診断：JAGES プロジェクト
P-0801-10	清水れいみ	(川崎市幸区役所保健福祉センター地域保健福祉課) 幸区健康長寿推進事業の取組 まちと共に健康づくりの視点から推進したまちづくり	P-0803-9	佐藤 遊洋	(東北大学) 普遍化信頼および特定化信頼と主観的健康感の関連の研究：JAGES プロジェクト
P-0801-11	文 鐘聲	(畿央大学健康科学部看護医療学科) 地域在住高齢者の社会参加と抑うつ日本とシンガポールの比較	P-0803-10	長幡 友実	(東海学園大学健康栄養学部) 地域在住高齢者の社会参加の有無とやせの関連：JAGES プロジェクト
			P-0803-11	岡田 栄作	(浜松医科大学健康社会医学講座) フィルター機能を搭載した地域診断書の開発に関する研究：JAGES プロジェクト

11月4日(水) 15:45-16:45 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-0802-1	藤田 信	(静岡県健康福祉部医療健康局) 健康格差の要因について一健康指標と社会経済的指標の簡易評価 (第1報)
P-0802-2	埴淵 知哉	(中京大学国際教養学部) JGSS 累積データからみた健康格差の推移
P-0802-3	杉原 陽子	(鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科) 高齢者の低栄養リスクに関連する要因：経済状態、社会関係、地域環境との関連
P-0802-4	杉澤 秀博	(桜美林大学大学院老年学研究科) 健康度自己評価の社会階層による格差：年齢、時代、コホートによる違い
P-0802-5	水谷 聖子	(日本福祉大学看護学部) クロスアディクションがあるホームレス経験者の家計のやりくり
P-0802-6	水谷 雄樹	(NPO 法人ささしまサポートセンター) 「名古屋におけるホームレス生活者健康調査」歯科報告身体生活状況と口腔状況
P-0802-7	伊藤 正樹	(NPO 法人ささしまサポートセンター) 「名古屋におけるホームレス生活者健康調査」歯科報告咀嚼機能と BMI
P-0802-8	吉村 友美	(訪問看護ステーション Hippo.) 健康診断で要医療と判定されたホームレスの「脱野宿」への阻害要因について
P-0802-9	尾松 郷子	(困窮者総合相談支援室 Hippo.) 困窮者集住地域で、ホームレスを含む単身・高齢者が継続的に治療に繋がるための試み
P-0802-10	伊藤 ゆり	(大阪府立成人病センターがん予防情報センター) 大阪府におけるがん進行度別罹患率の社会経済格差：1993-2004年における格差の変化

11月5日(木) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-0803-1	鄭 承媛	(国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部) 物忘れとソーシャル・キャピタル関連指標との相関：JAGES プロジェクト
----------	------	---

11月5日(木) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-0804-1	大口 達也	(立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科) 地域包括ケアシステムにおける地域資源情報の類型化に関する研究
P-0804-2	神徳 祥恵	(相模原市保健所) 健康な地域づくり事業の成否要因に関する考察
P-0804-3	佐藤 勝	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座) 住民主導のまちづくり推進～NPO の活動～第7報
P-0804-4	三輪真知子	(梅花女子大学看護保健学部) 住民・行政が協働した地域づくり一住民と町職員の間で生じた「協働」のズレー
P-0804-5	長谷部雅美	(聖学院大学人間福祉学部) 多世代・多分野連携による相互扶助コミュニティ構築に向けた研究 (1)：仕組みの検討
P-0804-6	倉岡 正高	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム) 多世代・多分野連携による相互扶助コミュニティ構築に向けた研究 (2)：仕掛けの検討
P-0804-7	岩間賢太郎	(岩間東華堂薬局) 地域と育む在宅医療・在宅ケア
P-0804-8	上野 尚美	(公益社団法人茨城県看護協会) 地域と育む在宅医療・在宅ケア 地域住民の主体的な行動変容を目指して
P-0804-9	井出 成美	(群馬大学大学院保健学研究科) 群馬県下の市町村における保健サポーターの育成・活動支援の現状と課題
P-0804-10	宮國 康弘	(千葉大学予防医学センター) 社会参加、社会的ネットワーク、社会的サポートと死亡の関連：AGES 縦断研究

11月5日(木) 15:00-16:00 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-0805-1	横川 吉晴	(信州大学医学部) 社協支え合い事業利用頻度と独居高齢者の日常生活活動および健康度の関連
----------	-------	---

P-0805-2	村上 慶子	(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座) 地域在住の中高齢者における資産と高次生活機能との関連の検討
P-0805-3	井原 正裕	(東京医科大学公衆衛生学分野) 性・仕事有無別にみた、都市規模と歩数の関連について
P-0805-4	高橋 由光	(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野) 主観的社会階層と主観的健康感の変化：日米比較研究
P-0805-5	柳 奈津代	(千葉大学大学院医学研究院公衆衛生学) 子ども期の社会経済的地位 (SES) と高齢期における睡眠の質との関連に関する研究
P-0805-6	杉本 隆	(東京大学大学院公共政策学連携研究部) 3歳児神話への賛成は、女性の雇用形態、夫婦の結婚生活満足度と相関するか？
P-0805-7	藤原 佳典	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム) 高齢求職者における希望職種と実際に就職した職種の差異－ESSENCE 研究 (1)－
P-0805-8	南 潮	(東京都健康長寿医療センター研究所) 高齢求職者に対する個別面接による介入－ESSENCE 研究 (2)－
P-0805-9	崔 正愛	(広島大学大学院医歯薬保健学研究所) 中華人民共和国における平均寿命と消費関連因子の検討
P-0805-10	松本 真欣	(ユニバーサルビジネスソリューションズ) 健康の社会的決定要因に関するヘルスリテラシーと市民活動の関連
P-0805-11	岡田 尚	(大阪大学大学院医学系研究科) 都市類型別にみた高齢者の教育歴と閉じこもりとの関連：JAGES プロジェクト

11月5日 (木) 16:00-17:00 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間		
P-0806-1	米倉 佑貴	(岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座) 東日本大震災による被害状況が被災2年後の精神健康に与える影響の検討
P-0806-2	高橋 宗康	(岩手医科大学公衆衛生学講座) 仮設住宅に居住する東日本大震災被災者の心血管リスク要因の変化
P-0806-3	佐々木亮平	(岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構) 東日本大震災被災地でのソーシャルネットワークの変化とその関連要因の検討
P-0806-4	鈴木るり子	(岩手看護短期大学) 高齢被災者の居住地変化に伴う K6-SN-SC の変化に関する探索的研究
P-0806-5	河村 孝幸	(東北福祉大学) 沿岸被災地における住民のコミュニティ意識と地域活動への参加及び認知度の関連性
P-0806-6	鈴木 翼	(新潟大学医歯学総合病院次世代医療人育成センター) 豪雪中山間地域における高齢者の冬季居住意向と健康状態との関連
P-0806-7	片岡 みさ	(北海道大学大学院工学院建築環境学研究室) 北海道における特別養護老人ホームのエネルギー消費実態
P-0806-8	富岡 慎一	(産業医科大学公衆衛生学教室) 患者居住地域の SES の差が入院中に患者が受療する医療行為に与える影響についての解析
P-0806-9	平野 裕子	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 長崎市 T 町在住の高齢者の生活満足度を規定する要因
P-0806-10	佐々木 亮	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 高齢者における小地域間の健康格差とその要因の検討

P-0806-11	加藤 礼識	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 重症度の高い湯治客が集う温泉地と地域医療体制の協調
11月6日 (金) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間		
P-0807-1	星子美智子	(久留米市保健所) 公立病院の経営形態移行による職員満足度
P-0807-2	三上 遙	(東北電力 土木建築部) 4疾患による死亡割合の季節性変動分析
P-0807-3	近藤 亨子	(大阪市立大学大学院医学研究科・医学部) 歯科検診受診状況および関連因子：大阪市における住民ベースの横断研究から
P-0807-4	伊藤 奏	(埼玉県立大学保健医療福祉学部) 主観的階層帰属意識と歯科保健行動との関連
P-0807-5	宮里 瞳	(宮崎県中央保健所) 宮崎県中央保健所における不妊専門相談センターの現状から
P-0807-6	寺本 千恵	(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野) 救急外来受診後に帰宅した患者の中で年に複数回受診する患者像：年齢グループ別の検討
P-0807-7	南園佐知子	(秋田大学大学院医学系研究科地域医療政策学講座) 地域医療に関わる住民の意識に関連する要因の検討
P-0807-8	今村 晴彦	(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野) 地域特性別にみた聴力と活動能力の関連－倉洲高齢者コホート研究より－
P-0807-9	高柳 泰世	(本郷眼科・神経内科) 色覚は健康診断に入る項目か？

11月6日 (金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間		
P-0808-1	恒川 葉子	(岐阜市南市民健康センター) 地域住民と協働で取り組むウォーキング活動の推進
P-0808-2	田原 浩子	(下松市健康福祉部長寿社会課) アラカン講演会後の聴講者らによる社会参加促進普及啓発活動を支援して
P-0808-3	松永 一郎	(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学) 学歴・青少年期家計状態と心血管疾患危険因子との関連：大阪市における横断研究から
P-0808-4	小林江里香	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム) 中高年者を対象とした「地域の子育て支援行動尺度」の作成と支援行動の関連要因
P-0808-5	片山 千栄	(農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域) 身体活動量からみたデイサービス利用高齢者の農作業評価
P-0808-6	加藤 朋子	(埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科) うつ傾向とライフスタイルの関連－青森県黒石市、長野県中野市、沖縄県豊見城市の比較
P-0808-7	越智真奈美	(国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所) 母親の労働時間が子どもの野菜摂取量に与える影響 ～母親の就労形態による比較～
P-0808-8	赤間 由美	(山形大学医学部看護学科) 住民、行政、研究者が共にコミュニティづくりを楽しく考えるプログラムの検討

第9分科会：難病・障害の医療と福祉

11月4日 (水) 15:45-16:45 長崎ブリックホール 2階 練習室2		
P-0901-1	鈴木 仁一	(神奈川県相模原市保健所) 日本公衆衛生学会モニタリング委員会【障害グループ】の平成26年度活動報告

P-0901-2	大夢賀政昭	(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部) WHO-DAS2.0日本語版による障害者の生活機能障害の把握―障害種類別の比較―	P-0903-7	湯川 慶子	(国立保健医療科学院政策技術評価研究部) 新臨床研究情報ポータルサイトの構築と活用：難治性疾患の臨床試験登録状況と医療情報
P-0901-3	山口 智美	(神奈川工科大学看護学部看護学科) 民間企業における脳卒中患者の雇用状況と雇用方針	P-0903-8	植田紀美子	(大阪府立母子保健総合医療センター) 療育効果指標“家族アウトカム質問票 (FOS-J)”の一般化に関する研究
P-0901-4	井上美貴子	(仙台市北部発達相談支援センター) 医療的ケアを必要とする重症心身障害者の「住まい」の場について～モデル事業から～	P-0903-9	西山 恵梨	(奈良市保健所) レスパイト入院時の病院看護と訪問看護の“継続性のある看護”をめざした取り組み
P-0901-5	永峯 卓哉	(長崎県立大学看護栄養学部看護学科) 内部障害者の日常生活における生活の実態調査	第10分科会：精神保健福祉		
P-0901-6	五藤 泰子	(東海学院大学健康福祉学部管理栄養学科) 摂食・えん下降害における QOL 向上の改善策の検討	11月4日(水) 16:45～17:45 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0901-7	西 留美子	(共立女子大学 看護学部) 都道府県別の在宅療養児に対する訪問看護ステーションの需給状況	P-1001-1	岩田 光宏	(堺市こころの健康センター) 高齢化するひきこもり相談の家族状況
P-0901-8	木村美也子	(聖マリアンナ医科大学予防医学教室) 知的障害児を一人っ子として養育する母親の精神健康と Hope 及び肯定的変化	P-1001-2	櫻木 初美	(福岡県精神保健福祉センター総務企画課) ひきこもりの相談事例の動向から支援のあり方を考える
P-0901-9	皆川 愛	(聖路加国際大学看護学部) 聴覚障害者を対象としたヘルスリテラシーの調査～一般住民の調査結果との比較～	P-1001-3	川崎 梢	(福岡県精神保健福祉センター) 精神科デイケアにおける「青年期プログラム」の取組み―集団適応性の向上を目指して―
11月5日(木) 10:10～11:10 長崎ブリックホール 2階 練習室3			P-1001-4	佐藤 幹也	(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野) 症状・悩み・受療疾患とこころの不調のリスク
P-0902-1	市川ひとみ	(長崎県県南保健所) 難病患者の災害時支援ニーズと災害への備えに関する実態調査	P-1001-5	藤田 幸司	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院公衆衛生学研究室) 地域高齢者における認知症への不安、認知機能低下の自覚とのメンタルヘルスの関連
P-0902-2	荒川 緑	(名古屋市北保健所) 地域ケアシステム構築による難病患者支援についての一考察	P-1001-6	金子 善博	(秋田大学大学院医学系研究科) 中山間地域における配偶者のいない中高年男性のメンタルヘルスと社会交流について
P-0902-3	花堂 友実	(長崎県西彼保健所) これから保健所がおこなう難病患者支援のあり方	P-1001-7	山崎サチコ	(文京学院大学) 同居家族のエイジズ的関わりと精神的健康が高齢者のうに及ぼす影響
P-0902-4	藤村史穂子	(岩手県立大学看護学部) 岩手県の難病患者の災害時支援及び防災対策(第3報)～疾患群別の特徴～	P-1001-8	松永真里江	(鹿児島県川薩保健所) 川薩圏域における精神障害者の地域移行・地域定着支援の推進に向けた取組み
P-0902-5	黒沢美智子	(順天堂大学医学部衛生学) 稀少難治性皮膚疾患天疱瘡の患者数と年齢分布の将来予測	P-1001-9	田野中恭子	(佛教大学保健医療技術学部看護学科) 統合失調症を患う母親と暮らした娘の経験
P-0902-6	高石麻奈絵	(富山県高岡厚生センター) 在宅療養中の難病患者における療養相談会への不参加理由の検討	P-1001-10	羽田 智香	(筑波大学体育専門学群) 育児休業中の就労女性における産前産後の精神健康の変化と産後の心理社会的要因
P-0902-7	太田 晶子	(埼玉医科大学医学部公衆衛生学) 多発性筋炎／皮膚筋炎の有所見割合 臨床調査個人票の解析	11月5日(木) 11:10～12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-0902-8	夏目 恵子	(国立保健医療科学院研究課程) 在宅療養中の難病患者家族の支援の研究に関する文献レビュー	P-1002-1	原田 小夜	(聖泉大学看護学部看護学科地域看護学) 司法精神医療における行政機関の役割に関する研究～第5報～
11月5日(木) 15:00～16:00 長崎ブリックホール 2階 練習室2			P-1002-2	辻本 哲士	(滋賀県立精神保健福祉センター) 医療観察法の地域処遇事例の支援における保健所の考える課題～第6報～
P-0903-1	亀井 哲也	(藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科) スモン患者検診データベースの解析―視力と歩行の経年変化―	P-1002-3	中原 由美	(福岡県嘉穂・鞍手保健所) 改正精神保健福祉法における保健所の役割に関する研究
P-0903-2	福島 若葉	(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学) 特発性大腿骨頭壊死症の全国疫学調査(一次調査)	P-1002-4	小山 園子	(大分県北部保健所) 精神障がい者地域移行支援における保健所調整機能～医療と福祉をつなぐ戦略的な取組～
P-0903-3	鷺尾 昌一	(聖マリア学院大学) 日本人女性における全身性エリテマトーデスの危険因子：症例対照研究	P-1002-5	河原 和夫	(東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科) 精神疾患の医療計画の特性に関する研究(第一報)
P-0903-4	三徳 和子	(人間環境大学看護学部看護学科) 視力・聴力の低下と認知症予防の関連	P-1002-6	菅河真紀子	(東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科) 精神疾患の医療計画の特性に関する研究(第二報)
P-0903-5	人見 敏明	(聖マリアンナ医科大学予防医学教室) 全身性カルニチン欠損症における新生児マスキリーニングと分子診断の重要性	P-1002-7	本保 善樹	(東京都北区保健所) 非自発的入院の現状と課題 ― 国連の指摘に対する改善策を探る
P-0903-6	小林 朗子	(千葉県習志野健康福祉センター(習志野保健所)) 長期療養児(気管切開児・人工呼吸器装着児)の交流会開催の取組	P-1002-8	塩田 藍	(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野) 日本語版コミュニティインテグレーション尺度の開発とその信頼性・妥当性の検討

P-1002-9	高野 吉輝	(宮崎県中央保健所) 精神保健福祉法第22条に係る対応と現状について
P-1002-10	伊藤 悦子	(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻) 精神保健福祉法第24条通報対応と保健所保健師の関与に関する文献検討
P-1002-11	川上 憲人	(東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野) 「一般住民におけるトラウマ被害の精神影響の調査手法マニュアル」の作成

11月5日(木) 16:00-17:00 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-1003-1	池邊 敏子	(千葉科学大学看護学部看護学科) 精神障害者の介護から看取りまでのグループホーム設立経緯と課題
P-1003-2	磯村 聡子	(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻) 地域で生活する精神障害者に対する民生委員の関わりに関する文献レビュー
P-1003-3	奥藤 竜星	(神戸大学医学部保健学科) 長期入院経験を持つ精神障害者の地域生活に対する満足の内容
P-1003-4	吉岡 早戸	(独立行政法人国立病院機構災害医療センター) 危険ドラッグの広がりについて
P-1003-5	兼平 朋美	(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻) 精神保健活動における保健師の家庭訪問スキルを向上させる事例検討会の発言内容の分析
P-1003-6	守田 孝恵	(山口大学大学院医学系研究科) 精神保健活動における保健師のスキルを向上させるOJT
P-1003-7	佐久間信行	(日高振興局保健環境部保健行政室(北海道浦河保健所)) 発達障害の子どもの行動を改善するために行動進化学や行動分析学を用いる一考察
P-1003-8	鈴木友理子	(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健研究部) 福島第一原子力発電所事故の避難住民における精神健康と放射線のリスク認知の関連
P-1003-9	井倉 一政	(三重県立看護大学 看護学部) 中学生におけるメンタルヘルスリテラシー向上プログラムの開発に向けた取り組み
P-1003-10	楊 謹鴻	(秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座) インターネット嗜癡行動尺度(CIUS)日本語版の信頼性と妥当性の検討
P-1003-11	板山 稔	(目白大学看護学部) 中学校における精神保健教育の実施課題に関する実態調査

11月6日(金) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 2階 翔鶴の間		
P-1004-1	安田 優子	(石川県保健環境センター) 県民の「心の健康」に関する調査ー自由記述内容の解析ー
P-1004-2	丹野 高三	(岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構) 東北メディカル・メガバンク事業地域住民コホート参加者のストレスや不安の実態
P-1004-3	津村 秀樹	(島根大学医学部環境保健医学講座) 身体疾患を有する高校教員の精神的健康
P-1004-4	山田 行子	(群馬県こころの健康センター) 群馬県におけるゲートキーパー養成講座の評価と今後の課題
P-1004-5	田中 晴佳	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座) 双生児研究方法を用いたうつ症状と嚥下障害の関連の検討
P-1004-6	須賀 万智	(東京慈恵会医科大学環境保健医学講座) 自殺予防に必要な援助要請を促進する要因に関する検討ー近隣のつながりに注目して

P-1004-7	熊谷 政子	(秋田県秋田地域振興局福祉環境部) 秋田中央保健所における心の健康づくり・自殺予防対策について
P-1004-8	山口はるか	(久留米市保健所) 自殺対策におけるかかりつけ医・精神科医連携システムー紹介半年後の追跡調査ー
P-1004-9	植松 純子	(大阪府こころの健康総合センター) 大阪府三次救命救急医療機関における自殺未遂者の連携支援事例検討会の試み
P-1004-10	本屋敷美奈	(大阪府こころの健康総合センター) 大阪府における精神科医療機関における過量服薬関連行動実態調査
P-1004-11	佐々木久長	(秋田大学大学院医学系研究科) 自殺高率地域の住民の援助希求行動：9年間の変化

第11分科会：口腔保健

11月4日(水) 15:45-16:45 長崎ブリックホール 2階 練習室3		
P-1101-1	三浦 宏子	(国立保健医療科学院) 全国自治体調査に基づく歯科疾患実態調査の参加者増加へのアプローチ法に関する分析
P-1101-2	山元 絹美	(兵庫県龍野健康福祉事務所) 地域包括ケアシステムにおける高齢者口腔ケアの体制整備ー3年間の取組み報告ー
P-1101-3	藤山 友紀	(新潟市保健所) 地域レベルで見た高齢者の所得格差と残歯数の関係
P-1101-4	北見 英理	(茨城県歯科医師会地域保健委員会) 茨城県A市における口腔機能健康測定実施状況に関する報告
P-1101-5	森 貴幸	(岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター) A大学病院障害者歯科診療室における抜歯の傾向について
P-1101-6	守屋 信吾	(国立保健医療科学院生涯健康研究部) 地域自立高齢者の咀嚼能力と食事摂取状況との関連性
P-1101-7	小山史穂子	(東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座国際歯科保健学分野) ソーシャル・キャピタルと口腔健康の変化のコホート研究～JAGESプロジェクト～
P-1101-8	山崎 亨	(三重大学医学部附属病院疫学センター) 栄養摂取における歯科補綴治療の効果：システムティックレビューとメタアナリシス
P-1101-9	山根 真由	(岡山大学大学院医歯薬総合研究科予防歯科学分野) 大学生における自覚的口腔健康観と口腔内の臨床所見・口腔保健行動との関連

11月5日(木) 10:10-11:10 長崎ブリックホール 2階 練習室2		
P-1102-1	石田 直子	(神奈川歯科大学大学院口腔衛生学講座) 県内二次医療圏別幼児におけるう蝕の有無の地域差とう蝕に関わりのある歯科保健行動
P-1102-2	中向井政子	(神奈川歯科大学大学院口腔衛生学講座) 平成26年度集団フッ化物洗口実施後のフォローアップ調査結果
P-1102-3	野口 有紀	(静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科) 母親のメディア健康情報の取得と子どもへの口腔保健行動との関連
P-1102-4	星 旦二	(首都大学東京都市環境学部) かかりつけ歯科医師の存在とその後のQOL、生存維持との因果構造
P-1102-5	宋 文群	(神奈川歯科大学大学院口腔衛生学講座) 川崎市における乳幼児の生活習慣と齲蝕の関係について(第3報)

P-1102-6	戸田花奈子	(東京医科歯科大学大学院歯学教育システム評価学分野) 幼児の口腔内環境と口腔保健状況との関連性の調査	P-1201-10	兎玉 洋江	(石川県保健環境センター) 石川県における感染性胃腸炎患者発生状況から推定したロタウイルス胃腸炎患者数の推移
P-1102-7	町田賢太郎	(市ヶ谷、歯科) カンボジアの中学校における健康指標としてのBMI および DMFT 指数	P-1201-11	橋本 泰代	(佐賀県杵藤保健福祉事務所) 働き盛り世代への肝がん予防出前講話効果検証
11月5日 (木) 15:00-16:00 長崎ブリックホール 2階 練習室3			11月5日 (木) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ		
P-1103-1	福田 雅臣	(日本歯科大学生命歯学部衛生学講座) 「歯と口の満足度」評価法に関する研究－改変セルフチェックシートでの評価－	P-1202-1	大角 晃弘	((公財) 結核予防会結核研究所臨床・疫学部) 全国結核患者発生動向調査情報による潜在性結核感染症登録患者数増加・減少要因の検討
P-1103-2	佐野 和晃	(東京大学医学部医学科) 労働者における睡眠時間と口腔衛生状態との関連－MY ヘルスアップ研究から－	P-1202-2	伊藤 瞳	(倉敷市保健所) 結核登録患者の受診の遅れや診断の遅れに影響する要因と今後の対応
P-1103-3	嶋崎 義浩	(愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座) 職域成人男性における歯科受診状況と口腔健康状態との関連性	P-1202-3	伊東 寛人	(京都府丹後保健所保健室感染症・難病担当) 結核の接触者健康診断における高齢者への IGRA (QFT) 適用の有用性
P-1103-4	上田 菜央	(早稲田大学人間科学部) 地域住民の口腔内状態と QOL 及びシーシャル・キャピタルとの関連	P-1202-4	村井 孝行	(奈良県中和保健所) 結核高感染率集団1事例における接触者健康診断について～QFT-3G と T-SPOT の比較～
P-1103-5	長田 斎	(東京都杉並区) 東京都杉並区の傘寿者は約半数が「8020」を達成していた	P-1202-5	山田 全啓	(奈良県中和保健所) 結核接触者健診の現状と精度管理について～QFT-3G と T-SPOT の比較～
P-1103-6	渡邊 功	(京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学) 残存歯数およびアイヒナー分類による咬合支持域と軽度認知機能低下の関連	P-1202-6	南 朗子	(京都橘大学看護学部) 結核診断時の病態に影響する患者因子の検討～基本属性、職業区分による分析から～
P-1103-7	松井 大輔	(京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学) 質問紙調査における自己申告歯数の妥当性研究	P-1202-7	市塚真由美	(石川県能登中部保健保健センター) 患者支援をきっかけとした企業や中国人労働者に対する結核予防啓発の試み
P-1103-8	大山 篤	(神戸製鋼所東京本社健康管理センター) 糖尿病患者の定期歯科受診に関する Web 調査	P-1202-8	西田 敏秀	(宮崎県小林保健所) 結核高蔓延国からの留学生に対する結核対策
P-1103-9	加藤 一夫	(愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座) 口腔バイオフィルムによる S-PRG フィラー配合歯磨剤からの無機イオンの取り込み	P-1202-9	右田 雄二	(長崎県上五島保健所) 長崎県下の結核対策における遺伝型別 (VNTR) の有用性
			P-1202-10	田中 貴子	(秋田県健康環境センター) 高齢者福祉施設等における結核対応に関するインタビュー調査結果
			P-1202-11	柳田 彩	(熊本県庁) 地域における結核予防対策の必要性について

第12分科会：感染症

11月4日 (水) 14:45-15:45 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ			11月5日 (木) 16:00-17:00 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ		
P-1201-1	西浦 博	(東京大学大学院医学系研究科) 渡航制限に伴うエボラ出血熱の地理的流行拡大の抑止効果推定	P-1203-1	伊東 則彦	(道根室・中標津保健所) 抗結核薬合剤 (4-Drug Fixed-Dose RFP, INH, PZA, EB) - フィリピン・マニラ市保健所例 -
P-1201-2	村松 司	(北海道岩見沢保健所) 麻疹排除維持に向けて～当保健所管内における麻疹アウトブレイクの経験より～	P-1203-2	山名 隼人	(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学) 大病院を擁する地域における潜在性結核感染症の発生状況と治療経過
P-1201-3	寺田 千草	(東京都健康安全研究センター) 2014年における東京都での Dengue 熱国内感染事例の課題と対策	P-1203-3	富澤 恭子	(相模原市保健所疾病対策課) 人工呼吸器使用者で発生した結核集団感染 (第1報) ～医療型療養病床の課題と対策～
P-1201-4	多和田光紀	(豊田市保健所) レジオネラ属菌の培養法と生菌迅速検査法の比較について	P-1203-4	齋藤 雅弥	(相模原市保健所疾病対策課) 人工呼吸器使用者で発生した結核集団感染 (第2報) ～VNTR と集団感染～
P-1201-5	吉川 亮	(長崎県環境保健研究センター研究部保健科) 長崎県における日本脳炎流行の早期探知法	P-1203-5	稲村 匡紀	(相模原市保健所疾病対策課) 人工呼吸器使用者で発生した結核集団感染 (第3報) ～感染経路の観点から～
P-1201-6	松森真理子	(長崎県県央保健所) 食中毒・感染症予防対策に関する保健所による施設内指導者認定制度の導入	P-1203-6	堀地 妙子	(福岡市南区保健福祉センター (南保健所)) 管内医療機関における結核集団感染事例について
P-1201-7	蕪木 康郎	(さいたま市健康科学研究センター) さいたま市におけるヒトパレコウイルス検出状況 (2013年～2014年)	P-1203-7	津田 侑子	(大阪市保健所) 壮年期～中年期における結核関連死亡事例の検討
P-1201-8	丸山 絢	(川崎市健康安全研究所) 自治体における腸管出血性大腸菌感染症散发事例のリスク推定の試行	P-1203-8	笠井 幸	(大阪市西成区保健福祉センター) 潜在性結核感染症 (LTBI) の治療成績と発病に関する検討
P-1201-9	大嶋 孝弘	(川崎市健康安全研究所) 川崎市における梅毒の発生状況について	P-1203-9	永田 容子	(公益財団法人結核予防会結核研究所) 「結核看護システム」；服薬支援パスの開発と試行

P-1203-10	山内 祐子	(結核研究所) 『結核看護システム』：「結核に関する特定感染症予防指針」の目標値の定義・測定方法
P-1203-11	畠山 雅行	(東京都結核予防会) 奈良に結核を広めない会カンファレンス (ATAC-inNARA) の14年目の新しい啓発活動

11月5日 (木) 14:00-15:00 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ

P-1204-1	富森由紀恵	(大阪市保健所) A 高校での集団感染事例 ～A 高校での接触から2年後に発病者が発見された事例～
P-1204-2	江藤 孝史	(医療法人医誠会医誠会病院) 一地方病院内における特定菌分離状況と全国平均比較による検討
P-1204-3	川口谷充代	(札幌医科大学医学部衛生学講座) 非侵襲性肺炎球菌の莢膜血清型とマクロライド耐性遺伝子型の推移
P-1204-4	淀谷 雄亮	(川崎市健康安全研究所) 川崎市における疫学情報を含めた結核菌分子疫学解析について
P-1204-5	中島 理恵	(唐津保健所) 知的障害のある XDR 患者の DOTS 支援について
P-1204-6	藤原 晶子	(兵庫県加古川健康福祉事務所) 東播磨圏域院内感染対策医療機関ネットワークによる院内感染対策のレベルアップの試み
P-1204-7	吉田 英樹	(大阪市保健所) 大阪市内医療機関におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 検出状況
P-1204-8	西山 友美	(島根県雲南保健所) 高齢者施設で起きた大規模結核集団感染
P-1204-9	山本 香織	(大阪市立環境科学研究所調査研究課) 大阪市あいりん地域における結核菌分子疫学調査
P-1204-10	大屋日登美	(神奈川県衛生研究所微生物部) マクロライド耐性肺炎マイコプラズマ検出状況と遺伝子型別
P-1204-11	溝腰 朗人	(大分県南部保健所) 感染症の「見える化」について

11月6日 (金) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1205-1	坂田 清美	(岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座) 小中学生を対象とした JCM5805含有ヨーグルト摂取のインフルエンザ予防効果の検討
P-1205-2	小笹晃太郎	(放射線影響研究所疫学部) ワクチンによるインフルエンザの予防と対策に関する啓発
P-1205-3	内田 満夫	(信州大学総合健康安全センター) 地域における全小中学生児童の季節性インフルエンザの発症に対する縦断的研究
P-1205-4	廣瀬 和美	(香川県東讃保健福祉事務所) 高齢者施設におけるインフルエンザ集団発生予防のための巡回調査について
P-1205-5	村上 香	(広島工業大学生命学部) カシス由来ポリフェノール摂取によるヒトのインフルエンザ予防効果の検討
P-1205-6	小林 良清	(長野県佐久保健福祉事務所) 長野県における「予防接種済率」算出の取組と課題
P-1205-7	別府 由紀	(津市役所健康福祉部健康づくり課) MR 予防接種接種率の維持及び向上のための取り組みについて
P-1205-8	細野 晃弘	(名古屋市長立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) 子宮頸がんワクチン副反応発生頻度調査 (第1報)

11月6日 (金) 10:10-11:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1206-1	廣瀬 晃子	(朝日大学歯学部口腔感染医療学講座社会口腔保健学講座) 歯科衛生士学校生のエイズに関する認識 - 14年前との比較 -
P-1206-2	藤部 荒術	(特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会 (アカー)) 地方公共団体のエイズ対策における NGO 連携及び個別施策層向け対策の状況と課題
P-1206-3	久地井寿哉	(社会福祉法人はばたき福祉事業団) 近年における薬害 HIV 被害者の平均生存期間の地域格差の検討
P-1206-4	嶋田 憲司	(特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会 (アカー)) 地方公共団体と NGO 連携による HIV 検査事業の実施とその効果評価
P-1206-5	海嶋 照美	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学) 肝炎ウイルス検査受検状況と検査後の意識動向調査について
P-1206-6	谷畑 健生	(神戸保健福祉局保健所) 7県の全医療機関を対象とした平成25年性感染症発生と定点報告の比較
P-1206-7	小向 潤	(大阪市保健所) 大阪市におけるコッホ現象の現状
P-1206-8	山内 武紀	(昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座衛生学部門) 感染症週報データを用いた基本再生産数推定の試み
P-1206-9	尾関佳代子	(浜松医科大学健康社会医学) ビロリ菌除菌と飲酒習慣有無との関連

第13分科会：健康危機管理

11月4日 (水) 15:45-16:45 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1301-1	古屋 好美	(山梨県中北保健所) 健康危機管理機能充実のための保健所を拠点とした危機管理調整システム構築
P-1301-2	長谷川麻衣子	(長崎県県南保健所) 長崎県立保健所における大規模災害時公衆衛生対応の標準化の取り組み
P-1301-3	中島 一敏	(東北大学病院検査部) 我が国の健康危機管理でイベントベースサーベイランスは必要かーワークショップ報告
P-1301-4	金成由美子	(福島県南会津保健所) 我が国の健康危機管理における EBS の効果的な研修のあり方ー研修前後アンケート調査
P-1301-5	鈴木 知代	(聖隷クリストファー大学看護学部) 被災直後の公衆衛生看護活動と課題 (第1報) 予測を超えた危機に対する保健師活動の困難
P-1301-6	若杉 早苗	(聖隷クリストファー大学 看護学部) 被災直後の公衆衛生看護活動と課題 (第2報) 保健師の行動に焦点をあてて
P-1301-7	前田 秀雄	(東京都福祉保健局) 災害時における公衆衛生機能の支援に関する研究ー公衆衛生チームと医療救護班の比較ー
P-1301-8	中瀬 克己	(岡山大学医療教育統合開発センター) 大規模災害従事者自身の健康保持に関する研修方策の検討
P-1301-9	平川 幸子	(三菱総合研究所) 感染症パンデミック等を想定した国内外の健康危機管理体制の現状と課題
P-1301-10	丸岡 綾子	(東京都福祉保健局多摩立川保健所) 効果的な災害時保健活動の推進ー圏域版 HUG 研修と発災時行動カードの策定を通じてー

P-1301-11 原田 千尋 (昭島市保健福祉部健康課)
昭島市における災害時保健活動対策への取り組み～発災時保健師行動カードの活用～

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1302-1 山田 五月 (東京都西多摩保健所)
高齢者施設等の防災対策支援事業～水・食料・医薬品等の確保を中心に～

P-1302-2 眞崎 直子 (日本赤十字広島看護大学)
都市型準限界集落の地域の防災等健康危機管理意識に関する研究

P-1302-3 鶴和 美穂 (国立病院機構災害医療センター臨床研究部)
大規模災害時における保健行政と災害医療体制との連携構築に向けた検討

P-1302-4 近藤 久禎 (国立病院機構災害医療センター)
DMAT ロジスティックチーム要員研修について

P-1302-5 近藤 祐史 (国立病院機構災害医療センター臨床研究部)
災害時の公衆衛生活動～災害医療コーディネートと EMIS 機能拡充・SIP から考える～

P-1302-6 出口 弘 (東京工業大学総合理工学研究科)
大規模災害時の保健医療活動支援に関わる情報の利活用技術

P-1302-7 池川(田辺) 麻衣 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科スポーツ医歯学分野)
被災者情報の共有による保健医療リソース活用の効率化に関する研究

P-1302-8 菊池 香 (東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻)
災害時における避難所支援のための資源配分方法の検討

P-1302-9 宮崎美砂子 (千葉大学大学院看護学研究科)
地域保健活動拠点における災害時の地域診断項目(案)の実用性に関する検討

P-1302-10 武田 光史 (埼玉医科大学地域医学・医療センター)
災害時救急医療体制の新たな展開

P-1302-11 坪川トモ子 (新潟青陵大学看護学部看護学科)
災害時保健活動に関する平常時からの体制整備の現状

11月5日(木) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1303-1 中里 栄介 (佐賀県唐津保健所)
中東呼吸器症候群(MERS)、エボラ出血熱、デング熱に対する保健所の対応への助言

P-1303-2 中村 裕樹 (日本大学大学院薬学研究科)
処方せん情報を活用したバイオテロ等不明感染症の早期探知に関する検討

P-1303-3 富尾 淳 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)
エボラウイルス病に関する一般市民の知識・リスク認知と医療機関への受診意思

P-1303-4 岩澤 聡子 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)
都市部ごみ焼却施設と住民のリスクコミュニケーション：緊急時対応マニュアルの作成

P-1303-5 堀口 逸子 (長崎大学広報戦略本部(東京事務所))
「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方について」報告書

P-1303-6 丸山 佳子 (神戸市保健福祉局健康部)
災害後の長期派遣による行政保健師の実務力向上に関する検討

P-1303-7 久保園サトミ (鹿児島県徳之島保健所)
保健所における初動体制確立のための備えについての一考察

P-1303-8 関 奈緒 (新潟大学医学部保健学科)
災害関連業務に従事する行政職員の健康管理・業務管理～中越地震を振り返って～

P-1303-9 齋藤 正子 (東京家政大学 看護学部 看護学科)
男女共同参画で行う地域防災・減災～東京家政大学狭山キャンパスの役割の検討～

P-1303-10 鈴木 健介 (日本体育大学保健医療学部)
学校における緊急時・災害時の対応－養護教諭が行うトリアージの必要性－

11月5日(木) 10:10-11:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1304-1 齋藤 智也 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)
図上演習型医師・行政機関向け新型インフルエンザ研修・訓練ツールの開発

P-1304-2 松本 加代 (墨田区保健所)
保健所による保育園サーベイランスを活用した集団発生の早期探知・介入の事例

P-1304-3 田辺 正樹 (三重大学医学部附属病院医療安全感染管理部)
新型インフルエンザ等発生時における住民接種体制の構築について

P-1304-4 水本 憲治 (東京大学大学院総合文化研究科)
季節性インフルエンザの疾病負荷に関する推定

P-1304-5 栗田 順子 (茨城県保健福祉部保健予防課)
茨城県での学校欠席者情報収集システムを用いたインフルエンザの情報発信に関する検討

P-1304-6 竹野 大志 (長崎県医療政策課)
長崎県における学校欠席者情報収集システムによる保健所別のインフルエンザ流行状況

P-1304-7 市川 学 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)
伊豆大島におけるインフルエンザ感染シミュレーションモデルを用いた流行分析

P-1304-8 薛 キョウ (東京工業大学総合理工学研究科)
ソーシャルネットワークにおける予防接種モデルの提案と評価

P-1304-9 木村由理佳 (東京工業大学総合理工学研究科知能システム科学専攻齋藤研究室)
地域特性考慮型クリティカルパスを含めた医療システムモデルの構築

P-1304-10 渡邊 美樹 (茨城県衛生研究所企画情報部(感染症情報センター))
学校欠席者情報収集システムを活用した麻しんおよび風しん早期探知・早期対応

11月5日(木) 14:00-15:00 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1305-1 井口 紗織 (東京工科大学医療保健学部看護学科)
東日本大震災を経験した被災市町村保健師の保健活動における経験に対する意味づけ

P-1305-2 谷貞 和明 (伊勢赤十字病院医療技術部放射線技術課)
放射線災害発生に対する当院の取り組み

P-1305-3 赤坂 博 (岩手医科大学災害医学講座)
東日本大震災で避難所は整備されていたかー中・大規模避難所42か所4か月間調査からー

P-1305-4 菅原 由美 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)
東日本大震災の健康影響ー特定健診データの推移ー

P-1305-5 松田 葉子 (琉球大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座)
沖縄県民の防災(地震・津波)に関する心理側面からの検討

P-1305-6 岩垣 穂大 (早稲田大学大学院人間科学研究科)
東日本大震災における仮設住宅居住者の PTSD とソーシャル・キャピタルとの関連

P-1305-7 佐藤 眞理 (東北大学大学院医学系研究科周産期看護学分野)
東日本大震災後における被災地保健師活動と課題：質問紙調査と形態素解析を用いた研究

P-1305-8 小早川義貴 (国立病院機構災害医療センター福島復興支援室)
福島県での多数傷病者対応訓練

P-1305-9	根本裕美子	(東北大学医学系研究科地域ケアシステム看護学分野) 福島第一原発事故における安定ヨウ素剤に関する市町村の対応と今後の備え
P-1305-10	関口 美保	(東京家政大学看護学部) 東日本大震災被災地の市町村保健師が避難所活動を行う上で役立った平時の保健師活動
P-1305-11	小牧久見子	(早稲田大学人間科学研究科) 原発事故による被災者の放射線・放射能のイメージとストレスの関連

11月6日(金) 11:10-12:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1306-1	岩室 紳也	(ヘルスプロモーション推進センター) ソーシャルキャピタルの醸成に必要なアプローチ～被災地支援の経験から学ぶ～
P-1306-2	松田 宣子	(関西国際大学保健医療学部看護学科) 防災意識と防災コミュニティへの関心に関する研究
P-1306-3	岩崎由香里	(くらしき作陽大学食文化学部) 大学・地域が連携した「炊き出し」シミュレーションにおける栄養管理と意識変容の分析
P-1306-4	高橋 紀子	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 福島県「県民健康調査」における子どものメンタルヘルスの状況と電話支援の実践
P-1306-5	柏崎 佑哉	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 福島県「県民健康調査」におけるメンタルヘルスの状況と電話支援の実践
P-1306-6	堀越 直子	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 福島県県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」生活習慣電話支援
P-1306-7	康原 夏子	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 国民の受療意思へのリスク情報の影響に関する研究
P-1306-8	松岡 俊彦	(広島大学大学院医歯薬保健学研究疫学・疾病制御学) サリン曝露被害者検診調査に基づく慢性期の精神的自覚症状に関する研究
P-1306-9	谷口 圭祐	(遠軽地区広域組合消防署丸瀬布出張所) 救急現場活動において救急隊員が知覚する急性ストレスとその関連要因
P-1306-10	伊藤 雪絵	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 地域別にみた気温と熱中症による救急搬送の関係
P-1306-11	丸山 貴大	(信州大学医学部医学科) 医学部医学科学生の防災意識と災害への備え

第14分科会：医療制度・医療政策

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-1401-1	今村 知明	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 地域医療構想の実現へ向けての検討(1)ー全体像の俯瞰ー
P-1401-2	野田 龍也	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 地域医療構想の実現へ向けての検討(2)ー課題の整理ー
P-1401-3	渡邊顕一郎	(奈良県医療政策部) 地域医療構想の実現へ向けての検討(3)ー奈良県における取り組みー
P-1401-4	西本莉紗恵	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 地域医療構想の実現へ向けての検討(4)ー病床機能報告の分析ー
P-1401-5	吉井 克昌	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 地域医療構想の実現へ向けての検討(5)ー救急搬送の観点からー

P-1401-6	仁賀 建夫	(経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課) 医学研究者と企業との連携を促進する方策に関する研究
P-1401-7	原田 和宏	(吉備国際大学) 医学的リハビリテーションニーズに関して病期および疾患別にみる特徴
P-1401-8	岸 学思	(一般社団法人しまね地域医療支援センター) キャリア形成支援を通じた医師の地域偏在解消の取組状況及び成果・課題
P-1401-9	石川 雅俊	(国際医療福祉大学大学院医療経営管理分野) 地理情報システムを用いた全国の分娩医療機関に対するアクセスの検討
P-1401-10	清水 準一	(首都大学東京大学院人間健康科学研究科看護科学域) 地理情報システム(GIS)を用いた都市部の訪問看護需給バランスの状況と指標の検討

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-1402-1	相原 洋子	(神戸市看護大学地域連携教育・研究センター) 生活習慣と医療費支出との関連：4年間のパネル調査分析から
P-1402-2	久武 加奈	(高知大学医学部公衆衛生学教室) 国民健康保険加入者における特定健診受診の有無と医療費の関係について
P-1402-3	山下 真宏	(兵庫県立大学看護学部) 大都市の前期高齢者の入院・外来医療費水準と経年変化について
P-1402-4	里村 一成	(京都大学医学部公衆衛生学教室) KDB システムを利用したデータヘルス計画策定の問題点
P-1402-5	石丸 美穂	(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学教室) 「医師・歯科医師・薬剤師調査」データを用いた歯科医師数の将来予測
P-1402-6	中西 康裕	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) 病院経営及び経済的側面に着目した院外処方推進政策の評価
P-1402-7	財津 将嘉	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学) 製薬会社が行う疾患啓発広告の薬剤市場に与える影響：レセプトを用いた分析
P-1402-8	窪山 泉	(国士舘大学) 骨粗鬆症の患者数と骨粗鬆症治療薬の処方率ーレセプトを用いた分析ー
P-1402-9	原 湖楠	(東京大学医学系研究科公衆衛生学教室) 先発医薬品の薬価が後期高齢者の後発医薬品置換え率に与える影響
P-1402-10	伊藤 佑樹	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 後期高齢者の自己負担割合が後発医薬品の選択に与える影響

11月5日(木) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間

P-1403-1	土屋 久幸	(埼玉県熊谷保健所) 小児救急医療の崩壊を防ぐ県保健所の対応
P-1403-2	江原 朗	(広島国際大学医療経営学部) 平成20年から24年における小児救急患者の地域外搬送比率について
P-1403-3	塩飽 邦憲	(島根大学医学部病態病理学) 地理情報システムを用いた救急搬送シミュレーションモデルの確立
P-1403-4	川口 竜助	(市立奈良病院総合診療科) 奈良市外から当院に救急搬入された患者の特徴について
P-1403-5	中村 圭佐	(北海道科学大学保健医療学部看護学科) 札幌市における救急電話相談「救急安心センターさっぽろ」の現状(第1報)

P-1403-6	石川 幸司	(北海道科学大学保健医療学部看護学科) 札幌市における救急電話相談「救急安心センターさっぽろ」の現状 (第2報)
P-1403-7	松原三智子	(北海道科学大学保健医療学部看護学科) 札幌市における救急電話相談「救急安心センターさっぽろ」の現状 (第3報)
P-1403-8	森岡 典子	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 入院科別病床数の地域格差と看護師数との関連
P-1403-9	佐々木宏之	(東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学) レジリエントな病院を目指し受援力を向上させる：西日本医療機関アンケート調査報告

11月5日 (木) 14:00-15:00 長崎新聞文化ホール 3階 珊瑚の間		
P-1404-1	川邊 智子	(鹿児島大学病院地域医療支援センター) 医師確保対策における行政、医師会、大学との意見交換会の有用性についての一考察
P-1404-2	今井 信也	(奈良県立医科大学健康政策医学講座) CT 利用率と不慮の事故による死亡率との関係
P-1404-3	仲本 奈々	(琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座) 診療の質指標を用いたがん医療の質評価を行うためのデータ源の妥当性に関する検討
P-1404-4	星 淑玲	(筑波大学 医学医療系 保健医療政策学分野) 乳幼児の口タウィルスワクチン定期接種化の費用効果分析
P-1404-5	熊澤 大輔	(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野) 首都圏の病院入院患者の移動実態について
P-1404-6	小田 清一	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 全室個室化透析施設の経営効果
P-1404-7	渡邊 嘉也	(清泉クリニック整形外科) 原因別分類を活用した整形外科クリニックにおけるリスクマネジメントへの取り組み
P-1404-8	岩本 桃子	(国立がん研究センターがん対策情報センターがん政策科学研究部) がん患者の診断・治療開始後における加入健康保険変更の実態調査

11月6日 (金) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 1階 ホワイエ		
P-1405-1	小池 創一	(自治医科大学地域医療学センター (地域医療政策部門)) 外科専門医のキャリアパスに関する研究
P-1405-2	勝部 琢治	(一般社団法人しまね地域医療支援センター) 初期研修医はいつ、どのように後期研修をきめているのか
P-1405-3	権 珠榮	(広島大学大学院医歯薬保健学研究科) 韓国医療費の地域格差と影響因子について
P-1405-4	松山 祐輔	(東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野) 東日本大震災後の医療費一部負担金免除と医療費の関連：時系列データの政策評価研究
P-1405-5	元木 愛理	(山梨大学大学院総合研究部社会医学講座) OECD 加盟国の家族関係社会支出対 GDP 比の国際比較および合計特殊出生率との関連
P-1405-6	谷原 真一	(福岡大学医学部衛生公衆衛生学) 地域住民における医療と介護を合算した費用の分布について
P-1405-7	濱口 由子	(長崎大学大学院経済学研究科博士前期課程経済経営政策専攻) DEA 効率性分析の公衆衛生対策への応用：結核対策の経営効率性評価とその決定要因
P-1405-8	神谷 諭	(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野) 医師の個人特性と診療地選択の関連に関する検討

第15分科会：公衆衛生従事者育成

11月4日 (水) 14:45-15:45 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ		
P-1501-1	鈴木 良美	(東邦大学) 自治体と大学の協働による先駆的選択制実習の評価ー学生の実習体験項目の変化ー
P-1501-2	澤井美奈子	(日本赤十字看護大学) 自治体と大学の協働による先駆的選択制実習の成果 - 指導保健師へのインタビューから -
P-1501-3	橋本 結花	(公益社団法人日本看護協会) 保健師のキャリアに関する概念の分析【第一報】 ー一般的なキャリアに関する分析ー
P-1501-4	中板 育美	(公益社団法人日本看護協会) 保健師のキャリアに関する概念の分析【第二報】 保健師におけるキャリアに関する分析
P-1501-5	奥田 博子	(国立保健医療科学院) 地域保健に従事する保健師の計画的人材育成に関する実態とニーズ
P-1501-6	橘 とも子	(国立保健医療科学院研究情報支援研究センター) 地域保健人材育成体制づくりにおける保健師体系の他職種への適用可能性に関する研究
P-1501-7	岩本 里織	(徳島大学大学院医歯薬学研究部) 生存権を護る活動に関する教授方法の開発 ー DVD 教材の作成と効果の検証1
P-1501-8	多田美由貴	(徳島大学大学院医歯薬学研究部) 生存権を護る活動に関する教授方法の開発 ー DVD 教材の作成と効果の検証2
P-1501-9	望月宗一郎	(山梨県立大学看護学部) 実践力向上を目指した保健師課程教育 (第1報) ー地域診断実施状況と自己評価からー
P-1501-10	村松 照美	(山梨県立大学看護学部) 実践力向上を目指した保健師課程教育 (第2報) ー新任保健師の要望の聞き取りからー
11月4日 (水) 15:45-16:45 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ		
P-1502-1	山本 長史	(北海道帯広保健所) 公衆衛生医師の採用・育成等実態調査 (第1報)
P-1502-2	廣瀬 浩美	(愛媛県宇和島保健所) 公衆衛生医師の採用・育成等実態調査 (第2報)
P-1502-3	西垣 明子	(長野県伊那保健所) 公衆衛生に係る人材の確保・育成に関する実践活動報告ーPHSS 2014
P-1502-4	大原 宰	(北海道留萌保健所) Google Analytics を用いた全国保健所長会 Web ページのアクセス分析
P-1502-5	奥野ひろみ	(信州大学医学部保健学科) 公衆衛生看護教育での包括的ケースメソッドの利用による効果分析
P-1502-6	岸本 麻里	(順天堂大学医学部附属順天堂医院) 看護系大学の統合カリキュラムにおける保健師学生の学習意欲とコンピテンシーの実態
P-1502-7	中谷 久恵	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院) 自治体に勤務する保健師の ICT 環境と e ラーニングへの学習ニーズ
P-1502-8	俵 志江	(甲南女子大学看護リハビリテーション学部) 都市部の医療機関に所属する保健師の実態に関する研究
P-1502-9	榊原 文	(島根大学医学部看護学科地域・老年看護学講座) 公衆衛生看護学実習指導者による学習効果を高めるための指導上の工夫
P-1502-10	西川 幸子	(京都府京田辺市) 京都府保健師研修ガイドライン作成とその評価 (第1報)ー新人保健師研修ー

P-1502-11 池田 裕子 (京都府長岡京市)
京都府保健師研修ガイドライン作成とその評価
(第2報) - 中堅期・管理期保健師研修 -

P-1504-10 杉本由利子 (福岡県行橋市役所)
行橋市における保健師人材育成の試み～母子保健
健康課題抽出作業を中心に～【第2報】

11月5日(木) 11:10-12:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

- P-1503-1 塚本 陽子 (名寄市立大学)
保健師教育に携わる教員の力量に関する研究～熟
練教員へのインタビューから～
- P-1503-2 大竹 美記 (茨城県保健福祉部保健予防課)
茨城県における市町村保健師の保健活動に及ぼす
組織風土等の要因についての研究
- P-1503-3 山田 小織 (福岡女学院看護大学)
新人保健師が保健師としての自己成長を実感する
プロセス
- P-1503-4 森永裕美子 (前倉敷市保健所)
リーダー後期(経験18年以上)における研修効
果と意義の検討
- P-1503-5 稲垣 千文 (新潟医療福祉大学)
訪問看護場面演習の模擬療養者(患者) Simu-
lated Patient 導入の学習効果について
- P-1503-6 三井 文子 (山梨県福祉保健部女性相談所)
統括的な役割を担う保健師の役割～本庁保健師の
自主学習会の成果分析から～
- P-1503-7 高橋美代子 (高松市健康福祉局保健所保健センター)
訪問トレーナーの支援による新人保健師の訪問技
術習得研修の効果と課題
- P-1503-8 越田美穂子 (香川大学医学部地域看護学講座)
高松市における中堅保健師人材育成プログラムの
検討と実施
- P-1503-9 鳩野 洋子 (九州大学医学研究院保健学部門)
市町村保健師の管理職としての能力獲得に寄与し
た経験とその意味
- P-1503-10 森鍵 祐子 (山形大学医学部看護学科)
保健師教育全員必修カリキュラムにおける大学卒
業時の実践能力到達度の自己評価
- P-1503-11 佐久間清美 (愛知県立大学看護学部看護学科)
保健師に求められる実習能力と新任期終了時の到
達度

11月5日(木) 15:00-16:00 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

- P-1504-1 藤本美由紀 (山口県立大学看護栄養学部看護学科)
実習指導担当看護師へのインタビューに基づいた
臨床実習指導ガイドブック作成の試み
- P-1504-2 北宮 千秋 (弘前大学大学院保健学研究科)
リスクコミュニケーション演習から学んだ健康危
機管理における判断の過程
- P-1504-3 大橋 裕子 (中部大学生命健康科学部保健看護学科)
保健所、市町村での臨地実習におけるグループ支
援に関する学生の学び
- P-1504-4 牧 千亜紀 (東北文化学園大学医療福祉学部看護学科公衆衛
生看護学領域)
地域診断演習における学生の学びと今後の課題～
地域での体験型を重視した取り組み～
- P-1504-5 大橋 由基 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分
野)
男性保健師の職務経験の特徴に関する文献的検討
- P-1504-6 金藤亜希子 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)
行政機関で働く新任保健師の成長を支える職場環
境
- P-1504-7 川村 麗子 (長崎県県央保健所)
市町における保健師が集まる場の現状と課題～イ
ンタビューによる実態把握から～
- P-1504-8 長谷川理恵 (鳥取県中部総合事務所福祉保健局(倉吉保健所))
保健師が育つ「ケア・ミーティング」の試み
- P-1504-9 廣木 里香 (福岡県行橋市役所)
行橋市における保健師の人材育成の試み～事業
データ分析の作業を通じて～【第1報】

11月5日(木) 16:00-17:00 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

- P-1505-1 太田 智子 (山口県立大学看護栄養学部看護学科)
環境としての看護師のユニフォームの在り方に關
する検討
- P-1505-2 菅原 京子 (山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科)
地域看護管理を主要な目標とした実習の教育方法
の検討-第3報-
- P-1505-3 島田 昇 (群馬医療福祉大学看護学部)
世代間交流「おくとあのげんき隊」に参加した看護
学生の取り組みについての活動報告
- P-1505-4 道林千賀子 (岐阜医療科学大学保健科学部看護学科)
自治体の保健師の事業・社会資源の創出に関する
コンピテンシーに影響する実践上の困難
- P-1505-5 細谷 紀子 (千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科)
市町村中堅保健師による施策立案における思考の
基となる経験
- P-1505-6 坂部 敬子 (福井県立大学看護福祉学部公衆衛生看護学)
市町村保健師の自己の専門的技術・能力や現任教
育に対する想いと課題
- P-1505-7 廣野 祥子 (元島根大学医学部看護学科)
保健師の行う対話の意味の文献検討
- P-1505-8 中村有美子 (関西福祉大学)
「保健師に求められる実践能力と卒業時の到達目
標と達成度」における学生自己評価
- P-1505-9 岩崎 りほ (大分県立看護科学大学)
児童虐待予防における市区町村保健師の専門的役
割-保健師と関係者へのインタビュー-
- P-1505-10 齋藤 尚子 (順天堂大学医療看護学部)
市町村保健師が「社会とのつながり」を感じる状
況-質問紙調査自由記載分析の検討-

11月6日(金) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

- P-1506-1 藤本 優子 (神戸市看護大学看護学部)
看護系大学の学生が持つ保健師の職業イメージと
学習動機 - 第1報 -
- P-1506-2 高見 栄喜 (関西看護医療大学看護学部専門基礎分野)
看護医療系新入生の精神的健康に関連する要因に
ついて
- P-1506-3 和田耕太郎 (ヘルス・マネジメント・コンサルタント)
看護師教育(3年課程)における「公衆衛生学演
習」の意義とその教育効果
- P-1506-4 原岡 智子 (活水女子大学看護学部)
看護学生の災害および災害時公衆衛生支援活動に
対する考えと教育による変化
- P-1506-5 藤村 一美 (山口大学大学院医学系研究科)
看護系大学生の地域看護学教育に対する認識
-A大学のアンケート調査から-
- P-1506-6 吉田恵理子 (長崎県立大学看護栄養学部看護学科)
内部障害者の体験を聴講した看護大学生の患者観
の変化に関する質的分析
- P-1506-7 井上真奈美 (山口県立大学看護栄養学部看護学科)
がん放射線療法看護認定看護師の活動現状から考
える今後の課題
- P-1506-8 辻 よしみ (香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科)
看護学生の疫学教育へのワークブックの活用効果
- P-1506-9 各務 竹康 (福島県立医科大学衛生学・予防医学講座)
家庭健康管理テュートリアル実習の改善に向けた
学生による自己評価の分析
- P-1506-10 吉田礼維子 (天使大学大学院看護栄養学研究科)
高度専門職業人としての看護・栄養職に共通する
コンピテンシー項目の作成

P-1506-11 常名 陽子 (東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科)
在宅看護論実習において訪問看護ステーション管理者が意識する指導上の視点

11月6日(金) 10:10-11:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1507-1 竹之内 茜 (太陽歯科衛生士専門学校)
歯科衛生士教育における国際教育の必要性

P-1507-2 宇野 智子 (愛知学院大学心身科学部健康栄養学科)
管理栄養士、歯科衛生士を目指す学生と一般大学生のライフステージ別間食に対する意識

P-1507-3 犬飼 順子 (愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科)
歯科衛生士、管理栄養士、養護教諭を目指す学生の小児の間食に対する意識

P-1507-4 池田 利恵 (日本歯科大学東京短期大学歯科衛生学科)
歯科衛生士の就業状況と未就業歯科衛生士の復職支援に関する検討

P-1507-5 浅田 友恵 (長崎県県央保健所)
行政栄養士の現任教育実態と現任教育体系の構築に向けた取り組みについて

P-1507-6 石塚 理香 (帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科)
管理栄養士養成課程における大学生生活経験とクリティカルシンキング (CT) 志向性の関連

P-1507-7 松井 幾子 (和洋女子大学)
栄養士・管理栄養士の短期離職に関わる要因について

P-1507-8 青山 泰子 (自治医科大学公衆衛生学教室)
障害者の相談支援従事者研修に導入する地域診断—社会資源の開発を促す研修課題

P-1507-9 樋口 由美 (大阪府立大学地域保健学域)
在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成プロジェクトの取り組みについて—初年度報告—

P-1507-10 曾根 志穂 (石川県立看護大学地域看護学)
被災地学生ボランティア活動の継続による看護学生の変化

P-1507-11 檀原三七子 (山口大学大学院医学系研究科)
実習カンファレンスにおけるPDCAサイクルの理解を促す効果的な指導方法の検討

第16分科会：保健所・衛生行政・地域保健

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1601-1 高橋 郁子 (帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科)
在宅支援ニーズの多角的具体的把握方法1 事例検討会における見取り図の活用効果

P-1601-2 鈴木 晃 (日本大学工学部建築学科)
在宅支援ニーズの多角的具体的把握方法2 継続的支援者による見取り図作成方法の検討

P-1601-3 工藤 恵子 (帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科)
見取り図活用に関する事例調査1 介護支援専門員による見取り図を用いた事例検討会

P-1601-4 浦橋久美子 (三育学院大学)
見取り図活用に関する事例調査2 見取り図活用に関する事例間の比較

P-1601-5 大越 扶貴 (三重県立看護大学地域在宅看護学)
見取り図活用に関する事例調査3 地域包括支援センターによる困難事例の見取り図活用

P-1601-6 井上 祐介 (岡山県立大学保健福祉学部)
全国自治体における家族介護者支援事業の実態(第1報)：都市区分別の実施状況と課題

P-1601-7 斎藤 民 (国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部)
全国自治体における家族介護者支援事業の実態(第2報)：実施困難自治体の特徴

P-1601-8 竹本 真梨 (熊本県人吉保健所)
中山間地域における在宅療養支援体制づくりと課題—認知症でも大丈夫な地域を目指して—

P-1601-9 内田 弘子 (大分県豊肥保健所)
重症化予防への訪問看護・介護連携の取組の意義—地域包括ケア推進への保健所の役割—

P-1601-10 石田久美子 (茨城県潮来保健所)
救急医療体制における保健所の役割—夜間初期救急センターの開設に向けて—

P-1601-11 石塚あけみ (茨城県潮来保健所)
救急医療体制における保健所の役割—地域住民の啓発活動—

11月5日(木) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1602-1 末永麻由美 (結核予防会結核研究所対策支援部)
結核接触者健診実施状況調査 (A)：半構造的面接に基づく質的評価

P-1602-2 泉 清彦 (結核予防会結核研究所臨床疫学部)
結核接触者健診実施状況調査 (B)：指標値を用いた量的評価

P-1602-3 浦川美奈子 (公益財団法人結核予防会結核研究所)
結核患者療養支援のための対話型アプリの試用(第2報)

P-1602-4 家入 裕子 (山口県立大学看護栄養学部)
感染管理認定看護師と行政・教育機関の連携による感染管理看護体制の評価

P-1602-5 國吉 裕子 (大阪市保健所)
感染防止対策加算による大阪市内の病院間連携とアウトブレイク基準設定状況の調査

P-1602-6 蘭田 拓也 (京都府健康福祉部健康対策課)
修学旅行生に対する食物アレルギー対応システムの構築

P-1602-7 山本精一郎 (国立がん研究センターがん予防・検診研究センター保健政策研究部)
自治体支援のためのソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診勧奨資材の開発

P-1602-8 溝田 友里 (国立がん研究センターがん予防・検診研究センター保健政策研究部)
小学生のがん教育のための学習まんが学研「がんのひみつ」の制作と評価

P-1602-9 雑賀公美子 (国立がん研究センターがん予防・検診研究センター)
子宮頸がん検診に関与する医師や細胞検査士における精度管理のとらえ方

P-1602-10 町井 涼子 (国立がん研究センターがん予防・検診研究センター)
個別検診のがん検診精度管理指標の作成にむけた取り組み

11月5日(木) 14:00-15:00 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1603-1 前野有佳里 (九州大学大学院 医学研究院保健学部門)
二次予防事業対象者通所型介護予防事業における外部委託の現状 (外部委託研究第1報)

P-1603-2 曾根 智史 (国立保健医療科学院)
「地方自治体における保健事業の外部委託実践ガイド」の作成 (外部委託研究第2報)

P-1603-3 前田 和恵 (大阪府藤井寺保健所)
大阪府池田保健所管内市町における死亡状況の分析

P-1603-4 廣重 次郎 (長崎県西彼保健所)
県型保健所(含・政令市)7年間の精神通報分析—第1報—

P-1603-5 吾郷美奈恵 (島根県立大学看護学部看護学科)
島根県過疎地域における看護職の“目配り・気配り・心配り”と地域連携

P-1603-6 安藤 実里 (茨城県立医療大学保健医療科学研究科)
市区町村単位の既存統計資料を活用した地域特性の把握

P-1603-7 山本 貴文 (東北大学大学院歯学研究科)
宮城県内の地域包括ケアシステムの現状と課題

P-1603-8	藤田 卓仙	(名古屋大学経済学研究科寄附講座) 街全体で高齢者を看守る仕組み創りに向けた長寿 包括ケアクリニックの取り組み
P-1603-9	岡部 陽子	(富山県中部厚生センター) 周産期地域連携ネットワーク体制構築に向けた保 健所の取組み
P-1603-10	石垣 和子	(石川県立看護大学地域看護学講座) 近年の地域保健を取り巻く環境の変化と保健師活 動の様相に関する研究

11月5日 (木) 15:00-16:00 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1604-1	橋爪 麻美	(大阪府藤井寺保健所) コンビニエンスストア店主に対する健康づくり取 組調査報告
P-1604-2	佐藤 真一	(千葉県衛生研究所) 千葉県海匝地域・職域連携推進協議会の取組と成 果(1)
P-1604-3	西出 朱美	(千葉大学医学薬学府公衆衛生学研究室) 小学校4年生を対象とした食育プログラム介入研 究
P-1604-4	徳広 千恵	(高知県安芸福祉保健所) 保健医療連携により取り組む糖尿病重症化予防対 策と保健所の役割
P-1604-5	中山 文子	(茨城県土浦保健所) 新たな啓発事業として行った料理同好会への糖尿 病予防啓発事業 実施報告
P-1604-6	近藤 今子	(中部大学食品栄養科学科) 保健所行政栄養士による市町村支援と保健所内の 理解、合意形成、ノルマ設定、評価実施
P-1604-7	永江 尚美	(島根県立大学看護学部看護学科) 健康増進計画の推進におけるソーシャルキャピタ ルの役割に関する研究(第2報)
P-1604-8	江藤多佳代	(熊本県宇城保健所) 糖尿病予防対策における保健所の市町村支援
P-1604-9	井上 正代	(大阪府八尾保健所) 管内診療所における糖尿病診療状況
P-1604-10	廣原 紀恵	(茨城大学教育学部教育保健教室) 看護師のiPS細胞と再生医療に対する関心・理 解に関する質問紙調査

11月6日 (金) 9:10-10:10 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1605-1	藤本 真一	(越谷市保健医療部保健所) 「保健所」機能・役割に関する一考察 ～ 様々 な自治体の保健所勤務の経験から ～
P-1605-2	小島 千明	(香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科) 熟練保健師の地区活動展開プロセスの特性
P-1605-3	梅居 奈央	(滋賀県立リハビリテーションセンター) 保健所の地域リハビリテーション事業についての 一考察～連携から信頼に変える取組み～
P-1605-4	西原 洋子	(鹿児島県川薩保健所) 在宅医療・介護連携に向けた保健所の役割につい て～退院支援ルール策定を通して～
P-1605-5	久佐賀真理	(長崎県立大学) 保健師による保健活動の評価指標と評価マニユ アルの検証ーその1:母子保健ー
P-1605-6	藤井 広美	(了徳寺大学) 保健師による保健活動の評価指標と評価マニユ アルの検証ーその2:健康づくりー
P-1605-7	石川貴美子	(神奈川県秦野市) 保健師による保健活動の評価指標と評価マニユ アルの検証 その3:高齢者保健福祉
P-1605-8	山口 佳子	(東京家政大学看護学部看護学科) 保健師による保健活動の評価指標と評価マニユ アルの検証ーその4:精神保健福祉活動ー

P-1605-9	春山 早苗	(自治医科大学) 保健師による保健活動の評価指標と評価マニユ アルの検証(その5:感染症対策)
P-1605-10	小西かおる	(大阪大学大学院) 保健師による保健活動の評価指標と評価マニユ アルの検証ーその6:難病保健ー
P-1605-11	森本 典子	(長崎県立大学) 評価指標を用いた評価活動の成果と課題

11月6日 (金) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1606-1	小路ますみ	(聖マリア学院大学看護学部看護学科) 精神障害者地域支援事業における地域事例検討会 議構想の創設
P-1606-2	船山 和志	(横浜市衛生研究所) 特定健診結果とレセプトデータを利用した腹囲と 平均年間医療費の関係について
P-1606-3	齋藤 希望	(愛媛大学大学院医学系研究科) 合併10年目を迎えるA町の地域診断2年目の取 組み(第1報)生活習慣と関連要因
P-1606-4	松浦 仁美	(愛媛県宇和島保健所) 合併10年目を迎えるA町の地域診断2年目の取 組み(第2報)生活習慣改善の契機ほか
P-1606-5	植田 真知	(愛媛県) 合併10年目を迎えるA町の地域診断2年目の取 組み(第3報)生活習慣改善の支援ほか
P-1606-6	上田由喜子	(大阪市立大学大学院生活科学研究科) 合併10年目を迎えるA町の地域診断2年目の取 組み(第4報)ー食習慣と味覚感度に着目してー
P-1606-7	井上 和美	(愛媛県宇和島保健所) 合併10年目を迎えるA町の地域診断2年目の取 組み(第5報)所属等を越えた検討効果
P-1606-8	廣田 洋子	(北海道立心身障害者総合相談所) 北海道内の市町村保健センターの現状と看護学生 の理解
P-1606-9	濱井 妙子	(静岡県立大学看護学部) 医療通訳者養成研修前後における専門基礎知識の 習得状況と日本語能力との関連
P-1606-10	樋口 治代	(鹿児島県健康増進課) 川薩地域 G-P ネットとうつ病医療連携体制の構 築に向けた取組み

第17分科会：公衆栄養

11月4日 (水) 15:45-16:45 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1701-1	杉本 南	(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 社会予防疫学分野) 知識・行動とナトリウム・カリウム摂取量の関 連:栄養士女性と一般女性の比較
P-1701-2	藤原 綾	(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 社会予防疫学分野) 日本人の食事パターンとナトリウム・カリウム摂 取量の関連
P-1701-3	斎藤 雅文	(城西大学薬学部医療栄養学科) 40-59歳日本人女性における習慣的なカフェイ ン入り飲料摂取と尿失禁との関連
P-1701-4	上田 伸男	(聖徳大学人間栄養学部人間栄養学科) 男女別の野菜・果物の摂取習慣摂取行動および意 識について
P-1701-5	森 直子	(聖徳大学人間栄養学部人間栄養学科) 行動変容ステージ別の野菜・果物の摂取習慣摂取 行動および意識について
P-1701-6	由田 克士	(大阪市立大学大学院生活科学研究科) 野菜の積極的摂取への留意と高血圧指摘の有無の 関連: NIPPON DATA2010
P-1701-7	田中 久子	(女子栄養大学) 県産野菜の効果的な消費拡大手法に関する研究 ～埼玉県深谷市の事例から～

P-1701-8	岡林 恵	(大阪府茨木保健所) 保育所における食塩濃度調査および栄養管理報告書による現状と課題の把握と今後の方策	P-1703-7	市川 智子	(愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課) 健康日本21あいち新計画推進における効果的栄養施策の構築に関する検証
P-1701-9	小柏 道子	(元島根県立大学短期大学部健康栄養学科) 携帯電話の画像付き目分量記録法の妥当性の検討第2報	P-1703-8	平澤 芳恵	(東京労災病院治療就労両立支援センター) 妊娠を契機とした食生活の変化に関する検討
P-1701-10	中村美詠子	(浜松医科大学健康社会医学講座) 勤労者における食嗜好とSESの関連	P-1703-9	中本真理子	(徳島大学大学院医歯薬学研究部栄養科学部門医科栄養学科系実践栄養学分野) 地域在住中高年者の味噌摂取がその後の全死亡および癌死亡に及ぼす影響
P-1701-11	松岡 綾子	(埼玉県鴻巣保健所) 埼玉県民女性における飽和脂肪酸の過剰摂取につながる食事内容の検討	P-1703-10	北林 蒔子	(杏林大学保健学部) 日本人の食事摂取基準(2015年版)を満たす栄養素摂取と抑うつ状態の関連について

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1702-1	上村 真由	(福島県立医科大学) 東日本大震災に伴う避難生活によるこころの健康度と食生活との関連
P-1702-2	石川みどり	(国立保健医療科学院生涯健康研究部) 地域自立高齢者の肥満と食事回数、食材料種類数との関連性
P-1702-3	伊井みず穂	(富山大学) 高齢者のスレート型PC(iPad)を用いた食生活の実態と関心度の変化
P-1702-4	鈴木 規道	(千葉大学予防医学センター) 高齢者の食環境とうつ発症との関連: JAGES コホートデータ
P-1702-5	谷 友香子	(東京大学大学院医学系研究科) 高齢者の食環境と死亡との関連: JAGES コホートデータ
P-1702-6	牧野 光沙	(神奈川工科大学応用バイオ科学部) 佐久健康長寿プロジェクトの摂取食品ベースデータを使った食事構成と体格との関連
P-1702-7	廣田 直子	(松本大学大学院健康科学研究科) 男性長寿日本一の村における高齢者のライフスタイルと食生活に関する研究 第2報
P-1702-8	木村 安美	(生命工学部生命栄養科学科) 地域在住高齢女性における食料品アクセス調査の検証と栄養素摂取状況に関する検討
P-1702-9	千葉 啓子	(岩手県立大学盛岡短期大学部) 農業従事者の食生活と健康状況
P-1702-10	齋藤 京子	(横浜市立大学医学部社会予防医学教室) 簡易栄養調査票(MNA-SF)からみた在宅療養高齢者の1年後の生命予後
P-1702-11	熊谷 直子	(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 栄養部) 高齢脳卒中患者の機能回復と自己選択された栄養ケアとの関連性

11月5日(木) 10:10-11:10 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1703-1	小田 雅嗣	(愛知県清須保健所) 特定給食施設の判断基準に関する検討
P-1703-2	千葉 昌樹	(名古屋市立大学保健福祉学部栄養学科) 災害時の食生活支援体制整備における保健所管理栄養士の課題 第20報
P-1703-3	木原 葵	(兵庫県) 栄養管理連携バスの構築～医療から介護までの一貫した栄養管理を目指して(第2報)～
P-1703-4	諸岡 歩	(兵庫県伊丹保健所) 健康日本21(第二次)推進における効果的栄養施策の構築に関する検証(第2報)
P-1703-5	磯部 澄枝	(上越保健所) 健康日本21(第二次)推進における効果的栄養施策の構築に関する検証(第3報)新潟県
P-1703-6	酒井登実代	(長野県飯田保健所) 健康日本21(第二次)推進における効果的栄養施策の構築に関する検証(第4報)長野県

11月5日(木) 11:10-12:10 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1704-1	逸見真理子	(ノートルダム清心女子大学人間生活学部食品栄養学科) 女子大学生の夕食の実態と望ましい食行動に関する検討
P-1704-2	佐藤 陽子	(医薬・健康研 国立健康・栄養研究所) 妊婦・幼児が利用したサプリメント製品の広告およびパッケージの内容分析
P-1704-3	中島 正夫	(椋山女学園大学看護学部看護学科) 大学内飲食施設における学生の昼食選択支援対策の改善に関する質的研究
P-1704-4	高井 玲子	(大阪府泉佐野保健所) 学生の啓発活動を通じた若い世代への健康栄養情報の発信(第2報)
P-1704-5	坂本 達昭	(仁愛大学人間生活学部健康栄養学科) 小学校5年生児童における共食頻度および家の食事の楽しさとQOLとの関連
P-1704-6	伊藤 裕美	(甲子園大学栄養学部栄養学科) 若年層における食教育の重要性～朝食と野菜摂取の視点から～
P-1704-7	小川由紀子	(大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科) 幼児の箸運びの作業性における箸の持ち方と握力の関係について
P-1704-8	西脇 理恵	(鈴鹿医療科学大学公衆衛生看護分野) 幼児の咀嚼行動と食育支援についての検討
P-1704-9	山口 忍	(茨城県立医療大学保健医療学部看護学科) 茨城県小中高校生及び保護者の食行動調査(第1報)一食生活行動の特性一
P-1704-10	尾形 しほ	(公益社団法人やどかりの里) 茨城県小中高校生の食行動調査(第2報)一阿見町小学生と保護者の特性一
P-1704-11	長澤ゆかり	(茨城県立医療大学保健医療学部看護学科) 茨城県小中高校生及び保護者の食行動調査(第3報)一共食に焦点をあてて一

11月5日(木) 16:00-17:00 長崎新聞文化ホール 3階 真珠の間

P-1705-1	本間 博美	(札幌市手稲区保健福祉部) 自治体と大学が協働で実施した質問紙調査からみえる大学生の食の実態について
P-1705-2	津田 克彦	(大分県東部保健所地域保健課食育栄養指導班) 学生食育ボランティア(Food Education Supporter)活動について
P-1705-3	加賀田真美	(粕屋保健福祉事務所) 県民健康づくり調査等から見える若い女性の栄養・食生活の現状と課題
P-1705-4	山本 由理	(中国学園大学現代生活学部人間栄養学科) 広汎性発達障害(自閉症)青年の自立を目指した健康料理教室参加者の行動等の変化
P-1705-5	北川富貴代	(大阪市保健所) 「30歳代市民の生活習慣や健康づくりに関する調査」～朝食欠食と野菜摂取の関連～

P-1705-6	浜崎 景	(富山大学医学部公衆衛生学講座) 大学生における魚食頻度と抑うつとの関連 ～横断的研究より～	P-1801-5	山内 賢	(慶應義塾大学体育研究所) 高齢者が行う PoleWalking の運動処方歩幅、反応時間、重心動揺、運動強度で探る事例研究
P-1705-7	中島 里美	(東北女子短期大学生生活科) 短期大学における栄養士課程履修者の視覚的教材を用いた教育評価	P-1801-6	美崎 定也	(苑田会人工関節センター病院リハビリテーション科) 人工膝関節置換術後の日常生活における身体活動量に関連する因子
P-1705-8	池田 若葉	(淑徳大学短期大学部こども学科) 幼児教育学系女子学生を対象とした理想の体型像に対する食生活習慣と SF-8 との関連	P-1801-7	田淵 啓二	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院) 森林セラピーがもたらす生産年齢層の自律神経への効果ー抑うつの有無による比較ー
P-1705-9	嵐 雅子	(相模女子大学栄養科学部管理栄養学科) 若年女性のライフスタイル教育プログラム構築のための現状分析食事と愁訴との関連性	P-1801-8	熊江 隆	(二葉栄養専門学校栄養士科・管理栄養士学科) 地域在住高齢者の握力と血清抗酸化バランスに関する研究
P-1705-10	小林 知未	(帝塚山学院大学人間科学部) ラダリング法を用いた若年女性の食事選択動機に関する研究			
P-1705-11	塩沢 裕也	(神奈川工科大学応用バイオ科学部) 居住形態による男子大学生の朝食の実態と食意識の違いについて			

11月5日(木) 11:10-12:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1706-1	酒元 誠治	(島根県立大学短期大学部健康栄養学科) ふくらはぎ周囲長(CC) から推計 BMI (e-BMI) を求める回帰式の不適合事例	P-1802-1	稲垣 敦	(大分県立看護科学大学) 離島住民の健康寿命と身体活動：大分県姫島村について
P-1706-2	加藤 里佳	(京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学) 京都府在住の一般女性におけるロコモティブシンドロームと食品摂取頻度に関する検討	P-1802-2	辻 大士	(千葉大学予防医学センター) 被災地高齢者の震災前のコミュニティ参加やストレス対処能力と震災後の運動習慣の関連
P-1706-3	上島 寛之	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) 地域住民における食塩摂取量評価法の比較と活用法の検討	P-1802-3	沼田 郁子	(広島市学芸大学) 高齢の長距離ランニング継続者における健康状態
P-1706-4	西尾 信宏	(和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学) 地域住民のナトリウム・カリウム摂取と血圧および生活習慣の検討	P-1802-4	山口真由美	(日本赤十字社熊本健康管理センター) 人間ドック受診者の身体活動量の違いがストレス評価に及ぼす関係について
P-1706-5	望月 美咲	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) 起床後第2尿を用いた地域住民の食塩摂取状況の把握	P-1802-5	宮崎有紀子	(高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科) 大学生の身体活動の特徴とライフスタイル
P-1706-6	片桐 諒子	(東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野) 24時間尿中ヨウ素排泄量とヨウ素含有量データベースからの摂取量推定値の関連の検討	P-1802-6	平井 一芳	(福井県立大学看護福祉学部看護学科) 小学生の生活習慣が身体活動と体力に及ぼす影響
P-1706-7	長谷川秀隆	(常葉大学健康科学部看護学科) GGCX 遺伝子多型とビタミン K 摂取が骨密度に及ぼす影響	P-1802-7	大橋 瑞紀	(滋賀医科大学) 日本国民の性・年齢階級、居住地域別の一日の強度別身体活動の比較：NIPPON DATA2010
P-1706-8	上野祐可子	(北海道大学大学院保健科学院) レスベラトロールにおける神経保護作用	P-1802-8	小熊 祐子	(慶應義塾大学スポーツ医学研究センター) 身体活動促進のコミュニティ・ワイド・キャンペーンー地域住民の追跡調査ー
P-1706-9	近藤 文	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) イヌリンの腸内環境改善についてのシステムティックレビュー	P-1802-9	加藤 梨里	(慶應義塾大学 SFC 研究所) 身体活動促進のコミュニティ・ワイド・キャンペーンー市民講座受講者の特徴と今後ー
			P-1802-10	篠田 邦彦	(新潟大学人文社会・教育科学系) 「3つの8」を指標とした児童生徒の生活リズムと生活習慣の評価

11月5日(木) 16:00-17:00 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1803-1	伊藤 弘明	(順天堂大学医学部衛生学講座) 子ども～青年期の運動経験が労働者の現在の運動習慣形成に及ぼす影響	P-1803-1	伊藤 弘明	(順天堂大学医学部衛生学講座) 子ども～青年期の運動経験が労働者の現在の運動習慣形成に及ぼす影響
P-1803-2	山北 満哉	(北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位) 妊娠前の母親のスポーツ活動状況と子供の運動時間との関連：甲州プロジェクト	P-1803-2	山北 満哉	(北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位) 妊娠前の母親のスポーツ活動状況と子供の運動時間との関連：甲州プロジェクト
P-1803-3	北目 衛子	(一般財団法人宮城県成人病予防協会) 小学校5年生と中学校2年生における2つの全国体力測定調査の比較	P-1803-3	北目 衛子	(一般財団法人宮城県成人病予防協会) 小学校5年生と中学校2年生における2つの全国体力測定調査の比較
P-1803-4	杉村 嘉邦	(一般財団法人 宮城県成人病予防協会) 開眼片足立ち時間の左右差の年代別比較	P-1803-4	杉村 嘉邦	(一般財団法人 宮城県成人病予防協会) 開眼片足立ち時間の左右差の年代別比較
P-1803-5	荒河 香織	(あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部健康増進課) うつ病患者に対する健康増進施設における運動プログラムの効果	P-1803-5	荒河 香織	(あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部健康増進課) うつ病患者に対する健康増進施設における運動プログラムの効果
P-1803-6	水野かがみ	(中部学院大学人間福祉学部) 健康運動指導士養成校(大学)における水泳の授業展開と課題について	P-1803-6	水野かがみ	(中部学院大学人間福祉学部) 健康運動指導士養成校(大学)における水泳の授業展開と課題について
P-1803-7	梅田 陽子	(京都大学国際高等教育院) 岩手県野田村の報告4～復興にむけたまちづくり・ウォーキング事業の展開～	P-1803-7	梅田 陽子	(京都大学国際高等教育院) 岩手県野田村の報告4～復興にむけたまちづくり・ウォーキング事業の展開～

第18分科会：健康運動指導

11月4日(水) 16:45-17:45 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1801-1	芝崎 美幸	(健康運動指導研究所 FITPLUS) 地域高齢者における咬合カアッ運動の方法と効果、及びその有用性について
P-1801-2	須藤 元喜	(花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所) 圧力シートを用いた歩容解析による行動体力の推定
P-1801-3	山城由華吏	(花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所) 歩容による行動体力推定式を用いた運動と乳脂肪被膜成分摂取の併用効果
P-1801-4	荻田 香苗	(杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室) 若年女性の味覚認知閾値に関する調査研究ー自律神経機能および身体活動量との関係

P-1803-8	辻田 那月	(京都大学大学院人間・環境学研究所) 岩手県洋野町の報告1～復興にむけたまちづくり・高血圧予防サポート教室～
P-1803-9	萬代由希子	(関西福祉大学社会福祉学部) 上郡町における運動による健康づくりの現状と課題：上郡町スポーツ実態調査の結果から
P-1803-10	久保田晃生	(東海大学体育学部生涯スポーツ学科) 日本と中国との国際交流を取り入れた運動教室の試み

11月6日(金) 11:10-12:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1804-1	川崎 直人	(近畿大学薬学部公衆衛生学研究室) 大学生における運動能力の推移および体格・精神的健康状態と運動能力との関連性
P-1804-2	奥山 文男	(日本医療科学大学リハビリテーション学科理学療法学専攻) 医療系大学生における運動・スポーツ習慣とその要因について
P-1804-3	曾我 聡子	(花王株式会社生物科学研究所) 現代日本人の体力に関する横断研究
P-1804-4	水戸 和幸	(電気通信大学情報理工学研究所) 筋線維動員パターンから見た加齢と筋収縮活動の関係
P-1804-5	村田トオル	(大阪青山大学健康科学部子ども教育学科) 地域における子どもの健康運動を促進する取り組みについて
P-1804-6	大賀 淳子	(埼玉医科大学保健医療学部看護学科) 筑波山への学校登山を行った中学生と教員への意識調査
P-1804-7	丸山 由紀	(新潟大学大学院) 女子児童生徒の体型認識の「ずれ度」が年々高まっている
P-1804-8	三澤大太郎	(株式会社キャンサースキャン) Energy Partition Model に基づく減量後の体重維持に関する数値的研究
P-1804-9	蕨武 彩織	(新潟大学大学院) 児童・生徒は自身の体型認識に平均体重、平均身長を利用しているか

第19分科会：食品衛生・薬事衛生

11月5日(木) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1901-1	間中 友美	(和洋女子大学生生活科学系健康栄養学研究室) りんごに塗布したビレスロイド系農薬の水洗・ふきとりによる除去
P-1901-2	吉田 栄充	(埼玉県衛生研究所) ブルーベリー加工食品(ジャム類等)の放射能調査
P-1901-3	北尾 拓也	(和歌山市衛生研究所) LC/MS/MS によるヒト血清および尿中のテトロドキシンの分析事例
P-1901-4	華 有紀	(大阪市保健所南西部生活衛生監視事務所) 消費者の食品の安全に関する意識調査
P-1901-5	神奈川芳行	(公立大学法人奈良県立医科大学健康政策医学講座) 食品製造施設や物流施設における食品防衛対策上の課題について
P-1901-6	市川 健介	(千代田区千代田保健所) 千代田区内の飲食店で発生した国内初の腸チフスによる食中毒事例について
P-1901-7	清水 秀樹	(山梨県峡南保健福祉事務所衛生課) 野生鳥獣肉の処理施設に対する衛生指導について
P-1901-8	國井 伸明	(獨協医科大学国際疫学研究室福島分室) 福島県二本松市の自家消費食品に含まれる放射性セシウム検出率の状況と評価

11月5日(木) 14:00-15:00 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ

P-1902-1	嵩下 賢	(長崎県島原病院) 長崎県五島市における献血者数増加への取り組み
P-1902-2	高橋 真美	(昭和女子大学) 微生物由来の凝乳酵素の特性
P-1902-3	設楽 紘史	(さいたま市健康科学研究センター生活科学課) 畜水産食品における動物用医薬品一斉試験法の妥当性評価
P-1902-4	尾関由姫恵	(埼玉県衛生研究所感染症疫学情報担当) 埼玉県における腸管出血性大腸菌感染症 diffuse outbreak の早期検出に関する取り組み
P-1902-5	中堂園文子	(鹿児島県環境保健センター) 食中毒疑い事例から検出した <i>Kudoa iwatai</i> の一事例
P-1902-6	蔡 国喜	(長崎県環境保健研究センター研究部) ヒスタミン産生菌 <i>M.morganii</i> 食中毒分離株からの HDC 遺伝子のクローニング

第20分科会：産業保健

11月4日(水) 14:45-15:45 長崎ブリックホール 2階 練習室3

P-2001-1	朝倉 京子	(東北大学大学院医学系研究科) 看護職の職務満足度とマグネット・ホスピタルの職場環境特性との関連
P-2001-2	津野 陽子	(東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニット) 生産性指標であるプレゼンティーズム測定のための WHO-HPQ スケールの有用性の検討
P-2001-3	堤 明純	(北里大学医学部公衆衛生学単位) 職場復帰診断書 (fit note) システム導入の課題
P-2001-4	北村 文彦	(順天堂大学医学部衛生学講座) 主治医と産業医の連携の現状 一学会および研究班への調査より一
P-2001-5	竹内 真純	(帝京大学女性医師・研究者支援センター) 直接的・間接的ハラスメントと職場のサポートが大学教員のバーンアウトに与える効果
P-2001-6	浜 耕子	(愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻基盤・実践看護学領域) 愛媛県内の産婦人科女性医師の就労と勤務環境の実態
P-2001-7	瀧本 千紗	(愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻基盤・実践看護学領域) 愛媛県内の産婦人科女性医師の就労と家庭生活との両立に必要な支援
P-2001-8	富澤 栄子	(四国大学 看護学部) 労働者における配偶者のソーシャルサポートと保健行動実践状況の検討
P-2001-9	武藤 剛	(順天堂大学医学部衛生学講座) 産業医と主治医の連携に関する実態調査(第一報) 一職種・地域保健の連携へ向けて
P-2001-10	藤堂恵美子	(医療法人マックスシール巽病院訪問看護ステーション) 多職種が在籍する訪問看護ステーションでの多機能情報端末による業務量軽減の取り組み
P-2001-11	高橋 聖彦	(埼玉医科大学医学部) 獣医師の労働環境の現状について

11月5日(木) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 2階 練習室3

P-2002-1	富永 真己	(京都橘大学看護学部) 病院看護師のための Social capital and Ethical indicator の尺度開発
P-2002-2	大橋 真理	(国立病院機構東京医療センター) 夜勤形態の違いによる慢性疲労および presenteeism の比較

P-2002-3	上條 英之	(東京歯科大学歯科社会保障学) 就労環境と歯科疾患の影響に関する研究(第一報)～特にシフト勤務について～	P-2004-2	佐藤 純子	(新潟医療福祉大学健康科学部看護学科) 参加型職場環境改善活動と労働者の職業性ストレス・職務満足感との関連
P-2002-4	廣田 幸子	(群馬パース大学保健科学部看護学科) 産業看護職による発達障害者の支援プロセス	P-2004-3	若林 諒三	(名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野) 地域住民における睡眠障害と関連する仕事のストレス要因の検討
P-2002-5	山田 知佳	(新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程) 交代勤務労働者の問題飲酒に関連する要因の検討	P-2004-4	堀内 朋子	(順天堂大学医療看護学部) メンタルヘルス不調者の部下に対してラインケアを行う管理監督者の困難や思い
P-2002-6	磨田百合子	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 病院看護師の交替勤務経験年数と慢性・蓄積的疲労との関連	P-2004-5	荒木田美香子	(国際医療福祉大学小田原保健医療学部) 日本版 presenteeism 尺度の開発－ β 版の信頼性・妥当性の検討
P-2002-7	藤井 保人	(岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科) 貢献感と健康との関係～貢献感と属性、ストレス、食習慣との関係～	P-2004-6	小澤 咲子	(筑波大学大学院人間総合科学研究科) プレゼンティーズム2指標に関わる心理社会的要因の相違
P-2002-8	福住 宗久	(国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース) 首都圏の鉄道会社における職種別のインフルエンザ罹患に関する疫学研究	P-2004-7	宋 裕姫	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 昇格によってストレスは悪化するか
P-2002-9	木戸内 清	(岐阜県東濃保健所) 病院における血液体液曝露による職業感染一次予防：曝露サーベイランスの指標	P-2004-8	白石みどり	(株式会社スノーム EAP 事業部) デイクアにおけるメンタルヘルスプログラムの効果について－ストレスチェックの活用－
P-2002-10	平光 良充	(名古屋市衛生研究所) 針刺し・切創の過少報告の判定方法に関する研究	P-2004-9	大谷喜美江	(国際医療福祉大学小田原保健医療学部) 労働者の保健行動の実践状況と健診時体重の検討
P-2002-11	中山 玲奈	(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎関節口腔機能学分野) 企業就労者における顎関節症リスクとその寄与因子	P-2004-10	小林 朋子	(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 職場におけるソーシャル・キャピタルと過体重との関連について

11月5日(木) 14:00～15:00 長崎ブリックホール 2階 練習室3

P-2003-1	辻 真弓	(産業医科大学医学部産業衛生学) 職場における化学物質特異的抗体保有率に関する研究
P-2003-2	入谷 智子	(滋賀医科大学 医学部看護学科) 製造工場従業員の加濃式社会的ニコチン依存調査票の検討
P-2003-3	入江浩一郎	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野) 歯周病の発症と職業との関連
P-2003-4	井谷 修	(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座) 工場従業員における労働災害の経験の頻度・関連要因と睡眠衛生教育による介入について
P-2003-5	江口 尚	(北里大学医学部公衆衛生学) 働き方に制約のある同僚に対する一般労働者の意識に関する検討
P-2003-6	五十嵐久人	(信州大学学術研究院保健学系広域看護学領域) 中小企業の男性正規雇用者と非正規雇用の QOL に影響を及ぼす要因の検討
P-2003-7	細田 武伸	(鳥取看護大学保健師教育領域) 消防職員の世代間コミュニケーション調査についての報告
P-2003-8	日高 友郎	(福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座) 除染作業員における居住環境がプライバシー確保に与える影響
P-2003-9	庄司友香子	(福島県立医科大学衛生学・予防医学講座) 除染作業員の医療機関受診からみる労働衛生管理の現状と課題
P-2003-10	岡部 花枝	(コマツ健康増進センタ) 企業における社員のヘルスリテラシー向上への取り組み
P-2003-11	立瀬 剛志	(富山大学医学部疫学・健康政策学講座) 職場信頼の関連因子の検討－具体的環境改善策に向けた検討－

11月6日(金) 9:10～10:10 長崎ブリックホール 2階 練習室3

P-2004-1	勝山 博信	(川崎医科大学公衆衛生学教室) 職場ストレス度とストレス関連遺伝子多型の関連
----------	-------	---

P-2004-11	伊藤 薫	(四日市看護医療大学) 高齢者ケアスタッフのための健康生成論的プログラムの形成的評価と開発
-----------	------	--

第21分科会：環境保健

11月4日(水) 14:45～15:45 長崎ブリックホール 2階 練習室2

P-2101-1	新美 達也	(さいたま市健康科学研究センター) さいたま市におけるスギ・ヒノキ花粉の飛散状況と気象条件
P-2101-2	野口実華子	(武庫川女子大学大学院生活環境学研究科食物栄養学専攻) ハウスダストのコリンエステラーゼ阻害を利用した室内環境評価法の開発
P-2101-3	大谷 勝己	(独立行政法人・労働安全衛生総合研究所有害性評価研究グループ) 二酸化チタンのマウス雄性生殖系への影響
P-2101-4	林田 英樹	(千葉大学工学部) たばこ主流煙に含まれる VOC, カルボニル化合物, ニコチン, タールの同時分析
P-2101-5	妹尾 結衣	(千葉大学大学院工学研究科) 電子タバコから発生する化学物質の分析
P-2101-6	伊豆 里奈	(千葉大学大学院工学研究科建築都市科学専攻) 2-ビリジナルデヒドを捕集剤とした空気中ヒドラジン類の分析
P-2101-7	小林 明莉	(東京薬科大学生命科学研究科) 無煙たばこから人工唾液へ移行する有害化学物質の分析と移行率
P-2101-8	弘田 純乃	(東京薬科大学生命科学部) 国内販売される無煙たばこ製品に含まれる発がん関連物質の分析
P-2101-9	稲葉 洋平	(国立保健医療科学院生活環境研究部) 低タール低ニコチン表示量の紙巻たばこフィルターの通気率分析
P-2101-10	井上 竜太	(大阪市保健所環境衛生監視課) 建築物衛生法に基づく特定建築物内の受動喫煙防止対策について

11月5日 (木) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 2階 練習室2		
P-2102-1	徳田 克己	(筑波大学医学医療系) 交通弱者の安全な移動を阻害する新しいバリア1－迷惑ランナー問題－
P-2102-2	水野 智美	(筑波大学医学医療系) ドライバーは交通弱者である歩行者をどのように回避しているか1：質問紙調査の結果
P-2102-3	西館 有沙	(富山大学人間発達科学部) ドライバーは交通弱者である歩行者をどのように回避しているか2：実験と観察の結果
P-2102-4	熊田 薫	(つくば国際大学医療保健学部) 手指等に存在する生菌数の定量の可能性
P-2102-5	中地 重晴	(熊本学園大学社会福祉学部) 水俣市における土壌中の高濃度水銀汚染について
P-2102-6	細川まゆ子	(順天堂大学医学部衛生学講座) インドネシア タンゲラン市の飲料水中の重金属の調査
P-2102-7	影山 隆之	(大分県立看護科学大学精神看護学研究室) 風車騒音の屋外レベルと睡眠等の自覚症状との量－反応関係：全国実測調査から
P-2102-8	山末耕太郎	(横浜市立大学大学院医学研究科疫学・公衆衛生学) 優先席での携帯電話使用状況調査と埋め込み型心臓ペースメーカー等使用者への対策案
P-2102-9	藤田 真紀	(大阪府 健康医療部 保健医療室保健医療企画課) エックス線診療室等の構造設備に係るしゃへい計算検算ソフトに関する使用経験の報告
P-2102-10	三宅 定明	(埼玉県衛生研究所) 埼玉県における空間放射線量 (2011～2013年度)
P-2102-11	金谷久美子	(京都大学大学院医学研究科健康情報学) 妊婦のビタミンD充足状況とアレルギー様症状との関連

11月5日 (木) 14:00-15:00 長崎ブリックホール 2階 練習室2		
P-2103-1	須永 宏	(さいたま市健康科学研究センター) さいたま市における熱中症発生状況の検討
P-2103-2	本田 靖	(筑波大学体育系) わが国における熱関連死亡数の将来予測
P-2103-3	梅村 朋弘	(愛知医科大学医学部衛生学講座) トイレからの救急搬送と気象要因の関係
P-2103-4	上野 哲	(独立行政法人労働安全衛生総合研究所) サーマルマネキンを用いた作業服の保温性及び透湿性に関する歩行による補正因子の測定
P-2103-5	小正裕佳子	(獨協医科大学国際協力支援センター国際疫学研究室) 福島第一原発事故後の小中学生の放射線被ばく量低減に向けた生活環境要因の探索
P-2103-6	松塚 雅博	(杏林大学保健学部) 50年余を隔てた甲府盆地地下水系の水文変化に関する一考察
P-2103-7	島崎 大	(国立保健医療科学院生活環境研究部水管理研究領域) 銅製水道管表面における細菌再増殖およびエンドトキシン活性の経時変化と特性
P-2103-8	大西 一成	(鳥取大学医学部医学科社会医学講座健康政策医学分野) 中国と鳥取県における手足口病受診数の推移と黄砂の発生およびPM2.5上昇との関係
P-2103-9	鹿嶋小緒里	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院公衆衛生学) 黄砂と救急搬送の関連：直接的影響と効果修飾の評価
P-2103-10	牛山 明	(国立保健医療科学院生活環境研究部) 紫外線B波による皮膚微小循環障害の生理機序解明とその予防に関する研究

P-2103-11	木村 真三	(獨協医科大学国際協力支援センター国際疫学研究室) 福島県いわき市志田名地区をモデルとした除染効果の検討
-----------	-------	---

11月6日 (金) 9:10-10:10 長崎ブリックホール 2階 練習室2		
P-2104-1	坂本 龍太	(京都大学白眉センター) レジオネラ症に及ぼし得る天候の影響に関する考察
P-2104-2	田栗 利紹	(長崎県環境保健研究センター) 循環ろ過式入浴施設における細菌数迅速測定法を用いた衛生管理の塩素消毒への影響
P-2104-3	町田喜代実	(山野美容芸術短期大学美容総合学科美容デザイン専攻) 美容室でのハンドマッサージによるリラクセス効果の研究
P-2104-4	阪東美智子	(国立保健医療科学院生活環境研究部) 高齢者施設における出張理美容の実態 (第1報) 全国の特別養護老人ホームの理美容状況
P-2104-5	大澤 元毅	(国立保健医療科学院生活環境研究部) 高齢者施設における出張理美容の実態 (第2報) 施設の建築設備と施術空間
P-2104-6	開原 典子	(国立保健医療科学院生活環境研究部) 高齢者施設における出張理美容の実態 (第3報) 利用者と施術内容
P-2104-7	金 勲	(国立保健医療科学院 生活環境研究部) 高齢者施設における出張理美容の実態 (第4報) 施術環境と体調
P-2104-8	林 基哉	(国立保健医療科学院統括研究官) 高齢者施設における出張理美容の実態 (第5報) 利用者の施術時の体調
P-2104-9	余田 佳子	(兵庫医科大学公衆衛生学講座) 瀬戸内海の離島における大気汚染物質が学生の肺機能に及ぼす短期的影響

P-2104-10	Hoang Duc Phuc	(Division of Health Sciences, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University,) The changes of urinary cadmium and β^2 -Microglobulin in cadmium polluted areas
P-2104-11	阿江 竜介	(自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門) 母乳中ダイオキシン類レベルの推移；1998年～2013年 (16年間) の観察

第22分科会：国際保健

11月5日 (木) 10:10-11:10 長崎ブリックホール 3階 ホワイエ		
P-2201-1	山口乃生子	(埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科) ハンセン病患者を親に持つネパールの思春期青年のスティグマ
P-2201-2	幕内 良子	(公益社団法人日本国際民間協力会 (NICCO)) マラウイ共和国リロングウェ県におけるマラリア治療及び予防のための取り組み
P-2201-3	下地 紀靖	(名桜大学人間健康学部看護学科) 戦後沖縄からフィリピンへ渡ったうちなーんちゅ女性たちの環境への適応と健康意識
P-2201-4	BOS Angelo	(東京都健康長寿医療センター研究所) Prevalence and treatment rate of common diseases in Brazil versus Japan
P-2201-5	堀 和一郎	(三重大学 医学部 医学医療教育分野) ZambiaにおけるEquality 評価の検討
P-2201-6	Kitamura Tomomi	(National Center for Global Health and Medicine) National Measles-Rubella Supplementary Immunisation Activity in Lao PDR

- P-2202-1 張 燕 (名古屋大学大学院医学研究科国際保健医療学公衆衛生学教室)
Facilitators and barriers for adopting healthy lifestyle: A qualitative study
- P-2202-2 湯浅 資之 (順天堂大学国際教養学部グローバル社会領域)
統一した分析フォーマットを用いた国際保健領域における官民連携事例の分析ー第2報
- P-2202-3 北島 勉 (杏林大学総合政策学部)
統一した分析フォーマット(簡易版)による事例分析ーレント王国の三次病院
- P-2202-4 海老原泰代 (千葉県立保健医療大学)
途上地域の NCD 予防対策における栄養士の役割についてーマニラ首都圏バラナケ市の事例ー
- P-2202-5 富田 早苗 (川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科)
海外渡航児の健康管理における保健師の役割
- P-2202-6 松井 三明 (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)
カンボジアで出生する児の臍動脈血検査結果から考えられる今後の周産期管理のあり方
- P-2202-7 西原 三佳 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
ホンジュラス国における10代若者の性知識と避妊行動に対する認識に関連する要因
- P-2202-8 井階 友貴 (福井大学医学部地域プライマリケア講座)
なぜタイ王国では地方でも健康関連 QOL が低いのか? 医療の理想像の探索から